

6  
7  
8  
9  
18  
30  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
18  
4

農村負債整理關係法規並書式

愛媛縣農村更生協會編

始





# 凡例

- 一、本書ハ負債整理事務擔當者ノ執務ノ便宜ニ供スル爲必要ナル法令例規及常時必要トスル諸書式ヲ集録セルモノナリ
- 二、法令例規諸書式ハ目次(諸書式ハ第二篇負債整理組合手續第三篇市町村ノ手續第四篇産業組合ノ手續ニ大別)ニ依リテ索出シ得ルモ諸手續ハ亦卷頭附録負債整理事務便覽(第一組合設立ヨリ資金貸付完了迄第二普通事務甲負債整理組合乙市町村)ノ說明ニ依リ索出ニ便セリ
- 三、負債整理事務便覽ニハ左ノ通下記ノ法令ヲ上記ノ如ク略稱セリ
  - 法 農村負債整理組合法
  - 補法 農村負債整理資金特別融通及損失補償法
  - 則 農村負債整理組合法施行規則
  - 補則 農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則
  - 令 市町村負債整理委員會令
  - 細則 農村負債整理組合法及農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則
  - 助則 市町村負債整理委員會經費補助規則
  - 訓 愛媛縣訓令第三號農村負債整理事務取扱心得
  - 手 負債整理組合登記取扱手續
- 四、便覽說明ノ書類名ノ下ニ括弧ヲ付シ目錄番號又ハ法令例規ノ條項ヲ示シタルヲ以テ其ノ番號條項ヲ見レバ其ノ書類ノ様式所在ヲ發見シ得ベシ





# 負債整理事務便覽

## 第一 組合設立ヨリ資金貸付完了迄

市町村ノ事務	信用組合ノ事務	負債整理事務	説
一、負債整理委員 會設置 二、市町村負債整理委員會 補助申請 三、負債整理組合 設立協議會ノ開 催 四、負債整理組合 設立認可申請ニ 付副申		(一)負債整理組合 設立認可申請	一、農村負債整理事務取扱心得第十九條ニ依リ市町村長ヨリ委員ノ定數、委員適任者ヲ具シ(三篇ノ一)知事ニ設置方稟請ス 二、市町村負債整理委員會經費補助規則ニ依リ補助申請(二篇ノ二)ヲナス 三、組合設立ヲ必要トスル部落ニ集會ヲ催シ負債整理制度ノ説明ヲ爲シ設立ニ議纏レバ整理ヲ要スル人員、負債總額、條件緩和見込額特融資金借入先及其ノ金額、負債整理資金貸付條件、貸付金回收計畫、組合費收支目論見、分擔方法、負債償還積立金造成計畫、規約設立當時ノ理事監事ヲ定メル 四、申請書ニ農村負債整理事務取扱心得第十四條ノ規定ニ依リ地區ノ適否、共同團結性ノ厚薄、不加入者ノ理由、義務觀念及更生精神強弱、負債整理方針ノ社會ニ及ボス影響、資金經由機關ノ見込、役員事務擔當者ノ性格、加入同意者ノ數及出資口數等ニ對スル意見ヲ副申(二篇ノ四)スル 一、定款ノ組合員タリ得ルモノノ資格ニ負債整理組合ヲ加へ、組合員異動届出ノ條項ニ規約、組合員名簿又ハ役員氏名住所變更ノ場合ハ届出ヲ更ニ加入脱退條項ニ法人カ組合員タラントスルトキハ申込書ノ外其ノ規約、組合員名簿、役員氏名住所ヲ記載シタル書面ヲ添付スベキコトヲ規定スル(四篇ノ一) 二、定款ノ信用事業ノ貸付ニ關スル規定カ負債整理資金貸付ニ差支アル場合ハ政府融通ノ資金其ノ他之ニ準スル資金ノ貸付ニ付テハ定款ノ制限ニ據ラサルコトヲ規定スル 負債整理資金ノ借入及之ヲ一組合員ニ貸付クル最高限度ヲ一般資金ト別ニシ總會ノ議決ヲ經ルコト(四篇ノ一) (二)保証責任組合ハ設立認可アリタルトキハ規約ニ定メラレタル所ニ依リ直ニ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメ拂込ミ終レバ細第三條ニ依リ之ヲ知事ニ報告ス(二篇ノ二)(1) (三)法第十七條ニ依リ設立認可書到着ノ日ヨリ二週間内ニ設立登記ヲ爲シ(二篇ノ三)(1)同時ニ理事ノ印鑑届ヲ爲ス (四)設立後直ニ各組合員ニ總會招集狀(二篇ノ四)(3)ヲ出スト共ニ總會開催届(二篇ノ二)(2)ヲ知事ニ出シ總會ヲ開キ組合經營ニ付收支豫算組合費分賦收入方法(二篇ノ四)(28)負債整理資金貸付條件、組合事業(貸付金回收事業)其ノ年度ニ於ケル借入金額ノ最高限度(二篇ノ四)(7)

明

1、定款ニ負債整理組合加入ニ關スル規定ヲ設ケル  
 2、定款、借入貸付最高限決議等負債整理資金轉貸ニ付必要ナル措置ヲ爲ス

(二)出資第一回拂込

(三)設立登記申請  
 (四)總會開會

弱、負債整理方針ノ社會ニ及ボス影響、資金經由機關ノ見込、役員事務擔當者ノ性格、加入同意者ノ數及出資口數等ニ對スル意見ヲ副申(二篇ノ四)スル  
 一、定款ノ組合員タリ得ルモノノ資格ニ負債整理組合ヲ加へ、組合員異動届出ノ條項ニ規約、組合員名簿又ハ役員氏名住所變更ノ場合ハ届出ヲ更ニ加入脱退條項ニ法人カ組合員タラントスルトキハ申込書ノ外其ノ規約、組合員名簿、役員氏名住所ヲ記載シタル書面ヲ添付スベキコトヲ規定スル(四篇ノ一)  
 二、定款ノ信用事業ノ貸付ニ關スル規定カ負債整理資金貸付ニ差支アル場合ハ政府融通ノ資金其ノ他之ニ準スル資金ノ貸付ニ付テハ定款ノ制限ニ據ラサルコトヲ規定スル  
 負債整理資金ノ借入及之ヲ一組合員ニ貸付クル最高限度ヲ一般資金ト別ニシ總會ノ議決ヲ經ルコト(四篇ノ一)  
 (二)保証責任組合ハ設立認可アリタルトキハ規約ニ定メラレタル所ニ依リ直ニ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメ拂込ミ終レバ細第三條ニ依リ之ヲ知事ニ報告ス(二篇ノ二)(1)  
 (三)法第十七條ニ依リ設立認可書到着ノ日ヨリ二週間内ニ設立登記ヲ爲シ(二篇ノ三)(1)同時ニ理事ノ印鑑届ヲ爲ス  
 (四)設立後直ニ各組合員ニ總會招集狀(二篇ノ四)(3)ヲ出スト共ニ總會開催届(二篇ノ二)(2)ヲ知事ニ出シ總會ヲ開キ組合經營ニ付收支豫算組合費分賦收入方法(二篇ノ四)(28)負債整理資金貸付條件、組合事業(貸付金回收事業)其ノ年度ニ於ケル借入金額ノ最高限度(二篇ノ四)(7)



一、組合員ニ對スル貸付金ノ最高限度(全) 負債整理特別融通資金ノ一組合員ニ對スル貸付最高限度(全) 負債償還積立金造成計畫(二篇ノ四ノ29) 昭和八年八月以降ノ負債ヲ有スコトヲ理事ニ委任スルノ件、事業執行細則(二篇ノ四ノ5) 議事細則(二篇ノ四ノ6) 産業組合加入等ヲ議決シ總會決議録(二篇ノ四ノ7)ヲ作リ借入貸付最高限度ヲ知事ニ報告シ(二篇ノ二ノ3) 負債整理資金貸付條件ハ細第二十五條ニ依リ知事認可ヲ受クルコト

(五) 産業組合ヘ加(五) 組合規約、組合員名簿、役員氏名住所等ヲ添ヘ産業組合ヘ加入申込ヲナス

(六) 負債整理ノ申出ヲ爲サシメ誓約セシム

(七) 昭和八年八月以後ノ負債ヲ整理スルコトノ認可申請

(八) 各債權者ニ負債整理申出受理通知並法第二條但書認可通知ヲ但書認可通知ヲ

(九) 申出者家庭ノ狀況檢討經濟更生計畫負債償還計畫ノ樹立

(十) 當該組合員ノ經濟更生計畫及負債償還計畫ヲ添ヘ必要ナル事由ヲ必要アル場合

(十一) 負債整理事業計畫認可申請(二篇ノ一ノ3) 及四ノ(12) ヲナス

(十二) 市町村又ハ(十二) 借入額定マレバ資金經由機關ニ借入申込ヲ爲ス即チ市町村ノ場合ハ貸付條件調書、負債整理組合ニ關スル調書(三篇ノ十一ノ後表ノ) 規約負債整理事業計畫書ヲ添ヘ申込(二篇ノ十六) 信用組合ノ場合ハ金額、所要時期、返済方法、返済期限拂込時期ヲ記シ申込(二篇ノ十七)

(十三) 起債(三篇ノ五ノ3) 負債整理資金特別融通損失補償契約ヲ爲スノ件(三篇ノ五ノ5) 負債整理資金特別融資ヲナスニツキ特別會計設置ノ件(三篇ノ五ノ1) 負債整理資金特別融通規程設定(三篇ノ五ノ4) 特別會計負債整理特別融通資金豫算(三篇ノ五ノ2) ノ議決ヲナス

(十四) 起債決議書(三篇ノ一〇) 起債理由書(全) 財政計畫書(全) 負債調及其ノ償還年次表(全) 基本財産運用金積戻調(全) 基本財産調(全) 諸稅諸負擔調(全) 市町村稅納稅成績表(全) 償還期間中ニ於ケル課稅見込額調(全) 議入出豫算書(追加更生ノ場合ハ現計豫算ヲ調製スルコト尙付記ヲ省略セザルコト) 村ヨリ負債整理組合ニ對スル貸付條件及全契約書案(二篇ノ四ノ22) 貸付金回收計畫書、損失補償ニ關スル縣ト

五、負債整理資金  
貸付普通限度超  
過認可申請

六、市町村會ヲ開  
キ特別融通ニ關  
シ必要ナル議決  
ヲナス

七、起債許可稟請

(十) 資金三千圓ヲ(十) 當該組合員ノ經濟更生計畫及負債償還計畫ヲ添ヘ必要ナル事由ヲ必要アル場合

(十一) 負債整理事業計畫認可申請(二篇ノ一ノ3) 及四ノ(12) ヲナス

(十二) 市町村又ハ(十二) 借入額定マレバ資金經由機關ニ借入申込ヲ爲ス即チ市町村ノ場合ハ貸付條件調書、負債整理組合ニ關スル調書(三篇ノ十一ノ後表ノ) 規約負債整理事業計畫書ヲ添ヘ申込(二篇ノ十六) 信用組合ノ場合ハ金額、所要時期、返済方法、返済期限拂込時期ヲ記シ申込(二篇ノ十七)

(十三) 起債(三篇ノ五ノ3) 負債整理資金特別融通損失補償契約ヲ爲スノ件(三篇ノ五ノ5) 負債整理資金特別融資ヲナスニツキ特別會計設置ノ件(三篇ノ五ノ1) 負債整理資金特別融通規程設定(三篇ノ五ノ4) 特別會計負債整理特別融通資金豫算(三篇ノ五ノ2) ノ議決ヲナス

(十四) 起債決議書(三篇ノ一〇) 起債理由書(全) 財政計畫書(全) 負債調及其ノ償還年次表(全) 基本財産運用金積戻調(全) 基本財産調(全) 諸稅諸負擔調(全) 市町村稅納稅成績表(全) 償還期間中ニ於ケル課稅見込額調(全) 議入出豫算書(追加更生ノ場合ハ現計豫算ヲ調製スルコト尙付記ヲ省略セザルコト) 村ヨリ負債整理組合ニ對スル貸付條件及全契約書案(二篇ノ四ノ22) 貸付金回收計畫書、損失補償ニ關スル縣ト



八、損失補償契約  
締結申込

九、負債整理組合  
ノ請求ニ依リ條  
件緩和ノ斡旋ヲ  
爲ス

十、預金部資金供  
給稟請

ノ契約書寫(三篇ノ七)最近五ヶ年間ニ於ケル各種轉貸資金ノ回收狀  
況調(三篇ノ一〇)貸付組合ノ規約(二篇ノ四ノ二)負債整理事業計書  
書(二篇ノ四ノ一二)負債整理資金特別融通規程(三篇ノ五ノ四)ヲ添  
ヘ申請書(三篇ノ一〇)ヲ知事ニ提出ス  
八、細第二十一條ニ依リ負債整理特別融通計書(三篇ノ九)市町村會決  
議書ノ謄本各(三篇ノ五ノ五)二通ヲ添ヘ契約書(三篇ノ七)三通ニ調  
印申込ムコト(三篇ノ六)

(十三)條件緩和協  
定ノ斡旋

(十四)市町村負債  
整理委員會ヘ協  
定斡旋請求

(十五)金錢債務臨  
時調停申立

(十三)各個ノ負債整理計畫ニ基キ當事者間ヲ斡旋シ協定セシメ協定書  
(二篇ノ四ノ一三)ヲ作ラシメ又ハ斡旋調書ヲ作り條件緩和斡旋基帳  
(二篇ノ四ノ二七)ニ登録ス

(十四)負債整理組合ノ斡旋スル條件緩和協定成ラザルトキハ條件緩和  
協定斡旋請求書(二篇ノ四ノ一四)ヲ市町村負債整理委員會ヘ提出ス  
九、斡旋請求アリタルトキハ委員會長(市町村長)ハ斡旋委員ヲ指定シ  
且ツ關係當事者ニ請求ノ要旨斡旋委員ノ氏名ヲ通知ス(三篇ノ二一  
ノ四)

(十五)市町村負債整理委員會ノ斡旋ニテ協定成ラザルトキハ組合員ヲ  
シテ金錢債務臨時調停法ニ依リ調停ノ申立(二篇ノ四ノ一五)ヲナス  
(注意)強制執行ヲ受クル虞アル場合ニハ急ギ申立ヲナスコト  
十、負債整理組合ノ條件緩和協定斡旋大體終了セルトキハ起債決議書  
寫(三篇ノ五ノ三)起債許可書寫、負債整理事業計畫書寫(二篇ノ四ノ  
一二)ヲ添ヘ預金部資金供給稟請書(三篇ノ十一)ヲ預金部資金局長及  
知事ニ提出ス(支局長ニ提出スルモノハ全出張所經由ノコト)

3、負債整理資金  
借入申込

4、現金受領

十一、預金部資金  
交付申請

十二、現金受領

(十六)産業組合中  
央金庫ニ對スル  
借入申込

(十七)繼續資金借入  
承認申請

(十八)負債整理會  
金借入

(十六)中央金庫所定ノ負債整理資金借入申込書(二篇ノ四ノ一八)ニ  
貸付組合員調(二篇ノ四ノ二〇)ヲ添付縣經由中央金庫ニ提出ス(用  
紙ハ請求ニ依リ交付セラル)

3、負債整理組合ヨリ縣經由借入申込ミタルトキハ全時ニ信用組合ヨ  
リモ中央金庫ヨリ交付セラルル負債整理資金借入申込書(四篇ノ一)  
ニ最近ノ試算表、定款、最近三ヶ年間事業報告貸借對照表及財産目錄  
添付(既ニ別途提出アル向ハ省クコトヲ得)縣信聯經由申込ム

(十七)條件緩和ノ協定成リ負債整理特別融通資金入手迄急ギ支拂ヲ要  
スル向ハ繼續資金ヲ貸付クル組合ハ其ノ必要トスル理由ヲ具シ負債整  
理繼續資金借入承認申請(二篇ノ一ノ八)ヲナシ承認ヲ受クレバ中金縣  
信聯ヨリ融通セラル

十一、貸付決定通知ニ接セバ預金部資金交付申請書(三篇ノ十二)ヲ提  
出ス  
十二、借用証書(三篇ノ一三)ニ市町村長ノ送付書(三篇ノ三)ヲ添ヘ收  
入役ノ領收証(三篇ノ一三)ヲ日本銀行支店又ハ代理店ニテ受領ス  
4、借用証書(中金ヨリ送付ス)ニ領收証ヲ添ヘ中金代理店ニテ受取  
ル

(十八)役場又ハ信用組合ヘ負債整理資金來リ負債整理組合ニ於テ條件  
緩和協定ノ斡旋全部完了シ各經濟更生計畫樹立セハ  
負債整理資金借用証(二篇ノ四ノ二二)擔保差入保証書(二篇ノ四ノ  
二三)ヲ添ヘ資金ノ交付ヲ受ク



十三、貸付報告

十四、登録税法施行規則第五條ノ六第二號該當証明願ノ進達

十五、擔保差入書及質入承諾書ニ確定日付ヲ付ス  
十六、附記登記申請  
十七、擔保ヲ徵シ個人保証解除

一三、農村負債整理特別融通資金取扱要項一ニ依リ預金部農村負債整理特別融通資金貸付報告書(三篇ノ一五)ヲ農林、大藏、知事、支局長宛報告ス

(十九)負債整理資

金貸付  
(十九)負債整理者ヨリ借用証書(二篇ノ四ノ26)及質入承諾書(二篇ノ四ノ25)ヲ徵シ緩和斡旋臺帳ニ支拂月日金額記載ノ上借權者ノ受取印ヲ徵シ(條件緩和斡旋臺帳ニ債權者ノ受取印ヲ徵スルコト能ハザルトキハ債權者ノ所持セル借用証書ニ受取印付記、捺印セシメ其ノ送付ヲ受ケ又ハ新ニ領收証ヲ徵スルコト)

(二十)登録税法施

行規則第五條ノ六ノ第二號ニ該十四、細三六條ニ基キ登録税法施行規則第五條ノ六ノ第一號該當証明願ノ提出アレバ其ノ事實ヲ調査シ調査ノ結果ヲ與書シテ知事ニ進達ス(三篇ノ一四)

(二十一)抵當權設

定登記申請  
(二十一)抵當權ヲ設定シ貸付クルモノハ抵當權設定登記申請(二篇ノ三ノ2)ニ借用証書(二篇ノ四ノ26)登記義務者ノ權利ニ關スル登記濟証、登録税法施行規則第五條ノ六ノ第二號該當證明書(二篇ノ一ノ11)ヲ添ヘ登記ス

(二十二)貸付債權

ノ質入  
(二十二)擔保差入書(二篇ノ四ノ26)ニ質入承諾書(二篇ノ四ノ25)ヲ添ヘ資金借入先(市町村各信用組合)ニ提出ス  
十五、擔保差入書及質入承諾書ニ確定日付ヲ附スル爲確定日附附與請求書(二篇ノ三ノ17)ヲ登記所ニ出シ確定日付ヲ附ス  
十六、負債整理組合ヨリ擔付トシテ差入レタル貸付債權ニ附屬スル不動産ノ擔保ニ附記登記申請(三篇ノ一〇)ヲ爲ス  
十七、負債整理組合ヨリ其ノ貸付債權ヲ徵シ擔保差入保証書ヲ返ス

第二 普通事務 (例年ノ又ハ該當スル時爲スヘキ手續)

甲 負債整理組合

一、事業年度終リ決算完了セルトキ

一、規約ニ定メラレタル時期ニ總會ヲ開キ前年ノ事業報告借入金最高限度ノ決議其ノ年度ノ組合事業計畫收支目論見役員ノ改選等ヲ行ハネハナラヌ又其ノ手續方法ハ次ノ如クスル  
イ、細第八條ニ依リ總會開催十日以前ニ開會ノ日時、場所及會議ノ目的ヲ具シ知事ニ届出ル(二篇ノ二ノ4)  
ロ、總會ノ日ヨリ一週間以上前ニ理事ハ細第九條ニ示ス様式ニ從ヒ財産目録貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分案ヲ作り監事ニ提出シ審査ヲ求メル  
ハ、會期五日以上前ニ會議ノ目的タル事項(財産目録、貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分案ノ承認ヲ求ムル件、其ノ年度中ニ於ケル借入金ノ最高限度議決ノ件、組合事業計畫收支目論見ノ協議、理事監事(任期滿了缺員補充ノタメ)選舉ノ件、其ノ他規約變更ノ件負債整理事業計畫變更ノ件等議スヘキ事項ヲ明示スルコト)ヲ示シ規約ニ定メタル方法ニ從ヒテ招集狀ヲ出スコト(二篇ノ四ノ3)

二、總會當日財産目録、貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分案ニ監事ノ意見書ヲ添ヘ他ノ議案ノ案ヲ提出遂次決議ヲ爲シ決議録ヲ作り會議ノ額末總組合員數及出席者ノ員數ヲ記シ議長(普通組合長)及出席者二名以上ニ署名スルコト(二篇ノ四ノ7)

二、事業報告書等總會ノ承認ヲ得タル時  
三、其ノ年ニ於ケル借入金ノ最高限度ヲ決議シタル時

二、則第二十條ニ依リ財産目録、貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分案ヲ知事ニ差出ス  
三、則第二十二條ニ依リ直チニ其ノ年ニ於ケル借入金ノ最高限度ヲ何圖ト決議セル旨知事ニ報告スルコト(二篇ノ二ノ3)

四、理事、監事ノ氏名、住所

四、法第十七條第三項ニ依リ二週間内ニ負債整理組合理事(監事)氏名(住所)變更登記申請(二篇ノ九)



- 所ニ變更アリタルトキ
- ノ三ノ(9)ヲナシ則第二十五條ニ依リ遲滞ナク氏名、住所、並ニ變更ノ事由及年月日ヲ知事ニ届出ルコト
- 五、理事、監事ニ異動(死亡、法第十七條第三項ニ依リ二週間内ニ負債整理組合理事(監事)變更登記申請(二篇ノ三ノ(10)(11)(12)ヲナシ且ツ則第二十五條ニ依リ知事ニ報告スルコト
- 選任重任)アリタルトキ
- 六、組合員ノ脱退(死亡ヲ六、法第二十條第三項ニ依リ二週間内ニ、脱退死亡ノ時ハ負債整理組合原簿記載變更申請(二篇含ム)加入氏名、住所ニ三ノ(16)加入ノトキハ負債整理組合員加入變更登記申請(二篇ノ三ノ(18)ヲナスコト
- 變更アリタルトキ
- 七、出資總口數又ハ拂込ミ七、法第二十條第三項ニ依リ二週間内ニ負債整理組合原簿記載變更申請(二篇ノ三ノ(16)ヲナスタル出資ノ總額ニ變更アリタルトキ
- 八、組合長變更ノ場合
- 九、規約變更ノ場合
- 十、負債整理事業計畫ヲ變更スルトキ
- 十一、繰上ケ償還ヲ爲サントスルトキ
- ノ事務ニ手續アリ)ヲ爲シ豫定ノ元利償還ト同時ニ之ヲ行フモノトス
- 十二、負債償還積立金ヲ處分セントスルトキ
- 一ノ(9)

乙市 町 村

- 一、農村負債整理資金特別融通損失補償契約後更ニ借入ヲナシ又ハ實際貸付額減少シタル場合
- 二、特別融通ニ付農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則及全則ニ基キテ主務大臣ノ定メラレタルモノ以外ノ貸付條件ヲ付スルトキ
- 三、一月中ニハ市町村負債整理委員會經費補助申請事ニ提出スルコト
- 四、四月中ニハ委員會年度報告
- 五、四月中ニハ市町村負債整理委員會經費補助ヲ受ケタル市町村ハ助則第五條ニ依リ四月末日迄ニ前年度負
- 一、細第三十二條ニ依リ申込書(三篇ノ六ニ準ズ)ニ變更契約書(三篇ノ八)三通(市町村長調印ノ上)市町村ノ負債整理資金特別融通計畫書(三篇ノ九)及市町村會決議書(二篇ノ五ノ六)謄本各二通添付シ之ヲ知事ニ提出スルコト
- 二、補則第十二條ニ依リ知事ノ認可ヲ受クルコト
- 三、助則第三條ニ依リ前年度一月末日迄ニ市町村負債整理委員會經費補助申請書(三篇ノ二)ヲ知事ニ提出スルコト
- 四、訓第二十三條ニ依リ市町村負債整理委員會ハ毎年四月末日迄ニ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日迄ノ間ニ於ケル條件緩和翰旋狀況(訓様式第二號)ヲ知事ニ報告スルコト
- 五、市町村負債整理委員會經費補助ヲ受ケタル市町村ハ助則第五條ニ依リ四月末日迄ニ前年度負



整理委員會費收支決算書並ニ事業成績書(助則別記様式)ヲ二通知事ニ提出スルコト(三篇ノ三)

六、五月中前年度ノ特別融六、補則第二十條ニ依リ市町村ハ五月底迄ニ特別融通ニ關スル報告(補則附録様式)ニ依リ知事通ニ關スル報告

七、組合ヨリ繰上償還ノ申七、市町村ガ一部繰上償還ヲ爲サントスルトキハ最近ノ元利支拂期日ニ繰上償還セラルルニ付一出タルトキ

資金融上償還承認申請書(三篇ノ一九)ヲ預金部資金局廣島支局長宛受持出張所經由提出スルト

# 目次

## 第一篇 農村負債整理關係法規

- 一 農村負債整理組合法.....一
- 二 農村負債整理組合法施行規則.....二二
- 三 農農負債整理資金特別融通及損失補償法.....二九
- 四 農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則.....三二
- 五 市町村負債整理委員會令.....四〇
- 六 金錢債務臨時調停法.....四三
- 七 昭和十二年十二月農林省訓令第八號.....四五
- 八 農村負債整理組合法及農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行細則.....五二
- 九 昭和十三年三月愛媛縣訓令第三號.....九四
- 一〇 市町村負債整理委員會經費補助規則.....一〇三
- 一一 登録税法施行規則拔萃.....一〇七
- 一二 不動産登記法施行規則拔萃.....一〇八
- 一三 農村負債整理特別融通資金融通條件.....一一〇
- 一四 農村負債整理特別融通資金取扱要項.....一一〇
- 一五 負債整理組合登記取扱手續.....一一三



一六 養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續……………一三二

一七 負債整理組合登記簿ニ關スル件……………一四二

### 第二篇 負債整理組合關係書式

#### 一、認可申請書

(1) 負債整理組合設立認可申請書……………一四三

(2) 農村負債整理組合法第二條但書ノ規定ニ依ル認可申請……………一四四

(3) 負債整理事業計畫認可申請……………一四五

(4) 負債整理資金貸付普通限度超過認可申請書……………一四六

(5) 負債整理事業計畫變更認可申請……………一四六

(6) 負債整理組合規約變更認可申請(一般ノ場合)……………一四七

(7) 負債整理組合規約變更認可申請書(組織變更ノ場合)……………一四八

(8) 負債整理繼續資金借入承認申請書……………一四九

(9) 負債償還立金處分認可申請書……………一五〇

(10) 負債整理組合解散認可申請書(則第二十九條該當ノモノ)……………一五二

(11) 登録税法施行規則第五條ノ六ノ第二號ニ該當證明願(登録税免除)……………一五二

#### 二、報告、届出書式

(1) 出會第一回拂込濟報告書……………一五四

(2) 負債整理組合總會開催届(細第八條)……………一五四

(3) 農村負債整理組合法施行規則第二十二條ニ依ル(借入金、貸付金ノ最高限度)報告……………一五六

(4) 負債整理組合長變更届(細第四條)……………一五八

(5) 負債整理組合理事(監事)變更届(解任)……………一五六

(6) 負債整理組合理事(監事)變更届(辞任、死亡)……………一五七

(7) 負債整理組合理事(監事)住所變更届……………一五八

(8) 負債整理組合訴訟ノ當事者タルニ至リシ(判決アリタル時)報告……………一五九

(9) 負債整理組合破産宣告請求報告……………一六〇

(10) 負債整理組合不整事項報告……………一六〇

(11) 負債整理組合解散届……………一六一

(12) 負債整理組合清算人選任届……………一六二

(13) 負債整理組合清算人變更届(補欠選任)……………一六二

(14) 負債整理組合清算人變更届(退任、死亡)……………一六三

(15) 負債整理組合清算人住所移轉届……………一六四

#### 三、登記申請書

○負債整理組合登記上ノ通則……………一六五

(1) 負債整理組合設立登記申請書……………一六七

(2) 抵當權設定登記申請書……………一七三

(3) 負債整理組合名稱變更登記申請書……………一七五

(4) 負債整理組合組織變更登記申請書……………一七六



(5)	負債整理組合地區變更登記申請書.....	一七七
(6)	負債整理組合事務所移轉登記申請書.....	一七八
(7)	負債整理組合出資壹口ノ金額變更登記申請書(増加メ場合).....	一七九
(8)	負債整理組合出資拂込方法變更登記申請書.....	一八〇
(9)	負債整理組合理事(監事)住所變更登記申請書.....	一八四
(10)	負債整理組合理事(監事)變更登記申請書(任期滿了ニ付改選).....	一八一
(11)	負債整理組合理事(監事)解任並選任登記申請書.....	一八二
(12)	負債整理組合理事(監事)退任(又ハ死亡)登記申請書.....	一八三
(13)	負債整理組合登記更正申請書.....	一八六
(14)	負債整理組合解散登記申請書(總會ノ決議ニ因ルモノ).....	一八七
(15)	負債整理組合清算終了登記申請書.....	一八九
(16)	負債整理組合原簿記載變更申請書(出資總口數、拂込ミタル出資ノ總額組合員氏名住所變更).....	一九〇
(16)	負債整理組合原簿記載變更申請書(脫退).....	一九一
(16)	負債整理組合原簿記載變更申請書(持分讓渡).....	一九二
(16)	負債整理組合原簿記載變更申請書(保證金額變更).....	一九四
(17)	確定日附附與請求書.....	一九五
(18)	負債整理組合員加入變更登記申請書(加入).....	一九六
(19)	催告並公告證明書(農村負債整理組合法第二十四條第二項ニ於テ準用スル産業組 合法第六十八條第二項ノ手續ヲ爲シタルコトヲ證スル證明書)	一九七
(20)	證明書(原簿記載ノ事實ニ付監事ノ證明).....	一九八

四、其ノ他ノ書式

(1)	負債整理事業計畫要領書.....	一九九
(2)	負債整理組合同規約例.....	二〇一
(3)	總會通知狀.....	二〇七
(4)	委任狀(總會出席).....	二〇八
(5)	負債整理組合同事業執行細則.....	二〇九
(6)	負債整理組合同總會議事規則例.....	二一四
(7)	總會決議錄例.....	二一六
(8)	負債整理申出書「付負債整理資料トシテノ收支狀況調査ニ就テ(二二五)」.....	二一八
(9)	負債整理申込受理通知書.....	二二六
(10)	農村負債整理組合法第二條但書ノ認可通知書.....	二二七
(11)	負債整理計畫「付負債整理計畫樹立方法(二三五)」.....	二二八
(12)	負債整理事業計畫書.....	二三六
(13)	條件緩和協定書.....	二四二
(14)	市町村負債整理委員會ノ協定斡旋請求書.....	二四三
(15)	金錢債務臨時調停申立書.....	二四三
(16)	農村負債整理特別融通資金借入申込書(市町村經由ノ場合).....	二四九
(17)	農村負債整理特別融通資金借入申込書(産業組合經由ノ場合).....	二四九
(18)	負債整理資金借入申込書(縣經由産業組合中央金庫へ提出スルモノ).....	二五〇

第二篇四ノ(1)——第二篇四ノ(18)



(19)	農村負債整理資金借入申込書(日本勸業銀行ニ申込ムモノ)	二六〇
(20)	負債整理資金借入組合員調	二五三
(22)	負債整理資金借用書(負債整理組合ヨリ村又ハ信用組合ニ入ルモノ)	二六一
(23)	擔保差入保證書	二六四
(24)	擔保差入書	二六五
(25)	質入承諾書	二六六
(26)	借用證書(擔保貸付ノ場合組合員ヨリ負債整理組合ニ提出セルモノ)	二六七
(27)	借用證書(無擔保貸付ノ場合組合員ヨリ負債整理組合ニ提出スルモノ)	二六九
(28)	負債整理組合簿記	二七〇
(29)	負債整理組合收支豫算例	二九五
(30)	負債整理積立金造成計畫例	二九七
(31)	催告狀(産業組合法第六十八條ノ準用ニ依ル)	二九九
	公告(産業組合法第六十八條ノ準用ニ依ル)	三〇〇

### 第三篇 市町村開關係書式

一	市町村負債整理委員會設置ニ付稟申	三〇一
二	市町村負債整理委員會經費補助申請	三〇二
三	市町村負債整理委員會費收支決算並ニ事業報告書	三〇二
四	負債整理組合設立認可申請ニ付副申	三〇六

### 五 負債整理關係市町村會決議事項

(1)	特別會計設置議案	三一三
(2)	何村特別會計負債整理資金特別融通歳入歳出豫算案	三一四
(3)	起債決議案	三〇八
(4)	負債整理資金特別融通規程制定案	三一六
(5)	損失補償契約ヲナス決議案	三一七
(6)	農村負債整理資金特別融通損失補償契約變更契約案	三一九
六	農村負債整理資金特別融通損失補償契約申込書	三二〇
七	負債整理資金特別融通損失補償契約書	三二〇
八	負債整理資金特別融通損失補償契約變更契約書	三二〇
九	負債整理資金特別融通計畫書	三二一
一〇	農村負債整理特別融通資金起債許可申請書	三二三
一一	預金部資金供給稟請書	三三九
一二	預金部資金交付申請書	三四五
一三	借用證書(村ヨリ大藏大臣ニ提出スベキモノ)	三四七
一三	領收證(預金部資金)	三四七
一三	送付書(預金部資金借用證書)	三四七
一四	登録稅法施行規則第五條ノ六ノ二ニ該當スル證明願ニ對スル副申	三四八
一五	預金部農村負債整理特別融通資金貸付報告書	三四八



一六	特別融通狀況報告書	三四九
一七	預金部資金元利拂込内譯書	三四七
一八	預金部資金元利金支拂計算書	三四七
一九	預金部資金繰上償還承認申請書	三五二
二〇	附記登記申請	三五三
二一	負債整理委員會ノ諸書式	三五五
(1)	負債整理委員會處務規程例	三五五
(2)	負債整理委員會幹旋事件記録	三五六
(3)	負債整理幹旋請求調書(口頭請求アリタルトキ)	三五七
(3)	負債整理幹旋請求調書(口頭請求アリタルトキ)	三五九
(3)	全 (書面請求アリタルトキ)	三六〇
(4)	幹旋請求受理並ニ幹旋委員氏名通知書	三六一
(5)	當事者呼出狀	三六一
(6)	利益關係人參加要求狀	三六一
(7)	幹旋調書	三六二
(8)	幹旋報告書	三六三
(9)	協定書	三六四
(10)	幹旋終了通知書	三六五
<b>第四篇 産業組合關係書式</b>		
一	農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ信用組合定款例	三六七
二	信用組合ガ負債整理組合ヘ特別融通ニ因ル資金ヲ以テ爲ス負債償還資金ヲ貸付ケントスル場合ノ手續	三六八
三	負債整理資金借入申込書	三七〇

# 第一編 農村負債整理關係法規

## 農村負債整理組合法

法律第二十一號 昭和八年三月二十九日  
沿革 昭和十一年五月 法律第二十一號  
全 十二年八月 全第七七七號改正

### 第一章 總 則

- 第一條 本法ハ農山漁村ニ居住スル者ノ經濟更生ヲ圖ル爲隣保共助ノ精神ニ則リ其ノ者ヲシテ負債整理組合ヲ組織セシメ組合ノ樹立シタル負債償還計畫及經濟更生計畫ヲ履行セシメ以テ其ノ負債ノ整理ヲ爲サシムルコトヲ目的トス
- 第二條 本法ニ於テ負債トハ負債整理組合ノ組合員ノ負擔スル私法上ノ金錢債務ニシテ組合設立前ニ生ジタルモノヲ謂フ但シ本法施行後ニ生ジタルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルモノニ限ル
- 第三條 負債整理組合ノ組合員本法ニ依リ負債整理ヲ爲サントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ負債整理組合ニ對シ其ノ旨ヲ申出ヅベシ
- 負債整理組合前項ノ申出ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員及債權者間ニ於ケル負債ノ金額、利率、償還期限、償還方法其ノ他ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ニ付幹旋ヲ爲スベシ
- 第四條 前條ノ幹旋ニ依リ協定成ラザル負債ニ付テハ負債整理組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村負債整理委員會ニ對シ其ノ協定ノ幹旋ヲ請求スルコトヲ得
- 市町村負債整理委員會ノ組織、權限其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第五條 前條ノ市町村負債整理委員會ノ幹旋ニ依リ協定成ラザルトキ又ハ負債整理組合ノ事務所ノ所在地タル市町村ニ市町村負債整理委員會ナキ爲其ノ幹旋ニ依ルコト能ハザルトキハ債務者タル組合員又ハ債權者ハ金錢債務臨時調停法第二條第一項



ノ明日ニ關スル制限ノ規定ニ拘ラズ同法ニ依リ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

(參照)

金錢債務臨時調停法

第二條 調停ノ申立ハ私法上ノ金錢債務ニシテ金額十圓ヲ超過セザルモノニ付テハ爲スコトヲ得但シ小作料其ノ他小作關係ヨリ生ジタルモノ及地代、家賃其ノ他借地借家關係ヨリ生ジタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 第三條第一項ノ規定ニ依リ負債整理ノ申出アリタル負債ニ付金錢債務臨時調停法ニ依ル調停事件繫屬スルトキハ裁判所又ハ調停委員會ハ第三條第二項又ハ第四條ノ規定ニ依ル斡旋ノ終了ニ至ル迄其調停手續ヲ中止スルコトヲ得

第七條 負債整理組合ヨリ負債整理資金ノ貸付ヲ受ゲタル組合員ガ其ノ貸付ノ條件ヲ具備セザルニ至リタル場合ニ於ケル負債整理組合ノ不動産其ノ他ノモノノ取得ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

負債整理組合ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其事業遂行ノタメ必要ナル土地ヲ取得スル場合又前項ニ同ジ

第八條 信用組合其ノ他勅令ヲ以テ定ムル法人ニシテ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケ第十一條ノ事業ヲ行フモノハ本章ノ適用ニ關シテハ之ヲ負債整理組合ト看做ス

但シ第二條中組合設立前トアルハ行政官廳ノ認可前トス

前項ノ法人ガ第十一條ノ事業ノ認可ヲ申請スルコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ日ヨリ十三年間トス

第九條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ之ニ準ズベキモノトス

第二章 負債整理組合

第十條 負債整理組合ハ組合員ノ經濟更生ヲ圖ル爲隣保共助ノ精神ニ則リ組合員ヲシテ其ノ負債ノ整理ヲ爲サシムルコトヲ目的トス

第十一條 負債整理組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 組合員ノ負債償還計畫及經濟更生計畫ノ樹立

二 債務者タル組合員及債權者間ニ於ケル負債ノ金額、利率、償還期限、償還方法其ノ他ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ斡旋

三 組合員ニ對スル負債整理資金ノ貸付

四 前各號ニ掲グルモノノ外組合員ノ負債整理ニ必要ナル事業

負債整理組合ハ組合員ガ負債整理ノ爲其ノ所有地ヲ度分スル場合ニ於テ組合員タル小作人其ノ他ノ者ガ其ノ土地ヲ購入セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ要スル資金ノ貸付ヲ爲スコトヲ得

第十二條 負債整理組合ハ法人トス

第十三條 負債整理組合ハ一定ノ地區内ニ居住スル者ヲ以テ之ヲ組織ス

前項ノ地區ハ部落其ノ他之ニ準スル區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ町村ノ區域ニ依ルコトヲ得

第十四條 負債整理組合ノ組織ハ無限責任及保證責任ノ二種トス

無限責任ノ組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ保證責任ノ組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ其ノ出資額ノ外一定ノ金額(保證金額)ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第十五條 負債整理組合ヲ設立セントスルトキハ設立者ハ規約ヲ作成シ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ニ設立ノ認可ヲ申請ス

ハシ

規約ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ニ掲グル事項ヲ記載シ設立者之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

一 目的

二 名稱

三 組織



- 四 地區
  - 五 事務所ノ所在地
  - 六 組合員ノ加入脱退ニ關スル規定
  - 七 事業ノ執行ニ關スル規定
  - 八 役員ニ關スル規定
  - 九 損失分擔ニ關スル規定
  - 十 組合ガ公告ヲ爲ス方法
  - 十一 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由
  - 十二 無限責任ノ組合ニ在リテハ組合員ノ分擔ニ關スル規定
  - 十三 保證責任ノ組合ニ在リテハ出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法竝ニ保證金額ニ關スル規定
  - 第十六條 前條第一項ノ認可ノ申請ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ日ヨリ十三年間トス
  - 第十七條 負債整理組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ
- 登記スベキ事項左ノ如シ
- 一 第十五條第二項第一號乃至第五號及第十一號ニ掲ゲタル事項
  - 二 設立認可ノ年月日
  - 三 理事及監事ノ氏名及住所
  - 四 保證責任ノ組合ニ在リテハ出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
- 前項ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ二週間以内ニ其ノ登記ヲ爲スベシ
- 第十八條 本法ニ依リ登記スベキ事項ハ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

- 第十九條 負債整理組合ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登録稅ヲ課セズ
- 第二十條 負債整理組合ノ設立登記ノ申請書ニハ無限責任ノ組合ニ在リテハ産業組合法第十六條ノ五第一項第三號ニ掲グル事項ヲ、保證責任ノ組合ニ在リテハ同條同項第一號、第二號及第四號ニ掲グル事項ヲ記載シタル組合原簿ヲ添附スベシ
- 組合員ノ加入ニ因ル變更登記ノ申請書ニハ無限責任ノ組合ニ在リテハ加入者ノ氏名及住所ヲ、保證責任ノ組合ニ在リテハ加入者ノ氏名、住所及保證金額ヲ記載シタル組合原簿ヲ添附スベシ
- 第十七條第三項及第十八條竝ニ産業組合法第十六條ノ四第一項第十六條ノ五第二項ノ規定ハ組合原簿ニ之ヲ準用ス但シ同法第十六條ノ四第一項中地方長官トアルハ事務所所在地ノ登記所トス

(參照)

産業組合法

- 第十六條ノ四 組合ハ主タル事務所ノ移轉又ハ組織變更ノ登記ニ關スル届出ヲ爲スト同時ニ組合原簿ヲ地方長官ニ提出スヘシ但シ同
- 一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 地方長官ハ主タル事務所所在地ノ登記所ニ前項ノ登記ヲ囑託スルト同時ニ組合原簿ヲ送付スベシ(大正六年法律第二十二號追加)
- 第十六條ノ五 組合原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
  - 一 出資ノ總口數
  - 二 拂込ミタル出資ノ總額
  - 三 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所
  - 四 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額
- 登記所ノ受理シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス



第二十一條 負債整理組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員ヲシテ組合ノ負債償還ノ一部ニ充ツル爲積立金ヲ醸出セシムルコトヲ得

前項ノ積立金ノ管理、處分其ノ他必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 負債整理組合ノ組合員ハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外總組合員ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非ザレバ脱退スルコトヲ得ズ

脱退シタル組合員ハ脱退前ニ生ジタル組合ノ債務ニ付第十四條第二項ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス

第二十三條 負債整理組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生ジタル組合ノ債務ニ付テモ亦第十四條第二項ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス

第二十四條 産業組合法第三條、第四條、第六條、第七條、第二十三條、第二十五條乃至第三十一條ノ二、第三十二條乃至第三十八條、第三十九條、第四十九條、第六十條第一項(清算ニ關スル規定ヲ除ク)第六十條ノ二、第六十一條(清算ニ關スル規定ヲ除ク)、第六十二條、第六十五條、第六十八條、第六十九條、第七十四條ノ二第一項及第九十三條ノ二、民法第四十七條、第四十八條、第六十條、第七十三條乃至第八十二條及第八十四條第一號並ニ非訴事件手續法第三十五條第二項、第三十六條、第三十七條ノ二、第一百十七條、第一百十九條乃至第二百二十二條、第三百三十六條乃至第三百三十八條、第四百二條、第三百四十三條、第四百四十七條乃至第五百十七條、第七百七十五條乃至第七百七十七條及第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ負債整理組合ニ之ヲ準用ス但シ産業組合法第九十三條ノ二中三百圓トアルハ二百圓トシ民法第四十八條及第七十七條中一週間トアルハ二週間トス

産業組合法第十一條、第十二條、第十七條第一項、第十八條乃至第二十一條、第四十條乃至第四十二條、第四十五條、第四十八條、第五十三條、第五十六條及第五十七條ノ規定ハ保證責任ノ負債整理組合ニ之ヲ準用ス

(參照)

産業組合法

第三條 産 組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條 産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スベキ文字ヲ用フベシ

産業組合ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第六條 産業組合ニハ所得税、營業收益税及營業税ヲ課セズ

第七條 産業組合ハ七人以上ニ非ザレバ之ヲ設立スルコトヲ得ズ

第十一條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムベシ

出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 組合ガ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

第十七條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スベシ

組合員ノ有スベキ出資口數ハ三十口ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五十口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムベキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非ザレバ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ズ

組合員ニ非ザル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルベシ

第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ズ

第二十一條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承認ス

第二十三條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理



事ニ請求スルコトヲ得

第二十五條 産業組合ニハ理事及監事ヲ置クベシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立ノ當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條 理事ハ定款及總會ノ決議ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クベシ組合員及組合ノ債權者ハ

前項ニ掲ゲタル書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 各組合員ノ氏名、住所

二 各組合員ノ出資口數

三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日

四 出資各口ノ取得ノ年月日

五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

第三十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フベシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ゲタル書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第三十一條ノ二 産業組合ガ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者が組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スベカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第三十二條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

(民法第四十四條第一項) 法人ハ理事其ノ他代理人ガ其ノ職務ヲ行フニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ズ

(同第五十二條第二項) 理事數人アヲ場合ニ於テ定款又ハ寄附行爲ニ別段ノ定メナキトキハ法人ノ事務ハ理事シ過半數ヲ以テ之ヲ

決ス

(同第五十三條) 理事ハ總テ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但定款ノ規定又ハ寄附行爲ノ趣旨ニ違反スルコトヲ得ズ又社團法人ニ

在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

(同第五十四條) 理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

(同第五十五條) 理事ハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレザルトキニ限り特定ノ行爲ノ代理ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

トヲ得

(同第六十一條第一項) 社團法人ノ理事ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十四條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

(民法第五十九) 監事ノ職務左ノ如シ

一 法人ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト

二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト



三 財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官廳ニ報告スルコト

四 前號ノ報告ヲ爲ス爲メ必要アルトキハ總會ヲ召集スルコト

第三十四條ノ二 理事缺クタルトキハ總會ノ召集ハ監事之ヲ行フ

理事カ第二十三條ノ規定ニ依ル請求アリタル日ヨリ二週間内ニ正當ノ事由ナクシテ總會召集ノ手續ヲ爲サザルトキハ監事ハ其ノ總會ヲ召集スヘシ

第三十五條 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ同シ

第三十六條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條 組合ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ズ

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十八條 民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス

(民法第六十二條) 總會ノ召集ハ少クとも五日日前ニ其會議ノ目的タル事項ヲ示シ定款ニ定メタル方法ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

ス

(同第六十四條) 總會ニ於テハ第六十二條ノ規定ニ依リテ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノ議決權ヲ爲スコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

(同第六十五條第一項) 各社員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

(同第六十六條) 社團法人ト或社員トノ關係ニ付キ議決ヲ爲ス場合ニ於テハ其社員ハ表決權ヲ有セス

第三十九條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス(四分ノ三)

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第四十條 組合ガ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目録又貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從モテ公告シ且知レタル

債權者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス(大正六年法律第二十二號改正)

第四十一條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組合員ノ保證金額ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十五條 組合ハ第二十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ買權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

第四十九條 組合員ノ加入ハ無限責任組合ニ在リテハ總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

前項ノ同意ニ付テハ組合ハ總組合員ニ對シ加入ニ異議アラハ二週間ヲ下ラサル一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テ其ノ期間内ニ異議ヲ述ヘサル者ハ同意ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第五十六條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ脱退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘ

キ損失額ヲ拂込ムヘシ

第五十七條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第六十條 監督官廳ハ何時ニテモ理事又ハ清算人ヲシテ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ組合ノ事業、財産又

ハ清算事務ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

監督官廳ハ組合清算ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ組合ニ對シ其ノ財産ノ供託ヲ命スルコトヲ得(大正六年法律第二十二號改正)



第六十條ノ二 理事ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ地方長官ハ假ニ理事ヲ選任スルコトヲ得  
 第六十一條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ  
 其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ理事、監事若ハ清等人ノ改選ヲ命ジ、組合ノ事業  
 チ停止シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 定款ニ定メタル事由ノ發生
- 二 總會ノ決議
- 三 組合ノ合併
- 四 組合員ガ七人未滿ニ減シタルトキ
- 五 組合ノ破産

第二十八條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合カ合併セムトスルトキ又ハ保證責任組合カ若クハ有限責任組  
 合カ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキトキハ其ノ合併ニ付總組合員ノ同意アルコトヲ要ス（大正六年法律第二十二號  
 改正）

第六十五條 總會決議ニ因ル解散又ハ合併ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第六十八條 組合ハ總組合員ノ同意ヲ以テ其ノ組織ヲ變更スルコトヲ得

組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ第四十條及第四十一條ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 民法第七十條ノ規定ハ産業組合ノ解散ニ之ヲ準用ス

（民法第七十條） 法人カ其債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ理事若クハ債權者ノ請求ニ因又ハ職權ヲ以テ破  
 産ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ理事ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四條ノ二 第一項清算終了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第九十三條ノ二 組合ノ理事、監事又ハ波算人ハ左ノ場合ニ於テハ五百圓以上三百圓以下ノ過料ニ處セラル（明治四十二年法律第二十  
 七號、大正六年法律第二十二年改正）

- 一 本法ニ定メタル届出若ハ組合原簿ノ提出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ届出ヲ爲シ若ハ組合原簿ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
- 二 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
- 三 第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ違背シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ  
 記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
- 四 第一條第五項、第四十三條、第四十五條乃至第四十六條ノ二、第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ
- 五 第六十條ノ報告ヲ爲サス又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ
- 六 民法第七十九條ノ期間内ニ債權者ニ辨償ヲ爲シタルトキ
- 七 民法第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
- 八 民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ
- 九 組合ノ目的タル事業ニ非サハ營利事業ヲ營ミタルトキ
- 十 第四十條又ハ第四十一條ノ規定ニ違背シテ出資一口金ノ額若ハ組合員ノ保證金額ヲ減少シ、第五十八條ノ規定ニ依ル任責期間  
 ノ短縮ヲ爲シ又ハ組合ノ合併若ハ組織變更ヲ爲シタルトキ
- 十一 法令又ハ定款ニ違背シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ（民法第七十條ハ第六十九條、民法第七十九條及第八十一條ハ第七十五條  
 ノ參照ニ出ヅ）



第四十七條 第四十五條第一項及前條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニシテ官廳ノ許可ヲ要スルモノハ其ノ許可書ノ到達シタルトキヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第四十八條 法人カ其ノ事務所ノ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ一週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間内ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノミノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六十條 社團法人ノ理事ハ少クとも毎年一回社員ノ通常總會ヲ開クコトヲ要ス

第七十三條 解散シタル法人ハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其清算ノ結了ニ至ルマテ尙存續スルモノト看做ス

第七十四條 法人カ解散シタルトキハ破産ノ場合ヲ除ク外理事其清算人ニ爲ル但定款若クハ寄附行爲ニ別段ノ定アルトキハ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

第七十五條 前條ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル爲メ損害ヲ生スル虞アルトキハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢事ノ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十六條 重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十七條 清算人ハ破産ノ場合ヲ除ク外解散後一週間内ニ其氏名、住所及ヒ解散ノ原因、年月日ノ登記ヲ爲シ又何レノ場合ニ於テモ之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

清算中ニ就職シタル清算人ハ就職後一週間内ニ其ノ氏名、住所ノ登記ヲ爲シ且ツ之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

第七十八條 清算人ノ職務左ノ如シ

- 一 現務ノ結了
- 二 債權ノ取立及ヒ債務ノ辨濟
- 三 殘餘財産ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第七十九條 清算人ハ其ノ就職ノ日ヨリ二ヶ月内ニ少クとも三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間中ニ其ノ請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二ヶ月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲サザルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セララルヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ズ

清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス

第八十條 前條ノ期間後ニ申出テタル債權者ハ法人ノ債務完済ノ後未タ歸屬權利者ニ引渡ササル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十一條 清算中ニ法人ノ財産カ其ノ債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スルコトヲ要ス

清算人ハ破産管財人ニ其事務ヲ引渡シタルトキハ其任ヲ終リタルモノトス

本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第八十二條 法人ノ解散及ヒ清算ハ裁判所ノ監督ニ屬ス

裁判所ハ何時ニテモ職權ヲ以テ前項ノ監督ニ必要ナル檢査ヲ爲スコトヲ得

第八十四條 法人ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上二百圓以下ノ過料ニ處セララル

一 本章ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

非訟事件手續法

第三十五條 假理事又ハ特別代理人選任ハ法人ノ主たる事務所所在地ノ區裁判所ノ管轄トス  
法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ハ其主たる事務所所在地ノ區裁判所ノ管轄トス



第三十六條 裁判所ハ特ニ選任シタル者ヲシテ法人ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲サシムルコトヲ得  
第三十七條ノ二 第百二十九條ノ三及ヒ第百二十九條ノ四ノ規定ハ裁判所カ法人ノ清算人又ハ第三十六條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲スヘキ者ヲ選任シタル場合ニ之ヲ準用ス

(非訟事件手續法第百二十九條ノ三) 商法第百二十四條又ハ第百九十八條ノ規定ニ依リ裁判所カ検査役ヲ選任シタル場合ニ於テハ  
會社ヲシテ之ニ報酬ヲ與ヘシムルコトヲ得其ノ額ハ取締役及検査役ノ跡述ヲ聽キ裁判所之ヲ定ム

(同第百二十九條ノ四) 前二條ノ裁判ニ對シテハ即時公告ヲ爲スコトヲ得

(商法第百二十四條) 取締役ハ其選任後退滞ナク第百二十二條第三號乃至第五號ニ掲ケタル事項及ヒ第一回ノ拂込ヲ爲シタルヤ否  
ヤヲ調査セシムル爲検査役ノ選任ヲ裁判所請求スルコトヲ要ス

裁判所ハ検査役ノ報告ヲ聽キ第百三十五條ノ規定ニ準據シテ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

(同第百九十八條) 裁判所ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ヲ調査セシムル爲メ検査役ヲ選任スルコトヲ得

検査役ハ其ノ調査ノ結果ヲ裁判所ニ報告スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ検査役ヲシテ株主總會  
ヲ招集セシムルコトヲ得此ノ總會ニ於テハ前項ノ調査ヲ爲サシムル爲メ特ニ検査役ヲ選任スルコトヲ得

(同第百二十二條) 左ニ掲ケタル事項ヲ定メタルトキハ之ヲ定款ニ記載スルニ非サレハ其効ナシ

三 發起人カ受クヘキ特別ノ利益及ヒ之ヲ受クヘキ者ノ氏名

四 金額以外ノ財産ヲ以テ出資ノ目的ト爲ス者ノ氏名、其財産ノ種類、價格及ヒ之ニ對シテ與フル株式ノ數

五 會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用及發起人カ受クヘキ報酬ノ額

(同第百三十五條) 創立總會ニ於テ第百二十二條第三號乃至第五號ニ掲ケタル事項ヲ不當ト認メタルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得  
但金錢以外ノ財産ヲ以テ出資ノ目的ト爲ス者アル場合ニ於テ之ニ對シテ與フル株式ノ數ヲ減シタルトキハ其者ハ金錢ヲ以テ拂込ヲ

爲スコトヲ得

第百十七條 法人ノ登記ニ付テハ法人ノ事務所所地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第百十九條 各登記所ニ法人登記簿又ヒ夫婦財産契約登記簿ヲ備フ

第百二十條 法人設立ノ登記ハ理事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ定款、理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ主務官廳ノ許可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第百二十一條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因  
リテ之ヲナス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ証スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要  
スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル理事又ハ假理事カ同一登記所第一項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要  
セス

第百二十二條 法人ノ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及ヒ理事カ清算人タラサル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百三十六條 清算人ノ選任又ハ解任ニ關スル事件ハ會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス銀行又ハ無盡業若ハ無盡管理業ヲ營ム

會社ノ清算ノ監督亦同シ

第百三十七條 清算人ノ選任又ハ解任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス裁判所カ銀行又ハ無盡業若ハ無盡管理業ヲ營ム會

社ノ清算ノ監督ニ付キ爲シタル命令ニ對シ亦同シ

第百三十八條 左ニ掲ケタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス

一 未成年者



- 二 禁治産者及ヒ準禁治産者
- 三 剝奪公権者及ヒ停止公権者
- 四 裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人
- 五 破産者

第四百十二條 登記所ハ何人ニモ登記簿ノ閲覧ヲ許シ又ハ手數料ヲ納付スルトキハ之ニ其謄本若ハ抄本ヲ交付スヘシ

登記所ハ登記上利害ノ關係ヲ疎明シテ申請ヲ爲シタル者ニハ其ノ關係アル部分ニ限り登記簿ノ附屬書類ノ閲覧ヲ許スヘシ

郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請フトキハ登記所ハ之ヲ送付スヘシ

第四百十三條 登記所ハ申請ニ因リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ爲スヘシ

第四百十七條 登記スヘキ事項ノ登記、其變更又ハ消滅ノ登記ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請アルニ非サレハ之ヲ爲スコト得ス

第四百十八條 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其更正ヲ申請スルコトヲ得

第四百十八條ノ二 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十九條 登記ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 申請人ノ氏名、住所、會社カ申請人ナルトキハ其商號及ヒ本店又ハ支店
- 二 代理人ニ依リテ申請ヲ爲ストキハ其氏名、住所
- 三 登記ノ目的及事由

第四百十九條ノ二 申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

四 年月日

五 登記所ノ表示

第四百五十條 本章ノ規定ニ使リ連署ヲ以テ申請ヲ爲スヘキ場合ニ於テ正當ノ事由ニ因リ連署スルコト能ハサル者アルトキハ其他ノ者ノミニテ申請ヲ爲スコトヲ得

連署ヲ爲スコト能ハサル事由ハ之ヲ證明スルコトヲ要ス

第四百五十條ノ二 官廳ノ許可ヲ要スル事項ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ官廳ノ許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第四百五十條ノ三 本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ニ付キ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ申請スルニハ申請書ニ本店ノ所在地ニ於テ爲シタル登記ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ各本條ニ定メタル書類ハ之ヲ添附スルコトヲ要セス

第四百五十一條 登記所ハ登記ノ申請カ商法又ハ本章ノ規定ニ適セサルトキハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ決定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ申請人ニ送達スルコトヲ要ス

第四百五十一條ノ二 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ一ヶ月ヲ超エサル期間ヲ定メ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ登記ヲ抹消スヘキ旨ヲ通知スヘシ

登記ヲ爲シタル者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ前項ノ通知ニ代ヘ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ公告スヘシ

第四百五十一條ノ三 異議ノ申立アリタルトキハ登記所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ其ノ裁判ヲ爲スヘシ

前項ノ裁判ニ對シテハ即時公告ヲ爲スコトヲ得公告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス

第四百五十一條ノ四 異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下スル裁判カ確定シタルトキハ登記所ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹消スヘシ

第四百五十一條ノ五 前三條ノ規定ハ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ノ登記ニ付テハ本店ノ所在地ニ於テ爲シタル登記ニ



ノミ之ヲ適用ス

前項ノ場合ニ於テ本店所在地ノ登記所カ登記ヲ抹消シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ支店所在地ノ登記所ニ通知スヘシ  
支店所在地ノ登記所カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク登記ヲ抹消スヘシ

第百五十六條ノ六 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滞ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ但其錯誤又ハ遺漏カ登記所ノ過誤ニ出テタルトキハ此限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ登記所ハ遲滞ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更生ヲ爲スヘシ

第百五十四條 商業登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ一定ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第百五十五條 司法大臣ハ數個ノ登記所ノ管轄ニ屬スヘキ商業登記ノ事務ヲ其一登記所ニ委任スルコトヲ得

第百五十六條 登記簿ノ調製其他登記ニ關スル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第百五十七條 不動産登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條、第二十四條及ヒ第五十九條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

(不動産登記法第十條) 登記所ニ於テ其事務ヲ停止セサルコトヲ得サル事故ノ生シタルトキハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得

(同第十三條) 登記官吏カ其職務ノ執行ニ付申請人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其ノ損害カ登記官吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限リ之ヲ賠償スル責ニ任ス

(同第十八條) 登記簿ニハ地方裁判所長其枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ且毎葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

(同第二十條) 登記簿、見帳出、共同人名簿及ヒ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス  
申請書其ノ他ノ附屬書類ハ申請書受付ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス

(同第二十二條) 登記簿及ヒ其附屬書類ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除クノ外登記所外ニ持出スコトヲ得ス

但第二十條第二項ニ掲ケタル書類ニ付テハ裁判所又ハ豫審判事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此限ニ在ラズ

(同第二十四條) 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル時アルトキハ司法大臣ハ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

(同第五十九條) 行政區畫又ハ其名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ニ記載シタル行政區畫又ハ其名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス字又ハ其名稱ノ變更アリタルトキモ亦同シ

第百七十五條 清算人ニ關スル登記ハ清算ヲ爲スヘキ會社ノ登記所ノ管轄トス

前項ノ登記ハ會社ノ登記ニ記載シテ之ヲ爲ス

第百七十六條 清算人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ其選任及ヒ商法第九十條第二號並ニ第三號ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百七十七條 商法第九十條ニ掲ケタル事項ノ變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ現任清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ變更ノ事由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

(商法第九十條) 清算人ノ選任アリタルトキハ其清算人ハ二週間内ニ本店及支店ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一 清算人ノ氏名、住所

二 會社ヲ代表スヘキ清算人ヲ定メタルトキハ其氏名

三 數人ノ清算人カ共同シテ會社ヲ代表スヘキコトヲ定メタルトキハ其代表ニ關スル規定

第百六十六條 民法第八十四條、第百七十七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ

二及商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條第七十五條第三項、

第八十七條及ヒ小切手法第七十一條ニ定メタル事件ハ過料ニ處ヒラルヘキ者ノ住所地方裁判所ノ管轄トス

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ



當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス  
手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス  
抗公裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗公手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ効力ヲ有ス  
過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第二十五條 負債整理組合ノ理事又ハ監事何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス組合ノ事業ノ範圍外ニ於テ貸付ヲ爲シ又ハ投機取引ノ爲ニ組合財産ヲ處分シタルトキハ一年以下ノ懲後若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ハ之ヲ適用セズ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

登録税法第十九條但書中「第十四號」ヲ「第十四號乃至第十六號」ニ改メ同條第八號中自作農ノ創設維持」ノ下ニ「又ハ負債整理」ヲ加ヘ「又ハ産業組合聯合會」ヲ、「産業組合聯合會、負債整理組合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人」ニ改メ同條ニ左ノ二號ヲ加フ

十五 市町村、負債整理組合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理ヲ行フ法人ガ負債整理事業資金貸付ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記

十六 市町村、負債整理組合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ヨリ負債整理事業資金ノ貸付ヲ受ケタル者ガ其ノ貸付ノ條件ヲ具備セザルニ至リタル場合ニ於ケル市町村、負債整理組合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ所有權ノ取得ノ登記

農村負債整理組合法施行規則

昭和八年七月三十一日農林大藏内務省令  
(沿革)昭和十二年十一月省令第二號改正

第一條 負債整理組合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人(以下單ニ負債整理事業ヲ行フ法人ト稱ス)ノ組員負債整理ノ申出ヲ爲サントスル場合ニ於テハ其ノ組合又ハ法人ニ對シ誠實ニ負債ノ償還及經濟更生ニ努メ以テ負債整理ヲ爲スベキ旨ノ誓約ヲ爲スベシ

第二條 組員前條ノ場合ニ於テハ負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ニ對シ其ノ資産、業務ノ經營及家計ノ狀況ヲ明ニシ債務毎ニ其ノ債權者、發生年月日、金額、利率、償還期限、償還方法、辨濟狀況、債務發生ノ事情等ヲ具シ其ノ負擔スル一切ノ債務(公法上ノ債務ヲ含ム)ヲ申出ツベシ

第三條 負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人負債整理ノ申出ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ債權者(公法上ノ債權者ヲ除ク)ニ通知スベシ

第四條 負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人負債整理ノ申出ヲ受ケタルトキハ組員ノ資産負債、業務ノ經營及家計ノ狀況並ニ負債ノ性質等各般ノ事情ヲ考慮シ遲滞ナク其ノ負債償還計畫及經濟更生計畫ヲ樹立シ農村負債整理組合法第三條ノ斡旋ヲ爲スベシ

第五條 農村負債整理組合法第二條但書ノ認可ノ申請ハ負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シテ地方長官ニ之ヲ爲スベシ

- 一 認可ヲ受クベキ債務ノ債權者ノ氏名、住所、職業並ニ資産及負債ノ狀況
- 二 認可ヲ受クベキ債務ノ債權者ノ氏名、住所、職業ノ外其ノ債務ノ發生年月日、金額、利率、償還期限辨濟狀況其ノ他債



務ノ性質ヲ知ルニ必要ナル事項

三 認可ヲ受クベキ債務ノ整理ヲ必要トスル理由

第六條 農村負債整理組合法第四條ノ請求ハ債務者タル組合員又ハ債権者ノ申出ニ因リ負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人同法第三條ノ斡旋ノ經過ヲ具シ之ニ關スル一切ノ書類ヲ添附シテ組合又ハ法人ノ事務所ノ所在地タル市町村ノ市町村負債整理委員會ニ之ヲ爲スベシ

第六條ノ二 農村負債整理組合法第七條第二項ノ規定ニ依リ負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ノ土地取得ニ關シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ザルハ負債償還ノ爲負債整理組合ノ組合員又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ノ組織者ノ共同耕作等ノ作業ニ依リ收益ヲ舉グル目的ヲ以テ土地ヲ取得スル場合ニ限ル

第七條 信用組合其ノ他勅令ヲ以テ定ムル法人ガ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ同法第十一條ノ負債整理事業ノ認可ヲ申請セントスルトキハ認可申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シテ地方長官ニ之ヲ爲スベシ

一 理由書

二 總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本

三 負債整理事業計畫要領書

四 定款又ハ規約

五 財産目錄

六 貸借對照表又ハ收支決算書

七 事業報告書

第八條 負債整理事業ヲ行フ法人前條第三號ノ負債整理事業計畫要領書ニ基キ負債整理事業計畫ヲ作成シ又ハ之ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第九條 前條ノ規定ハ負債整理事業ヲ行フ法人農村負債整理組合法第十一條ノ事業ノ一部ヲ休止シ又ハ廢止セントスル場合ニ之ヲ準用ス

第十條 負債整理組合ハ其ノ組合員タル小作人其ノ他ノ者ガ自作田畑又ハ自家用宅地トシテ土地ヲ購入スル場合ニシテ且特ニ左ニ掲グル事項ニ付自作農創設維持補助助成規則ニ依リ助成スル自作農創設ノ趣旨ニ適合スル場合ニ限リ農村負債整理組合法第十一條第二項ノ規定ニ依リ之ニ要スル資金ノ貸付ヲ爲スコトヲ得

一 資金借受人ノ資格

二 購入土地ノ單價及總價額ノ制限

三 自作ヲ繼續スベキ年限

四 讓渡又ハ抵當權設定ノ制限

五 資金借受人ガ第一號乃至第四號ノ事項ニ違反シタル場合ノ處置

前項第二號ノ土地ノ單價ニ關スル標準價格ハ小作料金額ヨリ公租公課ノ金額ヲ控除シタル殘額ヲ年賦率ヲ以テ除シタル金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十一條 負債整理組合ノ設立認可申請書ニハ規約及負債整理事業計畫要領書ヲ添附スベシ

第十二條 保證責任ノ負債整理組合ノ出資一口ノ金額ハ五十圓ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ保證責任ノ負債整理組合ノ出資一口ノ金額ハ十圓ヲ下ルコトヲ得ズ

第十三條 保證責任ノ負債整理組合ノ組合員ノ保證金額ハ其ノ出資額ノ五倍ニ相當スル金額ヲ下ルコトヲ得ズ

第十四條 保證責任ノ負債整理組合ノ第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ズ

第十五條 負債整理組合ノ理事及監事ハ規約ヲ以テ定ムルニ非ザレバ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ズ

第十六條 負債整理組合ノ毎年ノ剩餘金ハ之ヲ積立ツベシ



前項ノ積立金ハ損失ヲ填補スル場合ノ外之ヲ處分スルコトヲ得ズ

第十七條 負債整理組合ノ負債償還ヲ目的トスル積立金ノ管理ハ左ノ方法ニ依ルベシ

一 有價證券ノ供託

二 郵便貯金法ニ依ル貯金又ハ有價證券ノ保管

三 産業組合中央金庫又ハ其ノ負債整理組合ガ負債整理資金ノ特別融通ヲ受ケタル信用組合ヘノ貯金

第十八條 前條ノ有價證券ノ種類ハ左ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 國債證券

二 産業債券、勸業債券、農工債券又ハ北海道拓殖債券

第十九條 負債整理組合ノ負債償還ヲ目的トスル積立金ノ處分ハ地方長官ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

前項ノ認可申請書ニハ理由書、財産目録及貸借對照表ヲ添附スベシ

第二十條 負債整理組合ノ理事ハ總會ノ承認ヲ經タル後遲滞ナク農村負債整理組合法第二十四條ノ規定ニ依リ準用セラルル産業組合法第三十條第一項ニ掲グル書類ヲ地方長官ニ差出スベシ

第二十一條 負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 組合員數竝ニ出資口數ノ異動

二 出資拂込ノ總額竝ニ各種積立金ノ金額

三 借入又ハ償還シタル金額及借入金ノ利率

四 貸付ヲ爲シ又ハ償還ヲ受ケタル負債整理資金ノ件數及金額竝ニ貸付金ノ利率

五 損益計算

六 總會又ハ總代會ノ決議

第二十二條 負債整理組合ハ毎年總會ニ於テ其ノ年ニ於ケル借入金ノ最高限度ヲ議決スベシ

負債整理組合ハ總會ニ於テ一組合員ニ對シテ爲ス貸付金額ノ最高限度ヲ議決スベシ

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ遲滞ナク地方長官ニ報告スベシ

第二十三條 負債整理組合ノ組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脫退ス

一 組合員タル資格ノ喪失

二 死亡

三 破産

四 禁治産

五 除名

第二十四條 除名ノ事由ハ規約ヲ以テ之ヲ定ム

除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非ザレバ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ズ

産業組合法第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第二十五條 負債整理組合ノ理事及監事ノ變更アリタルトキハ遲滞ナク其ノ氏名及住所竝ニ變更ノ事由及年月日ヲ地方長官ニ届出ツベシ

第二十六條 負債整理組合ノ規約變更ノ認可申請書ニハ理由書及總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ

第二十七條 負債整理組合ノ組織變更ノ認可申請書ニハ前條ニ掲グル書類ノ外總會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第二十八條 第八條ノ規定ハ負債整理組合ガ第十一條ノ負債整理事業計畫要領書ニ基キ負債整理事業計畫ヲ作成シ、之ニ重大ナル變更ヲ加ヘ又ハ其ノ事業ノ一部ヲ休止セントスル場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 負債整理組合ノ總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議録ノ謄本、財産目録及貸借對照表ヲ



添附スベシ

第三十條 地方長官農村負債整理組合法第二十四條ノ規定ニ依リ準用セラルル産業組合法第六十條第一項又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第三十一條 負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ガ農村負債整理組合法、同法ニ基ク命令又ハ本則ニ依リ主務大臣、地方長官其ノ他ノ官廳ニ對シテ爲ス申請、届出又ハ報告ハ組合又ハ法人ノ事務所所在地ノ市町村長ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ

第三十二條 本則中町村又ハ町村長トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ之ニ準ズベキモノトス

附 則

本令ハ農村負債整理組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和八年八月一日ヨリ施行）

附 則

（昭和十二年十一月農林、大藏、内務省令第二號）

本令ハ農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和十二年十二月一日ヨリ施行）

## 農村負債整理資金特別融通及損失補償法

昭和十二年八月十四日法律第七十七號

第一條 市町村又ハ産業組合中央金庫ハ負債整理事業ヲ助成スル爲必要アリト認ムルトキハ負債整理組合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ニ對シ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得

産業組合中央金庫ノ爲ス前項ノ特別融通ハ所屬信用組合ガ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ場合又ハ所屬信用組合ガ其ノ組合員タル負債整理組合若シテ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ニ對シ負債整理資金ヲ融通スル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ信用組合ニ對シテ之ヲ爲スモノトス

日本勸業銀行、農行銀行又ハ北海道拓殖銀行（以下融資銀行ト稱ス）ハ負債整理組合ノ組合員、農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ組織者又ハ命令ノ定ムル所ニ依リ負債ノ整理ヲ爲ス者ニ對シ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得

第二條 市町村、産業組合中央金庫又ハ融資銀行ガ前條ノ規定ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ日ヨリ十年間トシ其ノ融通ノ期限ハ本法施行ノ日ヨリ二十五年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 融資銀行ガ第一條ノ規定ニ依リ特別融通ヲ爲ス場合ニ於ケル貸付金額ハ日本勸業銀行法第十八條又ハ農工銀行法第十條ノ規定ニ拘ラズ其ノ擔保タル不動産ニ付鑑定シタル價格以內トス

第四條 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法第三條及第四條ノ規定ハ産業組合中央金庫ガ第一條ノ規定ニ依リ特別融通ヲ爲ス場合ニ、不動産融資及損失補償法第四條及第五條ノ規定ハ融資銀行ガ第一條ノ規定ニ依リ特別融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五條 北海道府縣ハ第一條ノ規定ニ依リ特別融通ヲ爲スニ因リ市町村ガ損失ヲ受ケタルトキ之ニ對シ其ノ特別融通總額ノ十



分三以内ノ金額(市町村ニ對スル損失補償金)ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得  
政府ハ前項ノ損失補償ノ契約ニ基キ北海道府縣ガ損失補償ヲ爲シタルトキ之ニ對シ其ノ市町村ニ對スル損失補償金ノ三分ノ  
二ニ相當スル金額ヲ補給スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ北海道府縣ガ市町村ニ對シテ爲ス損失補償ノ契約ニ於テハ北海道府縣ノ市町村ニ對スル損失補償金中其  
ノ六分ノ一ニ相當スル金額ヲ當該市町村ニ於テ負擔スベキ旨ヲ定ムベシ但シ特別ノ事由アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ市  
町村ノ負擔スベキ金額ノ割合ニ付別段ノ定ヲ爲シ又ハ市町村ヲシテ負擔ヲ爲サシメザルコトヲ得

第六條 政府ハ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲スニ因リ産業組合中央金庫又ハ融資銀行ガ損失ヲ受ケタルトキハ産業組合中  
央金庫ニ對シテハ其ノ特別融通總額ノ十分ノ三以内、融資銀行ニ對シテハ其ノ特別融通總額ノ十分ノ二以内ノ金額ヲ補償ス  
ルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第七條 第五條第一項及前條ノ損失ヲ決定スル基準ハ主務大臣大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

第八條 第五條第二項及第六條ノ規定ニ依ル政府ノ補給金及補償金ノ總額ハ一億二千萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

第九條 第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲シタルニ因リ市町村、産業組合中央金庫又ハ融資銀行ノ受ケタル損失及其ノ額ハ負  
債整理資金特別融通損失審査會之ヲ決定ス

負債整理資金特別融通損失審査會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 第五條第二項及第六條ノ契約ニ基キ政府ガ北海道府縣、産業組合中央金庫及融資銀行ニ對シ支拂フベキ補給金又ハ補  
償金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第十一條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第十二條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第十三條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ之ニ準ズベキモノトス

附 則

第十四條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和十二年十一月勅令第六百七拾七號ヲ以テ今年十二月一日ヨリ施行)

第十五條 農村負債整理組合法第三章ヲ削ル

從前ノ農村負債整理組合法第二十六條ノ規定ニ依ル特別融通ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル但シ同法第三十一條第一項ノ規定  
ニ依ル決定ハ本法第九條ノ負債整理資金特別融通損失審査會之ヲ行フ

第十六條 農村負債整理組合法第七條ニ左ノ一項ヲ加フ

負債整理組合ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業遂行ノ爲必要ナル土地ヲ取得スル場合亦前項ニ同ジ

同法第八條第二項及同法第十六條中「六年間」ヲ「十三年間」ニ改ム

第十七條 登録稅法第十九條但書中「第十四號乃至第十六號」ヲ「第十四號乃至第十七號」ニ改メ同條第十五號及第十六號ヲ左ノ  
如ク改ム

十五 市町村、産業組合中央金庫、信用組合、日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、負債整理組合又ハ農村負債整理  
組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ負債整理ノ爲メノ資金貸付ノ場合ニ於ケル抵當權ノ取得ノ登記

十六 市町村、産業組合中央金庫、信用組合、負債整理組合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行  
フ法人ヨリ負債整理ノ爲メノ資金ノ貸付ヲ受ケタル者ガ其ノ貸付ノ條件ヲ具備セザルニ至リタル場合ニ於ケル市町村、  
産業組合中央金庫、信用組合、負債整理組合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ  
所有權ノ取得ノ登記

十七 負債整理組合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ同法第七條第二項ニ規定スル場  
合ニ於ケル土地所有權ノ取得ノ登記



# 農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則

昭和十二年十一月三十日 農林省令第一號  
内務

昭和十三年六月 省令第二號改正

第一條 市町村又ハ産業組合中央金庫ハ負債整理組合ガ負債整理ヲ爲ス組合員ノ負債償還計畫及經濟更生計畫樹立セラレ且負債ノ條件ノ緩和ニ關スル協定成リタル場合ニ於テ農村負債整理組合法第二條ニ規定スル負債ノ償還資金又ハ同法第十一條第二項ニ規定スル土地購入ニ必要ナル資金ヲ組合員ニ對シ貸付スル爲メ資金ニ充ツル爲メ農村負債整理資金特別融通及損失補償法第一條第一項ノ規定ニ依ル特別融通ト稱スヲ爲スコトヲ得

第二條 日本勸業銀行、農工銀行又ハ北海道拓殖銀行(以下融資銀行ト稱ス)ハ負債整理組合ノ組合員又ハ農山漁村ニ居住シ地方長官ノ承認ヲ受ケ隣保共助ノ精神ニ則リ負債ノ整理ヲ爲ス者ノ負債償還計畫及經濟更生計畫樹立セラレ且負債ノ條件ノ緩和ニ關スル協定成リタル場合ニ於テ其ノ者ニ對シ不動産ヲ擔保トスル私法上ノ金錢債務ノ償還資金ニ充ツル爲メ農村負債整理資金特別融通及損失補償法第一條第三項ノ規定ニ依ル特別融通(以下單ニ特別融通ト稱ス)ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ債務ハ農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行前ニ生ジタルモノニ限ル

第三條 産業組合中央金庫ガ信用組合ニ對シ特別融通ヲ爲ス場合ニ於テハ特別融通ノ契約中ニ信用組合ガ其ノ組合員タル負債整理組合ニ對シ負債整理資金ノ融通ヲ爲スニ因リ過失ナクシテ損失ヲ受ケタルトキハ當該信用組合ノ負債整理組合ニ對スル負債整理資金融通總額ノ十分ノ三ヲ限度トシテ之ヲ補償スベキ旨ノ規定ヲ爲スベシ

第四條 市町村又ハ産業組合中央金庫ガ特別融通ヲ爲ス場合ニ於テハ負債整理組合ヲシテ特別融通ニ因ル資金ヲ以テ一組合員

ニ對シテ爲ス負債償還資金貸付額ノ最高限度ヲ定メシムベシ

前項ノ負債償還資金貸付額ノ最高限度ハ一組合員ニ付三千圓(特別ノ事由ニ因リ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合ハ五千圓)ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ負債整理ノ爲メ其ノ所有地ヲ處分スル組合員ニ對スル負債償還資金貸付額ノ最高限度ハ特別融通ニ因ル資金ヲ以テ其ノ土地ヲ購入スル組合員ニ對シテ爲ス土地購入資金貸付額ヲ三千圓(特別ノ事由ニ因リ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合ハ五千圓)ヨリ控除シタル金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

信用組合ガ其ノ組合員タル負債整理組合ニ對シ負債整理資金ヲ融通スル場合亦前二項ニ同ジ

第五條 負債整理組合ノ組合員ニ對シ特別融通ニ因ル資金ヲ以テ爲ス負債償還資金貸付額ハ負債整理組合ヨリノ貸付額(負債整理ノ爲メ其ノ所有地ヲ處分スル組合員ニ在リテハ前條第二項但書ノ土地購入資金貸付額ヲ含ム)ト融資銀行ヨリノ貸付額トヲ合シテ五千圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

第六條 市町村、産業組合中央金庫又ハ融資銀行ハ現ニ農村負債整理組合法第十一條ノ事業ノ一部ヲ休止シ又ハ其ノ全部若ハ一部ノ休止ニ準ズル狀況ニ在ル負債整理組合又ハ其ノ組合員ニ對シテハ特別融通ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條 市町村又ハ産業組合中央金庫ハ負債整理組合ノ負債整理資金ニ餘裕アリト認ムル場合ニ於テハ特別融通ノ契約ニ因ル貸付金ノ交付ヲ爲スコトヲ得ズ

第八條 市町村、産業組合中央金庫及融資銀行ノ特別融通ハ農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行ノ日ヨリ二十五年以内ニ於テ其ノ償還期限ヲ定メ割賦償還貸付ノ方法ニ依ルベシ此ノ場合ニ於テハ三年以内ノ据置期間ヲ定ムルコトヲ得

負債整理組合又ハ負債償還資金ノ貸付ヲ受ケタル者ハ期限内ト雖モ特別融通ノ債務ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ爲スコトヲ得

第九條 市町村又ハ産業組合中央金庫ガ負債整理組合ニ對シ特別融通ヲ爲ス場合ニ於テハ擔保トシテ負債整理組合ガ組合員ニ對シテ有スル貸付債權ヲ徵スベシ



産業組合中央金庫ハ組合員タル負債整理組合ニ對シ負債整理資金ヲ融通セントスル信用組合ニ對シ特別融通ヲ爲ス場合ニ於テハ特別融通ノ契約中ニ信用組合ヲシテ擔保トシテ負債整理組合ガ組合員ニ對シテ有スル貸付債權ヲ徵シ其ノ擔保權ノ執行及之ニ依リテ得タルモノノ處分ニ關シテハ産業組合中央金庫ノ指圖ニ從ハシムベキ旨ノ規定ヲ爲スベシ  
融資銀行ハ特別融通ヲ爲ス場合ニ於テハ擔保トシテ特別融通ニ因ル資金ヲ以テ整理セラルベキ債務ノ擔保タル不動産ヲ徵スベシ

第十條 市町村又ハ産業組合中央金庫ハ特別融通ヲ爲ス場合ニ於テ負債整理組合ノ役員ノ個人ノ資格ヲ以テスル保證ヲ徵スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ地方長官ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
信用組合ガ其ノ組合員タル負債整理組合ニ對シ負債整理資金ヲ融通スル場合亦前項ニ同ジ

第十一條 市町村又ハ産業組合中央金庫ハ必要アル場合ニ於テハ擔保設定又ハ之ニ伴フ登記其ノ他ノ對抗要件完備前ト雖モ負債整理組合ノ役員ノ個人ノ資格ヲ以テスル連帶保證ヲ徵シ特別融通ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テハ速ニ擔保ヲ設定シ又ハ登記其ノ他ノ對抗要件ヲ完備スベク其ノ完備後ハ市町村又ハ産業組合中央金庫ハ連帶保證ヲ免除スベシ

信用組合ガ其ノ組合員タル負債整理組合ニ對シ負債整理資金ヲ融通スル場合亦前二項ニ同ジ

第十二條 市町村、産業組合中央金庫又ハ融資銀行ガ特別融通ヲ爲ス場合ニ於ケル貸付條件ニ付テハ本則ニ別段ノ定アルモノ及本則ニ基キ主務大臣ノ定ムルモノヲ除クノ外市町村ニ在リテハ地方長官、産業組合中央金庫及融資銀行ニ在リテハ農林大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十三條 市町村、産業組合中央金庫又ハ信用組合ハ負債整理組合ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ期限前ト雖モ特別融通ニ因ル債務ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ爲サシムベシ  
一 役員其ノ他特殊ノ關係者ニ對シ不當ノ利益ヲ得セシムル等其ノ資金ノ利用公正ナラズト認めラルルトキ

二 負債整理資金ニ餘裕ヲ生ジタリト認めラルルトキ

三 組合員ヨリ特別融通ニ因ル資金ヲ以テスル貸付金ノ償還ヲ受ケタルトキ

融資銀行ハ負債償還資金ノ貸付ヲ受ケタル者ガ其ノ資金ヲ第二條ノ目的外ニ使用シタルトキハ期限前ト雖モ特別融通ニ因ル債務ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ爲サシムベシ

第一項第一號及前項ノ規定ニ依リ市町村、産業組合中央金庫、信用組合又ハ融資銀行ガ債務ノ償還ヲ爲サシメントスル場合ニ於テハ市町村及信用組合ニ在リテハ地方長官、産業組合中央金庫及融資銀行ニ在リテハ農林大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十四條 市町村、産業組合中央金庫、信用組合又ハ融資銀行ハ負債整理組合又ハ負債償還資金ノ貸付ヲ受ケタル者ガ特別融通ニ因ル債務ノ償還ヲ怠リタル場合ニ於テハ百圓ニ付日歩二錢以内ノ割合ヲ以テ遅延利息ヲ徵スルコトヲ得

第十五條 市町村、産業組合中央金庫、信用組合又ハ融資銀行ハ特別融通ニ付調査費ヲ徵スルコトヲ得ズ但シ特ニ多額ノ調査費用ヲ要スル場合ニ於テ其ノ實費ヲ徵スルハ此ノ限ニ在ラズ

市町村、産業組合中央金庫、信用組合又ハ融資銀行ハ負債整理組合又ハ負債償還資金ノ貸付ヲ受ケタル者ガ償還期限前ニ特別融通ニ因ル債務ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ爲ス場合ニ於テ償還手数料ヲ徵スルコトヲ得ズ

第十六條 北海道府縣農村負債整理資金特別融通及損失補償法第五條ノ損失補償ノ契約ニ於テ同條第三項但書ノ規定ニ依リ損失補償金中市町村ノ負擔スベキ金額ノ割合ニ付別段ノ定ヲ爲シ又ハ市町村ヲシテ負擔ヲ爲サシメザラントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十七條 農村負債整理資金特別融通及損失補償法第五條ノ規定ニ依リ北海道府縣ガ損失補償ノ契約ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其ノ契約書ニ北海道會又ハ府縣會及市町村會ノ議決書ノ謄本竝ニ市町村ノ負債整理資金特別融通計畫書ヲ添附シテ主務大臣ニ報告スベシ



農村負債整理資金特別融通及損失補償法第五條ノ損失補償ノ契約ヲ變更シタルトキ亦前項ニ同ジ

第十八條 市町村ハ特別融通ヲ爲シタル負債整理組合ニ對シ主務大臣府縣知事(北海道廳長官ヲ含ム以下同ジ)又ハ市町村長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ其ノ資産負債及事業ノ狀況ヲ調査シ又ハ必要ナル報告ヲ爲サシムルコトヲ得ル旨ノ契約ヲ締結スベシ

産業組合中央金庫ハ特別融通ヲ爲シタル信用組合(農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フモノヲ含ム)ニ對シ農林大臣、大藏大臣、地方長官又ハ産業組合中央金庫ニ於テ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ其ノ資産負債及事業ノ狀況ヲ調査シ又ハ必要ナル報告ヲ爲サシムルコトヲ得ル旨ノ契約ヲ締結スベシ

信用組合ハ負債整理資金ヲ融通シタル負債整理組合ニ對シ農林大臣、大藏大臣、地方長官、産業組合中央金庫又ハ信用組合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ其ノ資産負債及事業ノ狀況ヲ調査シ又ハ必要ナル報告ヲ爲サシムルコトヲ得ル旨ノ契約ヲ締結スベシ

融資銀行ハ負債整理資金ノ貸付ヲ受ケタル者ニ對シ農林大臣、大藏大臣、地方長官又ハ融資銀行ニ於テ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ其ノ資産負債及負債整理ノ狀況ヲ調査シ又ハ必要ナル報告ヲ爲サシムルコトヲ得ル旨ノ契約ヲ締結スベシ

第十九條 前條ノ規定ニ依リ調査ヲ爲シ又ハ報告ヲ爲サシメタル者ハ其ノ結果ヲ市町村長又ハ信用組合ニ在リテハ府縣知事ニ地方長官、産業組合中央金庫又ハ融資銀行ニ在リテハ農林大臣及大藏大臣ニ、府縣知事ニ在リテハ主務大臣ニ報告スベシ

第二十條 市町村ハ毎年五月三十一日迄ニ前年度ノ特別融通ノ狀況ニ關スル報告書(附錄様式)ヲ府縣知事及主務大臣ニ提出スベシ

第二十一條 市町村、産業組合中央金庫及融資銀行ハ本則ノ規定ニ依ルモノノ外市町村ニ在リテハ主務大臣産業組合中央金庫及融資銀行ニ在リテハ農林大臣及大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ爲スベシ

第二十二條 市町村ガ本則ニ依リ主務大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ

第二十三條 負債整理組合又ハ負債整理資金ノ貸付ヲ受ケントスル者ガ借入申込書ヲ提出セントスルトキハ産業組合中央金庫ニ提出スルモノニ在リテハ當該負債整理組合ノ事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ、融資銀行ニ提出スルモノニ在リテハ市町村長及地方長官ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ

第二十四條 市町村ハ特別融通ニ關シ特別會計ヲ設クベシ

産業組合中央金庫、信用組合及融資銀行ハ特別融通ニ關シ別ニ帳簿ヲ設ケ經理ヲ爲スベシ

第二十五條 本則ノ適用ニ關シテハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ハ之ヲ負債整理組合ト看做ス

第二十六條 本則中町村又ハ町村長トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ之ニ準ズベキモノトス

第二十七條 農村負債整理資金特別融通及損失補償ニ關シテハ本則ニ依ルモノノ外市町村ニ在リテハ主務大臣、産業組合中央金庫及融資銀行ニ在リテハ農林大臣及大藏大臣之ヲ定ム

附 則

第二十八條 本則中主務大臣トアルハ農林大臣、大藏大臣及内務大臣トス

(附錄式)

本令ハ農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス (昭和十二年十二月一日ヨリ施行)

負債整理事業資金特別融通及損失補償ニ關スル規程ハ之ヲ廢止ス

負債整理事業資金特別融通及損失補償ニ關スル規程ニ依リ融通セラレタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル但シ同規程第十六條ニ代ヘ本則第二十條ノ規定ヲ適用ス

(附錄式)

(1) 昭和 年度ノ市町村負債整理資金特別會計借入金狀況 (昭和 年度末現在)



種類	前年度未現在	本年度借入	本年度償還	本年度未現在
町起債ノ 市依ル自己 資金ニ依ルモノ				
計				
備考				

(注意) 備考欄 = ハ市町村ガ借入申込ヲ爲シタルモ未ダ貸付ヲ受ケザル金額 = 付記載スルコト

(2) 昭和 年度未迄ノ貸付總額

貸付先	貸付額	擔保別内			貸付年月日	償還方法及期限	備考
		保證付債權	不動産抵當付	各種擔保債權			
合計							

- (注意) (一) 本表ハ貸付一口毎ニ記載シ貸付先毎ニ小計ヲ記載スルコト  
 (二) 各種擔保付債權トハ一口ノ債權ニ付保證不動産抵當動産質等二種以上ノ擔保アルモノヲ謂フ  
 (三) 備考欄 = ハ(1)役員ノ個人保證アル場合 = ハ其ノ旨及事由並ニ(2)各負債整理組合毎ニ信用組合ヨリ借入レタル負債整理資金ノ額 = 付記載スルコト

(3) 昭和 年度内ノ貸付並償還状況

區分	前年度未現在	本年度貸付	本年度回收	本年度未現在
貸付先別				
合計				

(4) 昭和 年度ノ延滞状況

區分	本年度未現在		前年度未現在		本年度中未現在延滞内ノ元金利息計		前年度中未現在延滞内ノ元金利息計		本年度未現在延滞内ノ元金利息計	
	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息	元金	利息
貸付先別										
合計										



# 市町村負債整理委員會令

昭和八年七月二十九日(勅令第二百五號)  
(沿革)昭和十二年十一月勅令第六七八號改正

四〇

- 第一條 市町村負債整理委員會ハ地方長官ノ監督ニ屬シ農村負債整理組合法第四條ノ規定ニ依ル負債整理組合ノ請求ニ基キ其ノ組合員及債權者間ニ於ケル負債ノ金額、利率、償還期限、償還方法其ノ他ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ斡旋ヲ爲ス
- 市町村負債整理委員會ハ其ノ市町村内ニ居住シ農村負債整理資金特別融通及損失補償法第一條第三項ノ特別融通ヲ受ケ負債ノ整理ヲ爲ス者ノ請求ニ基キ負債ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ斡旋ヲ爲ス
- 市町村負債整理委員會ハ前二項ノ事項ノ外負債整理ニ關シ地方長官ノ命ズル事務ヲ處理ス
- 第二條 市町村負債整理委員會ノ設置及廢止ハ地方長官市町村長ノ意見ヲ徵シ之ヲ定ム
- 第三條 市町村負債整理委員會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 委員ノ定數ハ地方長官市町村長ノ意見ヲ徵シ之ヲ定ム
- 第四條 會長ハ市町村長ヲ以テ之ニ充ツ
- 第五條 委員ハ地方長官之ヲ選任シ又ハ解任ス
- 委員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アルトキハ任期中ト雖モ之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ
- 第六條 會長ハ會務ヲ總理ス
- 會長事故アルトキハ市町村長ニ代リ其ノ職務ヲ行フ者會長ノ職務ヲ代理ス
- 第七條 市町村負債整理委員會ノ爲ス斡旋ハ其ノ定ムル所ニ依リ各事件ニ付委員中ヨリ會長ノ指定スル斡旋委員ヲシテ之ヲ擔任セシム

- 第八條 市町村負債整理委員會斡旋ノ請求ヲ受理シタルトキハ會長ハ遲滯ナク斡旋委員ヲ指定シ請求ノ要旨及斡旋委員ノ氏名ヲ當事者ニ通知スルコトヲ要ス斡旋委員ノ變更アリタルトキ亦同ジ
- 第九條 斡旋委員必要アリト認ムルトキハ期日及場所ヲ定メ當事者及負債整理組合ノ代表者ヲ呼出スコトヲ得
- 斡旋委員ハ斡旋ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル者ノ參加ヲ求ムルコトヲ得
- 第十條 當事者、負債整理組合ノ代表者及利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ己ムヲ得ザル事由アルトキハ斡旋委員ノ許可ヲ受ケ代理人ヲシテ出頭セシメ又ハ輔佐人ヲ同伴スルコトヲ得
- 斡旋委員ハ何時ニテモ前項ノ許可ヲ取消スコトヲ得
- 第十一條 斡旋ノ手續ハ之ヲ公開セズ
- 第十二條 斡旋委員ハ斡旋ノ爲必要ト認ムル措置ヲ爲スコトヲ得
- 第十三條 斡旋委員ハ當事者、負債整理組合ノ代表者及利害關係人ノ意見ヲ聽キ適當ト認ムル者ヲシテ斡旋ノ補助ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第十四條 斡旋ニ付テハ斡旋委員其ノ調書ヲ作り之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス
- 第十五條 斡旋委員斡旋ヲ終了セントスルトキハ前條ノ調書ヲ具シ會長ニ其ノ旨ヲ報告シ其ノ指揮ヲ受クルコトヲ要ス
- 第十六條 斡旋終了シタルトキハ會長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ當事者、負債整理組合及利害關係人ニ通知スルコトヲ要ス
- 第十七條 會長、委員若ハ第十三條ノ補助者又ハ會長、委員若ハ第十三條ノ補助者タリシ者ハ斡旋ニ關シ知り得タル事項ニ付祕密ヲ守ルコトヲ要ス
- 第十八條 市町村長ハ斡旋委員及第十三條ノ補助者ニ對シ地方長官ノ定ムル所ニ依リ特別ノ必要アル場合ニ限り旅費、日當及止宿料ヲ給スルコトヲ得
- 第十九條 市町村負債整理委員會ニ關スル費用ハ市町村ノ負擔トス



第二十條 斡旋ニ關シ當事者ノ申出ニ因リ特別ノ行爲ヲ爲シタル爲要シタル費用ニ付市町村長ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ其ノ實費ヲ徴スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ費用ヲ豫納セシムルコトヲ得

第二十一條 前條第一項ノ規定ニ依リ徵收シタル費用ハ市町村ノ收入トス

第二十二條 地方長官市町村負債整理委員會ヲ設置シ又ハ廢止シタルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ農林大臣ニ報告スルコトヲ要ス

第二十三條 市町村負債整理委員會ハ裁判所ノ請求アルトキハ斡旋ニ關スル記録ヲ送付スルコトヲ要ス

第二十四條 本令ノ適用ニ關シテハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ハ之ヲ負債整理組合ト看做ス

第二十五條 本令中町村又ハ町村長トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ之ニ準ズベキモノトス

附 則

本令ハ農村負債整理組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和八年八月一日ヨリ施行)

附 則 (昭和十二年十一月勅令第六七八號)

本令ハ農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和十二年十二月一日ヨリ施行)

### 金錢債務臨時調停法

昭和七年九月七日法律第二十六號  
(沿革)昭和九年四月法律第四十一號改正

第一條 負債ノ整理ニ依リ誠實ナル債務者ヲ更生セシムル爲債權者債務者ノ互讓ヲ必要トスルトキハ當事者ハ本法ニ依リ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二條 調停ノ申立ハ私法上ノ金錢債務ニシテ金額千圓ヲ超過セザルモノニ付之ヲ爲スコトヲ得但シ小作料其ノ他小作關係ヨリ生ジタルモノ及地代、家賃其ノ他借地借家關係ヨリ生ジタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ金額ニハ附帶ノ利息、違約金、費用又ハ手動料ノ額ヲ算入セズ既ニ元本ニ組入レタル此等ノモノニ付又同ジ  
第一項ノ金額ヲ超過スル債務ニ付調停ノ申立アリタル場合ト雖モ裁判所調停ヲ爲スヲ相當ト認メ且相手方ニ異議ナキトキハ調停ヲ爲スコトヲ得相手方期日ニ出頭シテ事件ノ内容ニ付陳述ヲ始メタルトキハ異議ナキモノト看做ス

第三條 調停ノ申立ハ相手方ノ住所、居所、營業所若ハ事務所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ當事者ノ合意ニ依リテ定ムル區裁判所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

調停ノ申立ヲ受ケタル裁判所相當ト認ムルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ他ノ區裁判所ニ移送スルコトヲ得管轄權ナキ裁判所ガ謂停ノ申立ヲ受ケタルトキ亦同ジ

前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第四條 本法ノ調停ニ關シテハ借地借家調停法第二條、第四條ノ二、第六條乃至第二十三條及第二十六條乃至第三十二條ノ規定ヲ準用ス

第五條 事件ガ性質上調停ヲ爲スニ適セズ又ハ當事者不當ノ目的ヲ以テ濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタリト認ムルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ調停ノ申立ヲ却下ス、第七條第二項ニ該當スルトキ其ノ他調停ヲ爲スニ適當ナラザル事情存スルトキ亦同ジ



調停委員會前項ノ事由アリト認ムルトキハ調停ヲ爲サズ

第六條 調停ノ由立ヲ受理シタル事件ニ付訴訟ガ繫屬スルトキ又ハ裁判所ノ職權ヲ以テ事件ガ調停ニ付セラレタルトキハ受訴裁判所ハ決定ヲ以テ調停ノ終了又ハ第七條ノ規定ニ依ル裁判確定ニ至ル迄訴訟手續ヲ中止スルコトヲ得

調停事件ノ繫屬スル裁判所ハ申立ニ因リ決定ヲ以テ擔保ヲ供シ又ハ供セシメズシテ強制執行手續又ハ競賣法ニ依ル競賣手續ヲ一時停止スルコトヲ得

民事訴訟法第十一條、第十三條、第十五條及第十六條ノ規定ハ前項ノ擔保ニ之ヲ準用ス

第一項及第二項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第七條 調停委員會ニ於テ調停成ラザル場合ニ裁判所相當ト認ムルトキハ職權ヲ以テ調停委員ノ意見ヲ聽キ當事者雙方ノ利益ヲ衡平ニ考慮シ其ノ資力、業務ノ性質、既ニ債務者ノ支拂ヒタル利息手數料内入金等ノ額其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌シテ調停ニ代ヘ利息、期限、其ノ他債務關係ノ變更ヲ命ズル裁判ヲ爲スコトヲ得此ノ裁判ニ於テハ債務ノ履行其ノ他財産上ノ給付ヲ命ズルコトヲ得銀行其ノ他官廳ノ監督ヲ受ケテ金融業務ヲ取扱フ者ノ債權ニ付テハ其ノ業務ノ機構ヲ害スル虞アルトキハ前項ノ裁判ヲ爲スコトヲ得ズ

第八條 前條ノ規定ニ依ル裁判ハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ニ於テ非訴事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

第九條 第七條ノ規定ニ依ル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ之ヲ二週間トス

前項ノ即時抗告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス

第十條 第七條ノ規定ニ依ル裁判確定シタルトキハ其ノ裁判ハ裁判上ノ和解ト同一ノ効力ヲ有ス

第十一條 調停委員又ハ調停委員タリシ者故ナク評議ノ頭末又ハ調停主任、調停委員ノ意見若ハ其ノ多少ノ數ヲ漏泄シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和七年九月勅令第二四九號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行ス)

本法ハ當分ノ内其ノ効力ヲ有ス

本法失効ノ際ニ於テ必要ナル經過規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

農 林 省 訓 令 (第八號)

農村負債整理ニ關スル件

農山漁村居住者ノ産業及經濟ニ重壓ヲ加ヘツツアル負債ノ整理ハ農山漁村經濟更生上最緊要事ナルハ言ヲ俟タザル所ニシテ政府ハ曩ニ農村負債整理組合法ヲ制定シ之ガ實施ニ關シ指導督勵ニ努メ來レルガ今ヤ國力ヲ充實シ國民生活ノ安定ヲ圖ルノ要愈々切ナルモノアルニ鑑ミ更ニ農村負債整理資金特別融通及損失補償法並ニ其ノ關係命令ヲ制定シ一層農村負債整理事業ノ進展ヲ圖ラントス貴官ニ於テハ克ク之ガ趣旨ヲ體シ之ヲ貴管下各方面ニ徹底セシムルト共ニ負債整理事業ノ遂行ニ關スル指導督勵ニ當リテハ各種關係法令及左ノ農村負債整理事務取扱方ニ則リ以テ所期ノ目的ヲ完全ニ達成スルコトヲ期セララルベシ  
昭和八年九月農林省訓令第三號農村負債整理組合法施行事務取扱方ハ之ヲ廢止ス

昭和十二年十二月一日

農林大臣 伯爵 有 馬 賴 寧

農村負債整理事務取扱方

第一章 通 則

第一條 負債整理ハ誠實勤勉ニシテ自奮更生ノ熱意ヲ有シ經濟更生計畫及負債償還計畫ヲ樹立スルコトヲ得ル見込アル者ニ限リ之ヲ爲サシムベシ

第二條 負債整理ハ成ルベク一體トシテ之ヲ爲サシムベシ

第三條 負債整理ハ債務者ノ經濟更生ヲ目的トスベキモノナルヲ以テ之ニ必要ナル限度ニ於テ其ノ者ノ負債ノ條件緩和ヲ伴ハシムベシ但シ其ノ限度ヲ超エテ不當ニ債權者ノ利益ヲ害スルコトナカラシムルコトヲ要ス



五千圓以上ノ負債償還資金ノ貸付ヲ受クルニ非ザレバ負債ノ條件ヲ緩和シ負債整理ノ目的ヲ達成スルコト能ハザル場合ニ於テハ之ヲ本取扱方ニ依ル負債整理ヨリ除外セシムベシ

第四條 負債整理ハ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ヲ害スル虞アル場合ニ於テハ之ヲ爲サシムベカラズ  
銀行其ノ他官廳ノ監督ヲ受ケテ金融業務ヲ取扱フ者ニ對スル負債ノ整理ニ付テハ其ノ業務ノ機構ヲ害スル虞アル整理ノ方法ハ之ヲ避ケシムベシ

第五條 經濟更生計畫ハ進取且堅實ヲ旨トシ左ノ各號ニ依リ之ヲ樹立セシムベシ

- 一 業務ノ改良發達ヲ企圖シ殊ニ副業、兼業等ニ意ヲ用ヒ土地、水面、勞力等ノ利用ノ集約ト經營上ノ危險ノ分散トヲ圖リ以テ將來ニ於ケル收入ノ恒久的増加ト其ノ安定トヲ期スルコト
- 二 生活ノ改善、豫算生活、收支ノ記帳、備荒貯蓄、保險及共濟施設ノ利用等ニ依リ支出ノ合理的調整、家計ノ整理、生活ノ安定等ヲ期スルコト
- 三 將來ニ於ケル負債ノ累積ヲ防止スル爲負債整理後ニ於ケル資金ノ借入ヲ制限スル等之ヲ合理的ナラシムルコト

四 産業組合、漁業組合、農事實行組合、養蠶實行組合其ノ他農山漁村ノ共同施設ノ利用ニ努ムルコト

五 當該農山漁村ノ經濟更生計畫ト密接ナル聯絡ヲ保ツコト

第六條 負債償還計畫ハ左ノ各號ニ據リ之ヲ樹立セシムベシ

- 一 經濟更生計畫ニ照應スルコト
- 二 經濟更生上不要ナル財産ハ適當ノ時機及方法ヲ選ビテ之ヲ處分シ負債ノ償還資金ニ充テシムルコト
- 三 原則トシテ二年以内ノ期間ニ財産處分ニ因ル收入及年々ノ收支ノ餘剩金ヲ以テ一切ノ既存ノ負債(既存ノ負債ノ償還ノ爲ニ負ヒタルモノヲ含ム)ヨリ免脱セシムルコトヲ目標トスルコト

第七條 農村負債整理組合法(以下單ニ組合法ト稱ス)第二條但書ノ認可ノ申請ハ負債整理組合(以下單ニ組合法ト稱ス)ヲシ

テ其ノ總會ノ決議又ハ之ニ依ル委任ニ基キ之ヲ爲サシムベシ

第八條 組合法第二條但書ノ認可ノ申請ヲ受理シタルトキハ遲滯ナク其ノ債權者ニ就キ事情ヲ調査シタル上其ノ認否ヲ決定スベシ

第九條 組合法第二條但書ノ認可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノト認メラルル場合ニ限り之ヲ爲スベシ

- 一 組合法施行後組合設立前ニ生ジタル債務ヲモ整理スルニ非ザレバ債務者ノ經濟更生ヲ期シ難キトキ
- 二 組合法施行前ニ生ジタル債務ヲ整理スルニ付其ノ權衡上組合法施行後組合設立前ニ生ジタル債務ノ條件ヲモ緩和スルコトヲ至當トスルトキ
- 三 負債ノ整理ヲ免ルル爲其ノ他不當ノ目的ヲ以テ爲サレタル債務ノ更改、債務ノ引受其ノ他ニ因リ組合法施行前ニ生ジタル債務ガ組合法施行後ノ債務ト爲リタルトキ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノト認メラルル場合ニ於テハ組合法第二條但書ノ認可ハ之ヲ爲スベカラズ

- 一 債務者ニ於テ組合法ニ依リ整理セントスル意思ヲ以テ組合法施行後故ラニ負債ヲ爲シタルトキ
- 二 銀行其ノ他官廳ノ監督ヲ受ケテ金融業務ヲ取扱フ者ニ對スル債務ナル場合ニ於テ其ノ業務ノ機構ヲ害セザル整理ノ方法ナキトキ

第十一條 組合法第二條但書ノ認可ヲ爲シ又ハ其ノ申請ヲ却下シタルトキハ組合ヲシテ債權者ニ對シ其ノ旨ヲ通知セシムベシ認可ヲ取消シタルトキ亦同ジ

第十二條 市町村負債整理委員會ガ組合法第四條ノ斡旋ニ著手シタル後ニ於テハ組合法第二條但書ノ認可ヲ取消スコトヲ得ズ金錢債務臨時調停法ニ依ル調停ノ申立ヲ爲シタル後亦同ジ

第十三條 組合ノ負債ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ斡旋ハ經濟更生計畫及負債償還計畫ニ基キ債權者及債務者ノ互讓協調ニ依リ嚴正公平ニ之ヲ爲サシムベシ尙斡旋ニ關シ知り得タル他人ノ祕密ヲ嚴守セシムベシ



第十四條 組合ヲシテ負債ノ條件ノ緩和ニ關スル協定書其ノ他斡旋ニ關スル書類ヲ作成シテ之ヲ保管シ以テ爾後ニ於ケル紛議ノ發生ヲ防止セシムベシ

第十五條 組合ヲシテ負債整理事業著手前豫メ負債整理資金ノ借受ニ關シ之ガ融通ヲ受ケントスル機關ト充分協議ヲ遂ゲシムベシ

第十六條 組合ヲシテ負債整理資金ノ融通ヲ受ケントスル機關ノ名稱及其ノ借受豫定額ヲ届出デシムベシ

第十七條 組合ノ申出アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ資金ノ融通ヲ受ケントスル機關ニ付其ノ實情ヲ調査シタル上之ガ指示ヲ爲スベシ

第十八條 組合ノ組合員ガ融資銀行ヨリ負債整理資金ノ借受ヲ爲サントスルトキハ組合ノ承認ヲ受ケシムベシ

第十九條 負債整理ヲ爲シタル者ヲシテ必ズ其ノ業務及家計ニ關スル收支ニ付記帳ヲ爲シ之ヲ保存セシムベシ

第二十條 本章ノ適用ニ關シテハ組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ハ之ヲ負債整理組合ト看做ス

第二十一條 組合ノ設立認可ノ申請ヲ受理シタル場合ニ於テハ遲滯ナク地區内一般及組合員ノ事情殊ニ當該農山漁村ノ經濟更生計畫樹立ノ氣運、負債整理資金ノ融通ノ見込等各般ノ事項ニ付充分ナル調査ヲ爲スベシ

第二十二條 地區ヲ重複シテ組合ノ設立ヲ認可セントスルトキハ認可前豫メ其ノ事由ヲ具シ農林大臣ノ指揮ヲ受クベシ

第二十三條 組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ區域ト地區ト重複スル組合ノ設立ヲ認可セントスルトキ亦前項ニ同じ

第二十四條 組合ヲシテ左ノ各號ニ依リ負債整理ヲ爲ス組合員ノ經濟更生計畫及負債償還計畫ノ實行ヲ指導督勵及助成セシメ且組合ノ貸付金ノ回收ニ努メシムベシ

一 常時其ノ業務ノ經營及家計ノ狀況ヲ監査スルコト

二 産業組合、漁業組合等ニ委託シテ其ノ取扱フ生産物ノ販賣代金中ヨリ負債償還資金ヲ引落シ之ヲ組合ノ管理ニ移サシムルコト

三 其ノ他前號ノ諸團體ト密接ナル聯絡ヲ保チ必要ナル施設ヲ爲スコト

第二十五條 必要アリト認ムルトキハ組合ノ負債整理資金ノ貸付條件ニ付地方長官ノ認可ヲ受ケシムル等必要ナル制限ヲ爲スベシ

第二十六條 組合ノ規約ニ必ズ組合員ノ全員ヨリ釀出又ハ共同耕作等ノ作業ニ依リ得タル收益ヲ以テ組合ノ負債償還ヲ目的トスル積立金ノ造成ヲ爲スベキ旨ヲ規定シ之ヲ實行セシムベシ

第二十七條 組合ノ負債償還ヲ目的トスル積立金ノ釀出、組合費ノ分擔及出資ノ拂込ハ成ルベク組合員ノ冗費ノ節約、餘暇ノ利用等ニ依ル收支ノ餘剰金ヲ以テ之ヲ爲サシムベシ

第二十八條 組合ノ餘剰金ハ郵便貯金、産業組合中央金庫若ハ信用組合ヘノ貯金又ハ銀行預金トシテ之ヲ管理セシムベシ

第二十九條 保證責任ノ組合ニ付テハ己ムコトヲ得ザル事由ナキ限リ持分ノ拂戻ヲ認ムベカラズ

第三十條 組合ノ組合員ガ死亡ニ因リテ脱退シタル場合ニ於テ其ノ家督相続人が相續開始後遲滯ナク加入ノ申込ヲ爲シタルトキハ被相續人ノ組合員タル地位(持分ヲ含ム)ヲ其ノ儘承繼スルト同様ノ取扱ヲ爲ス等之ガ加入ヲ容易ナラシムル爲ニ必要ナ



ル規定ヲ規約ニ定メシムベシ

第三十一條 無限責任ヲ保證責任ト爲ス組合ノ組織變更又ハ保證責任ノ組合ノ出資一口ノ金額若ハ保證金額ノ減少ニ付認可ヲ爲サントスルトキハ農林大臣ノ指揮ヲ受クベシ

第三十二條 總會ノ決議ニ依ル組合ノ解散ヲ認可セントスルトキハ其ノ事由及負債整理資金特別融通ノ債務ノ處理方策ヲ具シ農林大臣ノ指揮ヲ受クベシ

### 第三章 組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ信用組合

第三十三條 組合法第八條ノ認可ノ申請ヲ受理シタル場合ニ於テハ信用組合ノ區域内ノ團結融和及産業經濟ノ狀況竝ニ信用組合ノ構成、資産負債及事業ノ狀況ニ鑑ミ信用組合ヲシテ負債整理事業ヲ行ハシムルコトヲ必要トシ且其ノ本來ノ事業及當該町村ニ於ケル信用組合ノ統一ニ付支障ヲ招來スル虞ナシト認メタルトキ之ヲ認可スベシ

第三十四條 組合又ハ組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ區域ト區域ノ重複スル信用組合ニ對シ負債整理事業ノ認可ヲ爲サントスルトキハ認可前豫メ其ノ事由ヲ具シ農林大臣ノ指揮ヲ受クベシ

第三十五條 負債整理事業ヲ行フ信用組合ノ負債整理資金ハ原則トシテ産業組合中央金庫ノ特別融通ニ因ル資金ヨリ之ヲ借受ケシムベシ

第三十六條 信用組合ガ負債整理事業ヲ行フ場合ニ於テハ定款ニ其ノ旨ヲ記載セシムベシ

第三十七條 信用組合ガ負債整理事業ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ本來ノ事業ト負債整理事業トノ會計ヲ分別セシムベシ

第三十八條 信用組合ガ負債整理事業ヲ行フ場合ニ於テ負債整理資金ノ借受ヲ爲シタルトキハ組合ト同様ニ負債償還ヲ目的トスル積立金ヲ積立テ之ヲ特別ニ管理セシムベシ

第三十九條 信用組合ガ負債整理事業ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ事業報告書ニ組合法施行規則第二十一條第三號、第五號及第六

號ニ掲グル事項ヲ本來ノ事業ト負債整理事業トニ分チ記載セシムベシ

第四十條 第二十一條、第二十四條、第二十五條、第三十一條及第三十二條ノ規定ハ負債整理事業ヲ行フ信用組合ニ之ヲ準用ス但シ第三十二條中組合ノ解散トアルハ負債整理事業ノ廢止ヲ含ムモノトス

第四十一條 信用組合カ今後相當ノ規模ニ於テ多數ノ組合員ニ付組合法第十一條ノ事業ト同様ノ事業ヲ行フ場合ニハ地方長官ノ承認ヲ受ケシムベシ

### 第四章 農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第二條ノ承認ヲ受ケ負債整理ヲ爲ス者

第四十二條 補償法施行規則第二條ノ承認ノ申請アリタル場合ニ於テハ遲滞ナク其ノ者ノ負債整理ヲ必要トスル事情其ノ他各

般ノ事項ニ付調査ヲ爲スベシ

前項ノ調査ニ依リ負債整理ノ要緊切ナリト認メラレ且左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限り其ノ承認ヲ爲スベシ

一 組合ノ設立又ハ組合法第八條ノ規定ニ依ル負債整理事業ノ開始ヲ待チ難キ緊急ノ必要アルトキ

二 組合ノ設立又ハ組合法第八條ノ規定ニ依ル負債整理事業ノ開始ヲ待チ難キ緊急ノ必要アルトキ

三 組合ノ組合員又ハ組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ組織者タルコト困難ナル特別ノ事情アルトキ

第四十三條 市町村負債整理委員會(市町村負債整理委員會ナキトキハ市町村長)ヲシテ補償法施行規則第二條ノ承認ヲ受ケ負債整理ヲ爲ス者ノ經濟更生計畫及負債償還計畫ノ樹立實行ノ指導ヲ爲サシムベシ

### 第五章 市町村負債整理委員會

第四十四條 負債整理ノ爲必要アリト認メタルトキハ組合設立前ト雖モ市町村負債整理委員會ヲ設置スベシ

第四十五條 市町村負債整理委員會ヲシテ第四十三條ニ規定スル事項ノ外負債整理組合ノ設立及其ノ事業ノ指導ヲ爲ス等負債整理ノ普及促進ヲ圖ラシムベシ



## 農村負債整理組合法及農村負債整理 資金特別融通及損失補償法施行細則

(昭和十三年三月五日)  
愛媛縣令第十一號

五二

第一條 負債整理組合設立認可申請書ニ添付スベキ規約ハ之ヲ一通トス

前項ノ規約ニハ農村負債整理組合法第十五條ニ依リ設立者署名又ハ記名捺印スルノ外其ノ住所職業ヲ記載スベシ

第二條 負債整理組合設立認可申請書ニハ農村負債整理組合法施行規則第十一條ニ定ムル書類ノ外左ノ場合ニ於テハ其ノ理由書ヲ添付スベシ

一、出資一口ノ金額五十圓ヲ超ユルトキ

二、一組合員ノ有スベキ出資口數三十口ヲ超ユルトキ

三、組合ノ地區部落其ノ他之ニ準ズル區域ニ依ラザルトキ

四、事業年度曆年ニ依ラザルトキ

五、組合ノ事務所ヲ地區外ニ置クトキ

第三條 保證責任ノ負債整理組合ガ出資第一回ノ拂込ヲ了シタルトキハ直ニ之ヲ知事ニ報告スベシ

第四條 負債整理組長ニ變更アリタルトキハ直ニ其ノ年月日及氏名ヲ知事ニ届出ヅベシ

第五條 負債整理組合ハ組合員名簿ノ外左ノ帳簿ヲ備フベシ但シ記録スベキ該當事實無キモノハ此ノ限ニ在ラズ

一、日記帳

二、總勘定元帳

三、借入金臺帳

四、所有物臺帳

五、貸付金臺帳

六、組合費徵收明細帳

七、積立金臺帳

八、出資臺帳

九、庶務日誌

十、負債條件緩和幹旋臺帳

第六條 負債整理組合ノ書類ハ概ネ左ノ區別ニ依リ編綴スベシ

一 規約及諸規程

二 組合員加入脱退及出資ニ關スル書類

三 會議關係書類

四 官廳關係書類

五 負債整理計畫要領書、經濟更生計畫及負債償還計畫ニ關スル書類

六 負債ノ條件緩和ニ關スル書類

七 貸付關係書類

八 事業ニ關スル書類

九 諸證憑書類

十 雜書

第七條 農村負債整理組合法施行規則第二十二條第一項ノ規定ニ依ル決議ハ負債整理資金ト其ノ他ノ資金トニ區別シテ之ヲ爲

五三



スベシ

第八條 負債整理組合ノ理事又ハ監事ニ於テ總會ヲ開カントスルトキハ開會ノ日時、場所及會議ノ目的ヲ具シ其ノ開期前十日  
目迄ニ之ヲ知事ニ届出ツベシ

但シ臨時總會ニシテ急施ヲ要スル場合ハ本文ノ期日ニ依ラザルコトヲ得  
總會カ總組合員ノ五分ノ一以上ノ請求ニ依ルトキハ前項ノ届書ニ其ノ旨ヲ記スベシ

第九條 農村負債整理組合法施行規則第二十條ニ依リ知事ニ差出スベキ書類ハ第一號様式ニ依リ之ヲ作成スベシ

第十條 負債整理組合訴訟ノ當事者トナリタルトキ及訴訟ノ判決アリタルトキハ其ノ狀況ヲ具シ十日以内ニ之ヲ知事ニ報告ス  
ベシ

第十一條 總會ノ決議ニ因ル負債整理組合解散ノ認可申請書ニハ農村負債整理組合法施行規則第二十九條ニ定ムル書類ノ外負  
債整理資金特別融通ノ債務其ノ他借入金ノ處理計畫書ニ通テ添付スベシ

第十二條 負債整理組合ノ理事破産宣告ノ請求ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ事情ヲ具シ之ヲ知事ニ報告スベシ

第十三條 農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人(以下單ニ負債整理事業ヲ行フ法人ト稱ス)ハ其ノ  
會計並ニ帳簿ヲ負債整理事業ト其ノ他ノ事業トニ分別スベシ

第十四條 負債整理事業ヲ行フ法人ノ負債整理資金ノ償還ヲ目的トスル積立金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ管理スベシ

- 一、國債證券、産業債券、勸業債券、農工債券ノ供託
- 二、郵便貯金法ニ依ル貯金又ハ有價證券ノ保管

三、産業組合中央金庫又ハ其ノ法人ガ負債整理資金ノ特別融通ヲ受ケタル信用組合ヘノ貯金

前項ノ積立金ヲ處分セントスルトキハ理由書、財産目錄及貸借對照表ヲ添ヘ知事ノ認可ヲ受クベシ

第十五條 第十一條ノ規定ハ負債整理事業ヲ行フ法人カ農村負債整理組合法施行規則第九條ノ規定ニ依リ事業廢止ノ認可ヲ受

ケントスルトキニ之ヲ準用ス

第十六條 農村負債整理組合法第二條但書ノ認可申請書ニハ農村負債整理組合法施行規則第五條ニ定ムル書類ノ外總會又ハ之  
ニ代ルベキ議決機關ノ決議錄謄本又ハ其ノ決議ニ基ク委任ニ依ルモノナルコトヲ証スル書面ヲ添付スベシ

第十七條 農村負債整理組合法第二條但書ノ認可ヲ申請セルモノ其ノ指令ヲ受ケタルトキハ其ノ結果ヲ債權者ニ通知スベシ

第十八條 農村負債整理組合施行規則第七條第三號及第十一條ノ負債整理事業計畫要領書ハ第二號様式ニ依リ之ヲ作成スベシ

第十九條 農村負債整理組合法施行規則第八條及第二十八條ノ規定ニ依リ負債整理事業計畫ノ認可ヲ受ケントスルトキハ申請  
書ニ第三號様式ニ依リ作成セル負債整理事業計畫書ニ通テ添付スベシ

第二十條 農村負債整理組合法施行規則第八條及第二十八條ニ依ル負債整理事業計畫變更ノ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書  
ニ理由書、總會又ハ之ニ代ルベキ議決機關ノ決議錄謄本及従前ノ計畫ヲ左側ニ朱書セル新負債整理計畫書ニ通テ添付スベシ

第二十一條 農村負債整理組合法施行規則第九條及第二十八條ノ規定ニ依リ事業ノ一部休止ノ認可ヲ受ケントスルトキハ申請  
書ニ理由書及總會又ハ之ニ代ルベキ議決機關ノ決議錄謄本ヲ添付スベシ

第二十二條 負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ノ負債整理資金ノ貸付條件ハ知事ノ認可ヲ受クベシ

第二十三條 負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人、負債整理資金ノ特別融通ヲ受クル前一時之ニ代ルベキ資金ヲ借入レ  
ントスルトキハ其ノ借入先、借入金額、借入利率、償還期限、償還方法及負債整理事業進捗狀況ヲ具シ知事ノ承認ヲ受クベ  
シ

第二十四條 市町村負債整理委員會ハ市町村負債整理委員會令第一條第一項及第二項ニ定ムル事項ノ外左ノ事務ヲ行フベシ

一 負債整理組合ノ設立及其事業ノ指導

二 農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第二條ノ承認ヲ受ケ負債整理ヲ爲ス者ノ經濟更生計畫書及負債償還計  
畫ノ樹立實行ノ指導



三 其ノ他負債整理事業ノ普及促進

第二十五條 市町村負債整理委員令第十八條ニ依リ幹旋委員及幹旋補助者ニ旅費、日當及止宿料ヲ支給スルハ左ノ場合ニ限リ其ノ定額並ニ支給方法ハ其ノ市町村ノ市町村長、助役及収入役ヲ除キタル他ノ市町村吏員ノ例ニ依ル

- 一 職務ノ爲其ノ市町村外ニ旅行シ費用ヲ要シタルトキ
- 二 終日幹旋ニ従事シタルトキ

第二十六條 市町村負債整理委員會令第二十條ノ規定ニ依リ市町村長ノ徵スルコトヲ得ベキ實費中旅費以外ノ費用ニ付テハ其ノ都度其ノ額ニ付認可ヲ受クベシ

第二十七條 農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第四條第二項括弧書ノ認可申請書ニハ負債整理資金ヲ借受ケ又ハ土地ヲ處分セントスル者ノ經濟更生計畫並ニ負債償還計畫書ヲ添ヘ其ノ必要ナル事由ヲ具申スベシ

第二十八條 農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第二條ノ承認ヲ受ケントスルモノハ居住地ノ市町村長ニ對シ誠實ニ經濟更生計畫ヲ實行シ負債整理ヲ爲スベキコトヲ誓約スベシ

第二十九條 農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第二條ノ承認ヲ受ケントスル者ハ居住地ノ市町村長ヲ經由シ第四號様式ニ依ル負債整理承認願ヲ提出スベシ

前項ノ承認願ニハ出願者ノ居住地ニ負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人アル場合ニ於テハ之ニ加入セザル理由書、負債整理組合ノ設立ナキ場合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依ル負債整理事業ノ開始ナキ場合ニ於テハ其ノ設立又ハ開始ヲ待チ難キ理由書ヲ添附スベシ

第二十條 農村負債整理資金特別融通及損失補償法第一條第三項ノ規定ニ依ル特別融通ヲ受クル爲日本勸業銀行ニ提出スル借入申込書ニハ其ノ複本及第五號様式ニ依ル負債整理計畫書ヲ添附スベシ

前項ノ申込者ガ負債整理組合ノ組員又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ノ組織者ナルトキハ日本勸業銀行ヨリ特別融通ヲ受クル

コトニ付其ノ組合又ハ法人ノ承認ヲ經タルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第三十一條 市町村カ農村負債整理資金特別融通及損失補償法第五條ノ規定ニ依リ縣ト損失補償ノ契約ヲ爲サントスルトキハ申込書ニ第一號書式ノ契約書三通市町村ノ負債整理資金特別融通計畫及市町村會決議書ノ謄本各二通ヲ添附シ之ヲ知事ニ提出スベシ

第三十二條 市町村カ農村負債整理資金特別融通及損失補償法第五條ノ規定ニヨリ縣ト損失補償ノ契約ヲ爲シタル後其ノ特別融通金額ヲ變更セントスルトキハ申込書ニ第二號書式ノ變更契約書三通市町村ノ負債整理資金特別融通計畫及市町村會決議書ノ謄本各一通ヲ添附シ之ヲ知事ニ提出スベシ

第三十三條 農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第十條但書ノ承認ヲ受ケントスルトキ及全則第十三條第三項ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ具申スベシ

第三十四條 負債整理事業ヲ行フ信用組合又ハ農村負債整理資金ノ特別融通ヲ受ケ之ヲ其ノ組員タル負債整理組合若ハ負債整理事業ヲ行フ法人ニ融通セントスル信用組合ノ産業組合法施行規則第十二條ニ依ル決議ハ負債整理資金ト其ノ他ノモノトニ區別スベシ

第三十五條 信用組合相當ノ規模ニ於テ多數ノ組員ニ付負債整理組合法第十一條ノ事業ト同様ノ事業ヲ行ハントスルトキハ知事ノ承認ヲ受クベシ

第三十六條 登録税法施行規則第五條ノ六ノ各號ノ一ニ該當スルコトノ證明願ハ關係負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ノ住所地ノ市町村長（日本勸業銀行ガ負債整理ノ爲ノ資金貸付ノ場合ニ於ケル抵當權取得ノ登記ニアリテハ資金借受人ノ住所地ノ市町村長）ヲ經由スベシ

前項ノ願書ノ提出アリタルトキハ市町村長其ノ事實ニ相違アリヤ否ヤヲ調査副申スベシ

附 則







現金	
(本年度損失金)	
合計	本年度剩餘金

丙 昭和 年度事業報告書

一、組合員數及出資口數

出資一口ノ金額 圓 保證金總額 圓

職業別	區別	前年度末現在		本年度內異動		本年度末現在	
		組合員數	出資口數	加入員數	脫退員數	組合員數	出資口數
農業							
林業							
漁業							
商業							
其他							
合計							

二、出資ノ拂込又ハ組合費ノ分擔

(一) 出資ノ拂込

前年度末現在	本年度內拂込	本年度內減少	本年度末現在
圓	圓	圓	圓

(出資未納額 圓 )

(二) 組合費納入狀況

總本年	總本年	總本年	總本年
組合費	組合費	組合費	組合費
納入額	納入額	納入額	納入額
圓	圓	圓	圓

(組合費未納額 圓 )

三、借入金

(一) 借入金及其ノ償還

區別	前年度末現在		本年度內借入		本年度內償還		本年度末現在	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
資融特								
市町村經由		圓		圓		圓		圓
產業組合中								
中央金庫經由								
其他資金								
計								

其他資金(借入途先)



(二) 借入金ノ利率

特融資金	最高利率	最低利率	普通利率
其他資金	割	割	割

四、負債整理ノ申出ヲ爲シタル組合員數並其ノ負債ノ件數及金額

職業別	區別	組合員數		負債件數		負債金額	
		本年度分	累計	本年度分	累計	本年度分	累計
農業	農	人	人	件	件	圓	圓
林業	林						
漁業	漁						
商工業	商工業						
其他	其他						
計							

五、負債ノ條件緩和ノ狀況

負債整理ヲ爲シタル者	前年度末現在	本年度分	本年度末現在
名	名	名	名

要整理負債額	元金		件數	元金		件數	元金	
	利息	元金		利息	元金		利息	元金
條件緩和ニ依ル減免額	利息	元金		利息	元金		利息	元金
期間ノ延長	圓	圓		圓	圓		圓	圓
利率ノ低下	圓	圓		圓	圓		圓	圓
償還方法ノ變更	圓	圓		圓	圓		圓	圓

(注意) 一、一債務ニシテ數種ノ條件ニ亘ル緩和ヲ爲シタルトキハ各條件毎ニ一件トシテ計算スルコト

六、貸付金

(一) 年度末現在職業別貸付金

項目	區別	農		林		漁		商工業其他		計	
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額		
貸付額	人	圓	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓
本年度償還額											
本年度延滞額											

(注意) 延滞金アル場合ハ其ノ延滞ノ理由、並ニ其ノ償還豫定期ヲ記載ノコト







八、各種積立金

	前年度末現在	本年度積立	本年度處分	本年度末現在
負債償還積立金	圓	圓	圓	圓
損失補填積立金				
計				

九、總會決議

- 一、總會ノ種類 第 回通常總會
  - 一、開設年月日 昭和 年 月 日
  - 一、開設ノ場所 名
  - 一、出席組合員數
  - 一、決議事項
    - 1、本年度ニ於ケル借入金ノ最高限度
    - 2、本年度ニ於ケル一組合員ヘノ貸付最高限度
- 十、事業ノ狀況及處務ノ要件
- (一) 事業ノ狀況
  - (二) 處務ノ要件

丁、剩餘金處分案

一金	本年度總益金
一金	本年度總損金
差引	
一金	本年度剩餘金
此處分	損失補填積立金

昭和 年度末財産目錄、貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分案右ノ通候也  
 昭和 年 月 日

郡 町大字 番地

責任 負債整理組合

組合長 理事

理事 理事 理事 理事

意見書

別冊昭和 年度財産目錄、貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分案、監査ヲ遂ゲ何レモ正確ナルモノト認メ候也



昭和 年 月 日

郡

町大字

番地

責任

負債整理組合

監事

監事

監事

監事

監事

様式第二號

負債整理事業計畫要領書

一、負債整理年度割計畫

年次	要整理組合員數	要整理負債額	資金所要額
第 一 年 度	人	圓	圓
第 二 年 度			
第 三 年 度			

注意 (イ)要整理負債額ニハ負債整理組合ニ依リ整理セラルベキ負債ヲ記入ノコト  
(ロ)資所金要額ニハ組合員ガ融通銀行ヨリ融通ヲ受クベキ資金ヲ含メザルコト

二、所要資金調達方針

三、負債償還積立金造成計畫

(一)組合員ノ醸出

(二)共同事業

四、地區内ノ戸數及組合員數

計	職 業		地 區 内 總 戸 數	組 合 員 數	要 整 理 組 合 員 數
	農 林 漁 業	其 ノ 他			
			戸	人	人

五、信用組合ヘノ加入

(注意) 既ニ信用組合ニ加入シタル組合ニ在リテハ其ノ信用組合名ヲ加入豫定ノ組合ニアリテハ其ノ旨及加入豫定期間並ニ信用組合名ヲ加入セザル組合ニ在リテハ其ノ旨ヲ記入スルコト

様式第三號

負債整理事業計畫書

一、負債整理計畫

(一) 組合ノ状況



組合員數	人	要整理組合員數	人	要整理數	件	負債額	圓
	人		件		圓		

(二) 年度割計畫

年次	要整理組合員數	要整理負債額		條件緩和ニ依ル減額		資金所要額	
		件數	金額	件數	金額	特融資金	其ノ他資金
第 年度	人	件	圓	件	圓	圓	圓
第 年度							
第 年度							
計							

(注意) (イ)所要資金ノ特融資金ニハ融資銀行ヨリスル特融資金ヲ含メザルコト  
(ロ)備考欄ニハ金額以外ノ條件緩和ノ見込ヲ記入スルコト

(三) 特融資金調達計畫

資金別	借入先別			計
	市	町	村	
負債償還資金			圓	圓
土地購入資金				
計				圓

(注意) 信用組合ニ加入シタル組合ニ在リテハ其ノ信用組合名ヲ加入豫定ノ組合ニ在リテハ其ノ旨及加入ノ時期竝ニ其ノ信用組合名ヲ欄外ニ附記スルコト

(四) 資金貸付計畫

資金別	擔保別		備考
	無擔保貸付	有擔保貸付	
特融資金	圓	圓	
其ノ他資金			
計			

(注意) (イ)物上擔保貸付ニ非ザル貸付ハ無擔保貸付ニ記入スルコト  
(ロ)備考欄ニハ無擔保貸付中保證ヲ徵セザル貸付ヲ爲ス場合其ノ金額ヲ記入スルコト

二、經濟更生計畫及負債償還計畫樹立方針

(一) 收入ノ増加計畫書樹立方針

主タル計畫事項	現	狀	目	標	計畫實行方法

(注意) 「主タル計畫事項」ニハ稻作改良ト言フガ如ク組合員ニ實行セシムベキ主ナル事項ヲ「現狀」ニハ排水不良何町反當收量何石ト言フガ如ク收入不足ノ原因及現在ニ於ケル收入見込額ヲ、目標ニハ排水設備何町之ニ因ル反當收量何石増収見込額何圓ト言フガ如ク計畫ノ目標及増収見込額ヲ、計畫實行方法ニハ何年度ヨリ何年間ニ實施、其ノ經費何圓、自辨又ハ借入、關係組合員何人ト言フガ如ク計畫實行方法及關係組合員數ヲ記入シ組合員ニ計畫ヲ樹立セシムルニ當リ組合ノ採ルベキ方針ヲ記入スルコト



(二) 支出ノ合理化計畫樹立方針

主ナル計畫事項	現	狀	目	標	計畫實行方法

(注意) 収入ノ増加計畫樹立方針ニ準ジ記入スルコト

(三) 不要財産ノ處分

(注意) 財産ノ種類、數量、處分價額、關係組合員數處分時期等ニ付其ノ概要ヲ記入スルコト

(四) 負債整理完成年度

(注意) 負債整理資金ノ償還年限ヲ附記スルコト

三、負債償還積立金ノ造成計畫

(一) 積立金造成ノ目標 金 圓

(二) 造成方法及金額

(イ) 組合員ノ離出方法及金額

(ロ) 共同事業

種	類	規	模	所	要	經	費	計	畫	實	行	方	法

(注意) (イ)所要經費ニハ設備ニ要スル經費ヲ記入スルコト

(ロ)計畫實行方法ニハ所要經費調達方法其ノ他計畫實行方法ノ概要ヲ記入スルコト

様式第四號

農村負債整理承認願

私儀今般負債整理致度候條農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第二條ノ規定ニ依リ御承認相成度關係書類相添へ此段及御願候也

昭和 年 月 日

郡市 村町 大字

番地 ⑩

年 月 日生

愛媛縣知事 殿

一 家庭ノ狀況

1 家族及従業員

昭和 年 月 日 調















負債償還費	收支差引	費		
		合計	其ノ他	臨時費

記入上ノ注意

金錢ノ收入支ニハ金錢ノ收入支出ヲ生ズベキ收支ノミヲ記シ自家ニテ生産シ自家ニテ消費スル物ヲ金錢ニ見積リテ收支ニ織リ込マザルコト

收入中ニハ物ノ收支ノ差引販賣可能高ノ計ヲ先ヅ販賣代金ニ記入スベキコト

收入及經營費ノ科目ハ普通該當事實ノアルコト多キモノヲ注意の意味ニ於テ刷入セルニ過ギザレバ業態ニ依リ必要ナル科目ヲ設クルコト

家計費ハ左ノ科目區分例ニ使リ可成刷入ノ科目中ニ計入ススコト

- 住居費 住居ニ必要ナル家屋類・井戸・門塀ニ要スル費用即チ改築修繕新築・借家料・障子紙・疊・建具・土敷・釘等ノ買入費  
大工賃・庭ノ手入費・火災保險料等
- 飲食費 主食物ノ買入代・精白代・魚・肉・卵・菜・漬物・豆腐・蒟蒻・豆・海藻等ノ副食物・醬油・味噌・塩・砂糖・出シ昆布・油・

○被服費

味ノ素・酢・煮干・鰹節・辛子・バター等ノ調味料其他常食トシテニ度ノ食事ニ用フルモノ  
普通被服ノ外寝巻・ねんねこ・絆天・腰巻・前掛・雨合羽等ノ新調・修繕・洗濯・染代等ハ勿論履物・靴・足袋・帽子・櫛・簪・手拭・ハンカチ(カラ・ネクタイ)・財布・手提袋・キセル・眼鏡・提時計・指輪・帶上・煙草入・半エリ等身ノ廻リ品ノ新調修繕染代・洗濯代等

○光熱費

燃料・電燈料・石油・瓦斯代・燐寸・蠟燭共ノ他光熱用消耗品

○家具什器費

飲料器・台所用具・火鉢・机・傘・國旗・裁縫具・寝具・化粧用具・接客用具・煙草盆・座布團・洗面器・タワシ・鋸・柱時計・風呂敷・行李・提灯・秤量器等

○教育費

月謝・授業料・本代・學用品代・寄宿舍費・通學費・保護者會費・旅行費・送金料

○交際費

入退營祝・餞別・結婚進物・出産祝・全快祝・見舞・香奠・弔慰金・中元等ノ贈答費・歡待費・懇親會・同窓會・祝賀會・來客費・ハガキ・切手・卷紙・送迎交際ノ爲ノ一切ノ費用

○嗜好品費

酒・燒酎類・菓子・果物・タバコ等

○醫療衛生費

賣藥・診療藥代・消毒・防衛・風呂錢・石鹼等

○神佛祭禮費

供養念佛・盆彼岸讀經料・護符代・神物供物・布施・種油・ローソク・其ノ他祭費佛事費

○租稅諸負擔

戸數割・家屋稅・自轉車稅・所得稅・(地租・營業收益稅・水利費等經營ニ付隨スルモノヲ經營費ニ計入セザル時ハ包含セシムヲモ差支ナシ) 諸寄附等

○臨時費

冠婚・葬祭・入退營ノ臨時費

○雜費

新聞雜誌代・日記帳・講習會費・茶活花・社寺詣・諸娛樂・遠足・遊漁・子供玩具(ラヂオ・樂器・寫眞機)・運動費・理髮・結髮代・洗粉・白粉・ベニ・クリーム・髮油・石鹼・家族小遣錢等

○其ノ他







記入上ノ注意

- 一ノ1ノ (1) 八家業經營ニ充ツベキ要員外家族ノ從事スル仕事子供等將來ノ仕事ヲ考ヘ我が家ノ更生上家族全員ガ如何ニ働クベキカノ方針ヲ簡明ニ記スコト
- 一ノ1ノ (2) 八家業ノ基本的規模例バ農業ニ於テハ水田何反畑何反ヲ耕作シ田ハ米麥作ニ畑ノ中何反ハ桑園何反ハ温州果樹園トシテ經營シ牛一頭ヲ飼養シ勞力金肥ノ節約ヲ圖リ冬季余暇ニ製繩ヲ行フト謂フガ如ク經營ノ大要ヲモ簡明ニ記スコト
- 一ノ1ノ (3) 八祭日、親族ノ接待、身ノ廻リヲ質素ニシ或ハ節酒スル等條件緩和ニ應ズル債權者ノ同情ヲ得ルニ足ル節約ヲ行フ要點ヲ記スルコト

負債償還計畫上ノ注意

- 1、經濟更生計畫後平年度ニ於ケル收支見積樹チタレバ之ヲ基準トシテ毎五年目毎ノ收支見込ヲ算定シ其ノ餘剩金ヲ基準トシテ更ニ負債償還年次表ノ餘剩金欄ニ各年度ノ餘剩見込金額ヲ記入シ此ノ各年度ノ餘剩金ノ範圍内ニテ以移償還スベキ全負債ニ付急ヲ要スルモノヨリ適宜塩梅シテ各年度ノ償還金額ヲ定メ全部ノ負債ヲ償還スル如ク計畫スルコト
- 2、負債整理計畫ハ負債償還年次表ノ各年度ニ於ケル餘剩金ヲ以テ全負債ヲ完済シ盡ス如ク現有負債ノ條件緩和ヲ計畫スルコト

(2) 金錢ノ收支

收	科 目	計 畫 金 額	金 額 算 出 基 礎	ノ 說 明
販賣代金				
勞働賃金				

支										入						
營					經					合 計	商 業 利 益	家 庭 外 者 ノ 送 金	金 納 小 作 料	利 息	俸 給 々 料	
光熱動力費	飼料費	農漁具費	加工材料費	種苗費	肥料費	種苗費	加工材料費	農漁具費	飼料費							
藥劑費																
金納小作料																















愛媛縣訓令 第三號

市町村負債整理委員會

農村負債整理ニ關スル件

負債ノ重壓ニ更生ノ意氣沮喪セル農林漁家ヲシテ家運再興ノ計畫ヲ樹テ回生ノ希望ニ耀カシメテ自奮更生ノ精神ヲ作興スルハ農村更生ノ基調ヲ成スモノニシテ昭和八年農村負債整理組合法ノ制定セラレタル其ノ趣旨實ニ茲ニ在リ  
今ヤ農村ノ經濟事情ハ同法制定當時ト稍異ナルモノアリト雖モ時局ハ重大ニシテ益々農村對策ノ徹底ヲ圖リ一人ノ失意者ナク隣佑相扶ケ互ニ相勵ミ經濟更生計畫ヲ如實ニ實現シ孰後農村ノ護リヲ固ウスルノ要切ナルモノアリ曩ニ農村負債整理資金特別融通及損失補償法ヲ施行シ負債整理資金融通ノ途ヲ擴張セラレタルモ亦意議更ニ新ナルモノアリ宜シク左ノ農村負債整理事務取扱心得ニ由リ農村負債整理事業ノ普及徹底ニ努メララルベシ

昭和十三年三月五日

愛媛縣知事 古川 靜 夫

農村負債整理事務取扱心得

- 第一條 負債整理ハ誠實勤勉ニシテ自奮更生ノ熱意ヲ有シ經濟更生計畫及負債償還計畫ヲ樹立スルコトヲ得ル見込アル者ハ限リ之ヲ爲サシムベシ
- 第二條 負債整理ハ成ルベク一世帯ヲ一體トシテ之ヲ爲スベシ
- 第三條 負債整理ハ債務者ノ經濟更生ヲ目的トスベキモノナルヲ以テ之ニ必要ナル限度ニ於テ其ノ者ノ負債ノ條件緩和ヲ伴ハ

シメ其ノ限度ヲ超エ不當ニ債權者ノ利益ヲ害スルコトナカラシムベシ

五千圓以上ノ負債償還資金ノ貸付ヲ受クルニ非ザレバ負債ノ條件ヲ緩和シ負債整理ノ目的ヲ達成スルコト能ハザル場合ニ於テハ之ヲ本取扱心得ニ依リ負債整理ヨリ除外セシムベシ

第四條 負債整理ハ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ヲ害セザル様之ヲ爲サシムベシ官廳ノ監督ヲ受ケテ金融業務ヲ取扱フ者ニ對スル負債ノ整理ニ就テハ其ノ業務ノ機構ヲ害スル虞アル整理ノ方法ハ之ヲ避ケシムベシ

第五條 經濟更生計畫ハ進取且ツ堅實ヲ旨トシ左ノ各號ニ依リ之ヲ樹立セシムベシ

- 一 業務ノ改良發展ヲ企圖シ殊ニ副業兼業等ニ意ヲ用ヒ土地水面勞力等ノ利用ノ集約ト經營上ノ危險ノ分散トヲ圖リ以テ將來ニ於ケル收入ノ恒久的増加ト其ノ安定トヲ期スルコト
- 二 生活ノ改善、豫算生活、收支ノ記帳、備荒貯蓄、保險及共濟施設ノ利用等ニ依リ支出ノ合理的調整、家計ノ整理、生活ノ安定等ヲ期スルコト
- 三 將來ニ於ケル負債ノ累積ヲ防止スル爲メ負債整理後ニ於ケル資金ノ借入ヲ制限スル等之ヲ合理的ナラシムルコト

四 産業組合、漁業組合、農事實行組合、養蠶實行組合其ノ他農山漁村ノ共同施設ノ利用ニ努ムルコト

五 農山漁村ノ經濟更生計畫ト密接ナル連絡ヲ保ツコト

第六條 負債償還計畫ハ左ノ各號ニヨリ之ヲ樹立セシムベシ

- 一 經濟更生計畫ヲ基調トスルコト
- 二 經濟更生活上不要ナル財産ハ適當ノ時機及方法ヲ選ビテ之ヲ處分シ負債ノ償還資金ニ充テシムルコト
- 三 原則トシテ二十年以内ノ期間ニ財産處分ニ因ル收入及年々ノ收支ノ餘剩金ヲ以テ一切ノ既存ノ負債(既存ノ負債ノ償還ノ爲メニ負ヒタルモノヲ含ム)ヨリ免脱セシムルコトヲ目標トスルコト

第七條 負債ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ斡旋ハ經濟更生計畫及負債償還計畫ニ基キ債權者及債務者ノ互讓協調ニ依リ嚴正公



ノ補填ニ充當スルコト尙不足額アルトキハ之ニツキ甲ヨリ前條ノ補償金ヲ交付スルコト前項ニ依リ損失ノ補填ニ充當シ尙殘餘アルトキハ乙ハ甲ト乙トノ損失補償金額分擔ノ割合ニ應ジ之ヲ甲ニ納付スベキコト最後ノ補償ノ請求ヲ爲シタル後ニ於テ取立ニ因リ入金アリタル場合乙ニ於テ甲ト協議ノ上政府ノ承認ヲ受ケ其ノ金額ヲ以テ乙ノ損失額ガ前條第三項ノ制限金額ヲ超過シタル爲乙ガ補償ヲ受ケザリシ損失ノ補填ニ充當シ尙殘餘アルトキ亦同ジ

前項ニ依リ乙ガ甲ニ納付スベキ金額ノ納付ノ時期及方法ハ甲知事之ヲ定ムルコト

第四條 乙ガ本契約ニ基キ甲ヨリ損失補償ヲ受ケタル後乙ニ於テ保有スル當該特別融通ノ債權又ハ之ガ擔保ニ付テハ乙其ノ權利保存行爲ヲ爲スベキコト但シ權利保存行爲ヲ要セズト認メラルル場合ニ其ノ事由ヲ具シ甲知事ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 乙ガ本契約ニ基キ甲ヨリ補償ヲ受クベキ損失ノ計算ニ算入スベキ特別費用ニ付主務大臣ノ承認ヲ受ケントスルトキハ申請前豫メ其ノ費途ニ關スル明細書ヲ添附シテ之ヲ甲知事ニ協議スベキコト

第六條 乙ガ本契約ニ基キ甲ヨリ損失補償ヲ受ケントスルトキハ請求書ニ損失ニ關スル計算書及必要ナル證據書類ヲ添付シテ甲知事ニ之ヲ提出スベキコト

第七條 第二條ニ依ル甲ノ損失補償金額ハ負債整理資金特別融通損失審査會ニ於テ損失及其ノ額ヲ決定シタルトキヨリ一年以内ニ之ヲ支拂フコト

第八條 第二條ノ損失補償金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スコトヲ得ルコト

前項ノ國債證券ノ交付價格ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ルコト

第九條 乙ガ過失ニ因リテ受ケタル損失ニ付テハ甲ハ之ガ補償ノ責ニ任ゼザルコト

第十條 甲知事ハ必要アリト認ムルトキハ乙ニ對シ負債整理資金特別融通ノ債權ノ保全ニ付必要ナル行爲ヲ命ズルコトヲ得ルコト

第十一條 政府ノ命令アリタルトキ又ハ甲ニ於テ必要アリト認ムルトキハ乙ト協議ノ上本契約書ノ條項ヲ變更スルコトヲ得ルコト

第十二條 本契約書ノ條項ニ關シ疑義アルトキハ甲知事之ヲ決スルコト

第十三條 本契約書ハ參通ヲ作成シ甲及乙ニ於テ各壹通ヲ所持シ壹通ヲ政府ニ提出スルコト

昭和 年 月 日  
愛媛縣知事 郡 村長

書式第二號

負債整理資金特別融通損失契約變更契約書

農村負債整理資金特別融通及損失補償法第五條ノ規定ニ依リ 昭和 年 月 日 愛媛縣ト

カ締結セル負債整理資金特別融通損失補償契約書中第二條第四項ニ規定セル

通元金總額「 圓」トアルヲ「 圓」ト變更ス

尙本變更契約書ハ參通ヲ作成シ愛媛縣及 郡 村長 於テ各壹通ヲ所持シ壹通ヲ政府ニ提出スルモノトス

昭和 年 月 日  
愛媛縣知事 郡 村長



# 愛媛縣訓令 第三號

市町村負債整理委員會

九四

## 農村負債整理ニ關スル件

負債ノ重壓ニ更生ノ意氣沮喪セル農林漁家ヲシテ家運再興ノ計畫ヲ樹テ回生ノ希望ニ耀カシメテ自奮更生ノ精神ヲ作興スルハ農村更生ノ基調ヲ成スモノニシテ昭和八年農村負債整理組合法ノ制定セラレタル其ノ趣旨實ニ茲ニ在リ  
今ヤ農村ノ經濟事情ハ同法制定當時ト稍異ナルモノアリト雖モ時局ハ重大ニシテ益々農村對策ノ徹底ヲ圖リ一人ノ失意者ナク隣佑相扶ケ互ニ相勵ミ經濟更生計畫ヲ如實ニ實現シ統後農村ノ護リヲ固ウスルノ要切ナルモノアリ曩ニ農村負債整理資金特別融通及損失補償法ヲ施行シ負債整理資金融通ノ途ヲ擴張セラレタルモ亦意議更ニ新ナルモノアリ宜シク左ノ農村負債整理事務取扱心得ニ由リ農村負債整理事業ノ普及徹底ニ努メララルベシ

昭和十三年二月五日

愛媛縣知事 古川 靜 夫

## 農村負債整理事務取扱心得

第一條 負債整理ハ誠實勤勉ニシテ自奮更生ノ熱意ヲ有シ經濟更生計畫及負債償還計畫ヲ樹立スルコトヲ得ル見込アル者ハ限リ之ヲ爲サシムベシ

第二條 負債整理ハ成ルベク一世帯ヲ一體トシテ之ヲ爲スベシ

第三條 負債整理ハ債務者ノ經濟更生ヲ目的トスベキモノナルヲ以テ之ニ必要ナル限度ニ於テ其ノ者ノ負債ノ條件緩和ヲ伴ハ

シメ其ノ限度ヲ超エ不當ニ債權者ノ利益ヲ害スルコトナカラシムベシ

五千圓以上ノ負債償還資金ノ貸付ヲ受クルニ非ザレバ負債ノ條件ヲ緩和シ負債整理ノ目的ヲ達成スルコト能ハザル場合ニ於テハ之ヲ本取扱心得ニ依ル負債整理ヨリ除外セシムベシ

第四條 負債整理ハ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ヲ害セザル様之ヲ爲サシムベシ官廳ノ監督ヲ受ケテ金融業務ヲ取扱フ者ニ對スル負債ノ整理ニ就テハ其ノ業務ノ機構ヲ害スル虞アル整理ノ方法ハ之ヲ避ケシムベシ

第五條 經濟更生計畫ハ進取且ツ堅實ヲ旨トシ左ノ各號ニ依リ之ヲ樹立セシムベシ

一 業務ノ改良發展ヲ企圖シ殊ニ副業兼業等ニ意ヲ用ヒ土地水面勞力等ノ利用ノ集約ト經營上ノ危險ノ分散トヲ圖リ以テ將來ニ於ケル收入ノ恒久的増加ト其ノ安定トヲ期スルコト

二 生活ノ改善、豫算生活、收支ノ記帳、備荒貯蓄、保險及共濟施設ノ利用等ニ依リ支出ノ合理的調整、家計ノ整理、生活ノ安定等ヲ期スルコト

三 將來ニ於ケル負債ノ累積ヲ防止スル爲メ負債整理後ニ於ケル資金ノ借入ヲ制限スル等之ヲ合理的ナラシムルコト

四 産業組合、漁業組合、農事實行組合、養蠶實行組合其ノ他農山漁村ノ共同施設ノ利用ニ努ムルコト

五 農山漁村ノ經濟更生計畫ト密接ナル連絡ヲ保ツコト

第六條 負債償還計畫ハ左ノ各號ニヨリ之ヲ樹立セシムベシ

一 經濟更生計畫ヲ基調トスルコト

二 經濟更生活上不要ナル財産ハ適當ノ時機及方法ヲ選ビテ之ヲ處分シ負債ノ償還資金ニ充テシムルコト

三 原則トシテ二十年以内ノ期間ニ財産處分ニ因ル收入及年々ノ收支ノ餘剰金ヲ以テ一切ノ既存ノ負債(既存ノ負債ノ償還ノ爲メニ負ヒタルモノヲ含ム)ヨリ免脱セシムルコトヲ目標トスルコト

第七條 負債ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ斡旋ハ經濟更生計畫及負債償還計畫ニ基キ債權者及債務者ノ互讓協調ニ依リ嚴正公



平ヲ旨トスベシ

第八條 負債整理ヲ爲シタル者ヲシテ必ズ其ノ業務及家計ニ關スル收支ニ付記帳ヲ爲シ之ヲ保存セシムベシ

第九條 負債整理組合ノ役員ハ原則トシテ名譽職タラシメ且ツ其ノ事業ハ可及的役員及組合員ノ勞務奉仕ニ依リ之ヲ執行セシムベシ

第十條 負債整理組合及農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ規約又ハ之ニ準ズルモノニハ必ズ其ノ組織員ノ全員ヨリノ釀出又ハ共同耕作等ノ作業ニ依リ得タル收益ヲ以テ組合ノ負債償還ヲ目的トスル積立金造成ヲ爲スベキ旨ヲ規定シ之ヲ實行セシムベシ

第十一條 左ノ各號ニ依リ負債整理ヲナス者ノ經濟更生計畫及負債償還計畫ヲ實行セシメ且ツ貸付金ノ回收ヲ容易ナラシムベシ

一 常時其ノ業務ノ經營及家計ノ狀況ヲ監査スルコト

二 産業組合、漁業組合、養蠶實行組合、等ニ委託シテ其ノ取扱ヲ生産物ノ販賣代金中ヨリ負債償還資金ヲ引落シ之ヲ負債整理組合ノ管理ニ移サシムルコト

三 信用組合ト聯絡シ負債償還ノ爲メ月掛貯金ヲ行ハシメ之ヲ負債整理組合ニテ管理セシムルコト

四 産業組合、漁業組合、養蠶實行組合、農會等ト密接ナル聯絡ヲ保チ各種ノ指導及施設ヲナスコト

第十二條 保證責任ノ負債整理組合ニ付テハ持分ノ拂戻ヲ行ハザルモノタラシムベシ已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ持分メ拂戻ヲ行フ組合ト雖モ其ノ額ハ拂込濟出資金ノ範圍ニ止メシムベシ

第十三條 負債整理組合ノ餘裕金ハ郵便貯金、産業組合中央金庫若ハ信用組合ヘノ貯金又ハ銀行預金トシテ管理セシムベシ

第十四條 市町村長ハ負債整理組合設立認可申請アリタル場合ハ左ノ事項ヲ調査副申スベシ

一 組合地區ハ協同一致負債整理事業ヲ完成スルニ適當ナリヤ否

二 組合地區内住民ハ協同性ニ富ムヤ否

三 組合地區内ノ世帯主中組合ニ加入セザル者ノ加入セザル理由

四 組合員ノ義務觀念竝ニ自奮更生精神ノ強弱

五 負債ノ條件緩和方針ハ公序良俗ヲ害セズ且ツ金融機關ノ機構ニ重大ナル脅威ヲ與フルコトナキヤ否

六 負債整理資金融通ニ關シ市町村又ハ信用組合ニ於テ同意スルヤ否

七 理事監事タルベキ者ノ性及社會的地位信用

八 事務擔當者タルベキ者ノ經歷

九 加入同意者ノ數及保證責任組合ニ在リテハ出資口數

前項ノ規定ハ信用組合其ノ他勅令ヲ以テ定ムル法人ヨリ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依ル負債整理事業ノ認可申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 市町村負債整理委員會ノ設置ナキ市町村ノ市町村長ハ農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第二條ニ依リ知事ノ承認ヲ受ケテ日本勸業銀行ヨリ特別融通ヲ受ケ負債整理ヲ行フ者ノ經濟更生計畫及負債償還計畫ノ樹立實行ノ指導ヲ行フベシ

第十六條 市町村長農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第二條ニ依リ日本勸業銀行ヨリ特別融通ヲ受クル爲メ其ノ承認願ノ提出アリタル場合ハ左ノ事項ニ付調査副申スベシ

一 出願者ノ居住地ニ負債整理組合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ナキ場合ニハ將來負債整理組合ノ設立又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ信用組合其ノ他勅令ヲ以テ定ムル法人ノ負債整理事業開始ノ見込ノ有無

二 農村負債整理組合法及農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第二十九條ノ承認願添附書類ニ對スル意見



- 三 本人ノ性行、信用及勤怠
- 四 經濟更生計畫樹立實行ノ見込確實ナリヤ否
- 五 負債整理ヲ爲サシムルコトノ可否

第十七條 市町村長ハ農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第二十三條ニ依リ勸業銀行ニ對スル借入申込書ノ提出アリタル場合ハ其ノ適否ニ付意見ヲ副申スベシ

第十八條 市町村農村負債整理資金ノ特別融通ヲ爲サントスルトキハ負債整理資金特別融通條件其ノ他必要ナル一切ノ事項ヲ規定スベシ

前項ノ規則中ニハ左ノ規定ヲ設クベシ

- 一 特別融通ヲ受クルコトヲ得ベキモノハ次ノ條件ニ適合スル負債整理組合又ハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ニ限ルノ規定
  - イ、保證責任ノ負債整理組合ニアリテハ持分ノ拂戻ヲ行ハザルモノ
  - ロ、負債整理資金償還ノ爲ニスル積立金ヲ爲スモノ
  - ハ、負債整理ヲ爲シタル者ヲシテ其業務及家計ニ付記帳ヲ爲サシメ經濟更生計畫及負債償還計畫ノ實行ヲ指導監査スルモノ
  - ニ、負債整理ヲ爲シタル者ヲシテ其ノ生産物ヲ産業組合、漁業組合等ニ委託販賣セシメ販賣代金中ヨリ負債償還資金ヲ引落シ之ヲ管理スルモノ
  - ホ、信用組合等ト聯絡シ負債償還資金月掛貯金ノ斡旋ヲナシ其ノ貯金ヲ管理スルモノ
  - 二 一組員(又ハ一組織者)ニ對スル特別融通ニ依ル資金ヲ以テスル貸付最高限度ハ市町村ノ承認ヲ受ケシムル規定
  - 三 負債整理組合ノ餘裕金ハ郵便貯金、産業組合中央金庫若ハ信用組合ヘノ貯金又ハ銀行預金トシテ管理スベキコトノ規定
- 第十九條 市町村長市町村負債整理委員會ヲ設置スルノ必要アリト認ムルトキハ其ノ事由委員ノ定數並委員タルニ適當ナル者

ノ氏名略歴ヲ附シ之ヲ具申スベシ

第二十條 市町村負債整理委員會委員其職ヲ辭セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ會長ヲ經テ之ヲ願出ズベシ

第二十一條 市町村負債整理委員會長ガ委員ノ改任又ハ補充ヲ要スルトキハ委員タルニ適スル者ノ氏名住所略歴ヲ付シ之ヲ具申スベシ

第二十二條 市町村負債整理委員會令第十四條ノ調書ハ様式第一號ニ依リ之ヲ作成スベシ

第二十三條 市町村負債整理委員會ハ前年四月一日ヨリ三月三十一日迄ノ間ニ於ケル事業ノ狀況ヲ様式第二號ニ依リ毎年四月末日迄ニ知事ニ報告スベシ

第二十四條 農村負債整理組合法、農村負債整理資金特別融通及損失補償法及之ニ基ク命令ニ依リ町村長ヨリ又ハ町村長經由知事ニ提出スベキ書類及本訓令ニ依リ知事ニ提出スベキ書類ハ字和支廳管轄區域内ニ在リテハ支廳長ヲ經由スベシ

様式第一號

調書

請求者	何々負債整理組合
代表者	何 某
申出人	何 某
相手方	何 某

右當事者間ノ昭和 年 第 號負債整理斡旋事件ニ付左記ノ通負債ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ斡旋ヲ爲シタリ

記

- 一、關係人ノ主張
- 二、斡旋ノ經過



三、斡旋ノ結末

昭和 年 月 日

斡旋委員

某 ㊦

〃 〃

〃 〃

右調書記載ニ付關係人ノ承諾ヲ得タリ

昭和 年 月 日

斡旋委員

某 ㊦

〃 〃

〃 〃

様式第二號

一、條件緩和斡旋狀況

(イ)

前年度 請求 繰越	未着手		員 債務者 名	債 權者 名	件 數	金 額	備 考
	未解決	計					

翌年度 ニ繰越	未着手		員 債務者 名	債 權者 名	件 數	金 額	備 考
	未解決	計					

(ロ)

斡旋受理累計	員 債務者 名	債 權者 名	件 數	金 額	備 考

(注意) 前二表共負債整理組合(農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ヲ含ム)ノ組合員ニ關スルモノト然ラザルモノニ關スル分トハ各別表ニ作成スルコト



(六)

條件ノ種類	件	數	金	額	備	考
元金ノ低減		件		圓		
利息ノ減免						
利率ノ低減						
償還期限ノ延長						
割賦償還ニ變更						
其ノ他						

(注意) 一、一債務ニシテ數種ノ條件ニ亙ル緩和ヲ爲シタルトキハ各條件毎ニ一件トシテ計算スルコト

二、利息ノ減免欄ニハ協定成立ノ時以前ノ利子ノ減免ヲ記入シ協定成立後ノ利子切下ゲハ利率ノ低減欄ニ記入ノコト

### 市町村負債整理委員會經費補助規則

(昭和八年十一月二十八日) 愛媛縣令 第五九號

- 第一條 農村負債整理組合法ニ依リ設ケタル市町村負債整理委員會ノ費用ヲ負擔スル市町村ニ對シ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス
- 第二條 補助金額ハ一市町村ニ對シ百圓以内トシ事業成績等ヲ參酌シテ知事之ヲ定ム但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ百圓ヲ超ヘ交付スルコトアルベシ
- 第三條 補助金ヲ受ケントスル市町村ハ申請書ニ所要經費ノ收支豫算書ヲ添附シ前年度一月末日迄ニ知事ニ之ヲ提出スベシ前項ノ收支豫算書ヲ變更セントスルトキハ知事ノ認可ヲ受クベシ
- 第四條 本補助金ハ本則ニ違反シテ他ノ經費ニ流用スルコトヲ得ズ
- 第五條 本補助金ヲ受ケタル市町村ハ翌年四月末日迄ニ別記様式ニ依ル市町村負債整理委員會ノ收支決算書並ニ事業成績書ヲ各二通知事ニ提出スベシ
- 知事ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ
- 第六條 補助金ヲ受ケタル市町村左記各號ノ一ニ該當スルトキハ補助指令ヲ取消シ又ハ補助金ノ全部又ハ一部返還ヲ命ズルコトアルベシ
  - 一 本則又ハ本則ノ規定ニ基キ發シタル命令ニ違反シタルトキ
  - 一 市町村負債整理委員會ノ事業ノ施行經理ノ方法不適當ト認メタルトキ
  - 一 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附 則



本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第三條ノ申請期日ハ昭和八年度ニ限り同年十二月末日迄トス  
 第五條ニヨル報告様式

一、收支決算書 (愛媛縣 市郡 村町)

收 入		支 出	
前年度繰越金	圓	設 立 費	圓
縣 補 助 金		委 員 手 當	
.....		委 員 旅 費	
.....		委 員 日 當	
.....		.....	
.....		.....	
一 般 收 入 (市町村支出額)		.....	
計		計	

差引翌年度繰越金

備考 (一) 前年度繰越金ハ前年度分決算ノ結果縣補助金等特定收入ノ總額ガ支出總額ヲ超ユル金額ニシテ前年度ヨリ繰越シタルモノヲ掲クルコト  
 (二) 一般收入ハ特定收入ノ不足額ヲ掲クルモノトス但シ特別會計ト爲シタルモノハ一般經濟ヨリ繰入レタル金額トス

二、事業成績書

- (一) 負債整理委員會ノ委員數
- (二) 負債ノ條件緩和ニ關スル前年度繰越及本年度請求ノ件數並各金額

前年度 請求 繰越	件 數		金 額		備 考
	未着手	未解決			
計					事件關係債權者數 事件關係債務者數
本年度請求					
合 計					

備考 未解決欄ニハ着手後解決ニ至ラザルモノヲ記載ノコト

- (三) 年度内ニ於ケル負債條件緩和ノ斡旋、事件ノ却下、解決及未決ノ件數並金額

本年度内事件ノ却下 本年度内協定ノ成立	件 數		金 額		備 考
	未着手	未解決			
全 協定不成立					事件關係債權者數 事件關係債務者數
翌年					
度ニ					



繰越	計			
合	計			

備考 未解決欄ニハ着手後解決ニ至ラザルモノヲ記載ノコト  
右協定成立ノ條件別ノ件數及金額左ノ如シ

條件ノ種類	件數	金額
元金ノ低減		
利息ノ減免		
利率ノ低減		
償還期限ノ延長		
割賦償還ニ變更		
其他		

備考 一、一債務ニシテ動種ノ條件ニ亘ル緩和ヲ爲シタルトキハ各條件毎ニ一件トシテ計算スルコト  
二、利息ノ減免欄ニハ協定成立ノ時以前ノ利子ノ減免ヲ記入シ協定成立後ノ利子切下ダハ利率ノ低減欄ニ記入ノコト  
(四) 其ノ他ノ事業ノ狀況

### 登録税法施行規則 (關係條文抜萃)

(沿革) 明治三十八年三月勅令第七七號  
昭和八年七月三十一日勅令第二〇六號  
昭和十二年十二月一日勅令第七〇〇號改正

登録税法施行規則中左ノ通改正ス

第五條ノ六 左ノ各號ノ一ニ該當スル登記ニシテ其ノ該當スルコトニ付地方長官ノ證明アルモノニハ登録税法第十九條、第八號、第十五號第十六號又ハ第十七號ノ規定ニ依リ登録税ヲ免除ス

一 負債整理組合(農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ヲ含ム以下同ジ)ノ農村負債整理組合法第十一條第二號ノ規定ニ依ル負債整理ノ爲ノ資金ノ貸付ニシテ第五條第一號ニ掲グル事項ニ付同條第一號ノ場合ト同一ノ條件ヲ以テ行フモノニ依ル個人ノ土地所有權ノ取得ノ登記

二 市町村、産業組合中央金庫、信用組合、日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行又ハ負債整理組合ノ負債整理ノ爲ノ資金貸付ノ場合ニ於ケル抵當權ノ取得ノ登記

三 負債整理ノ爲ノ資金ノ貸付ヲ受ケタル者ガ其ノ貸付ノ條件ヲ具備セザルニ至リタル場合ニ於ケル市町村、産業組合中央金庫、信用組合又ハ負債整理組合ノ所有權ノ取得ノ登記

四 負債整理組合ノ農村負債整理組合法第七條第二項ニ規定スル場合ニ於ケル土地所有權ノ取得ノ登記

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



# 不動産登記法施行細則（關係條文拔萃）

昭和八年七月三十一日司法省令第三十一號  
昭和九年六月司法省令第八號  
昭和十二年十一月三十日司法省令第三十三號 改正

不動産登記法施行細則中左ノ通改正ス

第四十四條ノ三 登録税法施行規則第五條又ハ第五條ノ六ノ規定ニ依リ登録税ノ免除ヲ受ケントスル者ハ登記ノ申請書ニ左ノ

各號ニ從ヒ附屬書類ヲ添付スベシ

一 登録税法施行規則第五條第一號ノ場合ニ於テハ同號ニ該當スル施設ナルコトノ地方長官ノ證明及ビ資金ノ貸付證書又ハ貸付ヲ爲シタル北海道府縣市町村、産業組合若クハ産業組合聯合會ノ認證シタル貸付證書ノ謄本

二 登録税法施行規則第五條第一號ノ場合ニ於テハ同號ニ該當スル施設ナルコトノ地方長官ノ證明書及ビ資金ノ貸付證書又ハ貸付ヲ爲シタル北海道府縣ノ認證シタル貸付證書ノ謄本

三 登録税法施行規則第五條第二號ノ場合ニ於テハ同條第一號又ハ第二號ニ該當スル施設ナルコトノ地方長官ノ證明書

四 登録税法施行規則第五條第四號ノ場合ニ於テハ同條第一號又ハ第二號ニ該當スル施設ナルコト及ビ登記義務者ガ資金ノ貸付ヲ受ケタル者ニシテ貸付ノ條件ヲ具備セザルニ至リタルモノナルコトノ地方長官ノ證明書

五 登録税法施行規則第五條ノ六第一號ノ場合ニ於テハ同號ニ該當スルコトノ地方長官ノ證明書及ビ資金ノ貸付證書又ハ貸付ヲ爲シタル負債整理組合若クハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ認證シタル貸付證書ノ謄本

六 登録税法施行規則第五條ノ六第二號、第三號又ハ第四號ノ場合ニ於テハ其各號ニ該當スルコトノ地方長官ノ證明書

## 農村負債整理特別融通資金融通條件

一 融通ノ形式

(イ) 市町村債ノ引受ニ依ル

(ロ) 市町村ハ右ニ依リ得タル資金ヲ負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ信用組合其ノ他ノ法人ニ貸付クルモノトス

二 融通利率

(イ) 大藏省預金部ノ市町村ニ對スル融通利率ハ年三分八厘トス

(ロ) 市町村ハ利鞘ヲ徵スルコトヲ得ズ

(ハ) 負債整理組合及負債整理事業ヲ行フ信用組合其ノ他ノ法人ノ貸付利率ハ年四分一厘以内トス

三 償還期限

二十ヶ年以内(五ヶ年以内ノ据置期間ヲ含ム)

四 元利支拂期日

大藏省預金部ニ對スル元利金支拂期日ハ毎年二月一日及八月一日トス



### 農村負債整理特別融通資金取扱要項

- 一 市町村が農村負債整理資金特別融通及損失補償法第一條ノ規定ニ依リ負債整理組合（農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ヲ含ム以下同ジ）ニ對シ本資金ヲ以テ特別融通ヲ爲スノ必要アリト認ムル場合ニ於テ預金部資金局支局出張所長ノ要求アリタルトキハ市町村長ハ當該市町村ノ財政狀況調二通ヲ提出スベシ
- 二 本資金ヲ借入レントスル市町村ハ預金部資金供給稟請書（第一號様式）ニ左ノ書類ヲ添附シ預金部資金局支局長及地方長官ニ提出スベシ
  - (1) 起債決議書寫（起債許可稟請當時ノ決議書ノ寫（當初決議ヲ變更シ許可稟請シタル場合ハ當初決議書寫及變更決議書寫ヲ添附スルコト）タルコト及起債許可稟請年月日ヲ附記スルコト）
  - (2) 起債許可書寫
  - (3) 負債整理組合ニ對スル貸付條件ヲ記載シタル書類（第二號様式）
  - (4) 供給稟請ヲ爲シタル資金ヲ貸付セントスル負債整理組合ニ關スル調査（第三號様式）又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ニ關スル調査（第四號様式）
  - (5) 負債整理事業計畫書寫（昭和十三年三月五日愛媛縣令第十一號ノ第十九條ニ依ルコト）
- 三 預金部資金局支局長地方長官ト協議ノ上本資金供給額ヲ決定シタルトキハ之ヲ當該市町村ニ通知スルモノトス
- 四 前各號ニ定ムルノ外預金部普通地方資金融通規則第十六條第十七條第二十條乃至第二十三條及第二十五條乃至第二十八條ノ規定ハ本資金ノ融通ニ付之ヲ準用ス但シ第二十二條ニ依ル毎月貸付報告書ハ第五號様式ニ依ル
- 預金部普通地方資金融通規則第二十條乃至第二十二條ノ規定ハ市町村ヨリ本資金ノ融通ヲ受ケタルモノニ之ヲ準用ス
- 五 第二號及第四號ノ規定ニ依リ預金部資金局支局ニ提出スベキ書類ハ預金部資金局支局ノ出張所ノ設アル區域ニ於テハ同出張所ヲ經由スベシ

#### 第一號様式

##### 預金部資金供給稟請書

- 一 資金 名 農村負債整理特別融通資金
  - 一 金額 何 圓
  - 一 道府縣トノ特別融通損失補償契約ニ於ケル貸付限度 何 圓
  - 一 資金ノ用途 左ノ通轉貸
    - 何々負債整理組合 何 圓
    - 何々負債整理組合 何 圓
  - 一 償還方法 年賦
  - 一期 限 何年二月（又ハ八月）一日迄据置何年八月（又ハ二月）迄ニ償還
- 右供給相成度此段及稟請候也

年 月 日

資金供給稟請者 縣 郡 市町長 氏 名 印

預金部資金局廣島支局長 愛媛縣知事 氏 名 宛

（註）一、本稟請書ハ名宛毎ニ各別ニ調製スルコト

#### 第二號様式



貸付条件調書

- 一 貸付先 何々負債整理組合
- 一 貸付金額 何 圓
- 一期 限 何年何月迄据置何年何月迄ニ回收
- 一元利金ノ償還ヲ受クベキ期日

何 月 何 日  
何 月 何 日

第三號様式

負債整理組合ニ關スル調書

縣 郡 村町市 何々負債整理組合

(何年何月何日調)

- 一 設立認可年月日
- 二 組合ノ納入状況

(註) 一 本調書ハ市町村負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ニ對シ今回供給稟請ヲ爲シタル資金ヲ貸付ケントスル條件ヲ記載スルコト  
二 本調書ハ轉貸先ノ異ナル毎ニ各別ニ調製スルコト

本年	度	組合費	組合費	累計
總額	現在迄ニ納スベキ額	納入額	總額	納入額
圓	圓	圓	圓	圓

- (註) 一 本年度組合費欄中總額欄ニハ總會ニ於テ決議シタル組合費總額ニ付記載スルコト  
二 現在迄ニ納入スベキ額ノ欄ニハ總會ノ決議ニ依リ本供給稟請書ヲ提出スル時迄ニ納入スベキ額ヲ記載スルコト  
三 組合費累計欄中總額欄ニハ既往年度ノ組合費ト本年度組合費ニシテ供給稟請書ヲ提出スル時迄ニ納入スベキ額トノ合計ヲ記載スルコト

三 出資拂込状況

出資口動	出資總額	前年度未現在拂込額	本年度内拂込額	本年度内拂戻額	現在拂込済額	保證金額
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

四 各種積立金積立状況 (イ) 負債償還積立金

前年度未現在	本年度	度分	本年度處分	現在
現在迄ニ積立ツベキ額	積立タル額	圓	圓	圓



(ロ) 損失補填積立金

前年度末現在額	本年度積立額	本年度處分額	現在額
圓	圓	圓	圓

- (註) 一 前年度末現在額欄ニハ前年度ノ決算ニヨリ積立又ハ處分ヲ爲サザル金額ヲ記載スルコト  
 二 本年度積立額及本年度處分額欄ニハ前年度末決算ニ依リ積立又ハ處分ヲ爲シタル金額ヲ記載スルコト  
 三 負債償還積立金ノ繰出未済額アルトキハ其ノ金額及處理方法ヲ餘白ニ記載スルコト

五 借入金償還状況調

借入先	資金名	借入		當初借入額	現在額	利率	期限	元利延滞額
		年月日	目的					
		圓	圓	圓	圓	分厘		元利延滞額
								元利延滞額
								元利延滞額

(註) 一 本調ニハ預金部資金以外ノ借入金ニ付テモ之ヲ記載スルコト

二 現在額ニハ延滞元金ヲ含マシムルコト

六 貸付金ノ回收状況調

貸付金額	貸付人員	回收済額		延滞額		摘要
		元金	利息	元金	利息	
圓	人	圓	圓	圓	圓	

(註) 一 本調ニハ現在貸付金ノ存スル組合ニ限リ調製スルコト

二 貸付金額及貸付人員ノ欄ニハ貸付當初ノ金額及人員ヲ記載スルコト

三 回收済額及延滞額ノ欄ハ供給稟請書提出ノ時現在ニ依リ記載スルコト

七 借入最高限度

昭和何年度中ニ於ケル借入最高限度 何 圓

(總會決議ノ年月日) 何年何月何日)

八 一組合ニ對スル貸付最高限度

(總會決議ノ年月日) 何年何月何日)

(イ) 農村負債整理組合法施行規則第二十二條ニ依ルモノ

(ロ) 農村負債整理資金特別通及損失補償法施行規則第四條ニ依ルモノ

九 負債整理方法

(イ) 組合員ノ經濟更生計畫ノ概要

氏名	計畫期間	計		差引殘額	現狀ニ於ケル過不足
		收入	支出		
		圓	圓	圓	圓



- (註) 一 本書ハ現金收支ニ付記載スルコト  
 二 計畫欄ニハ經濟更生計畫年度中ノ平均額ニ依リ記載スルコト  
 三 現状ニ於ケル過不足欄ニハ本計畫樹立前一箇年間ノ收支過不足額ヲ記載スルコト  
 四 負債償還元利金ハ支出ノ欄ニ内書傍書スルコト

(ロ) 組合員ノ負債償還計畫ノ概要

氏名	區分	償還期		償還所要額		償還財源	
		預金部資金ニ依ル借入金	同上以外ノ借入金	預金部資金ニ依ル借入金	同上以外ノ借入金	不要財産處分	收支剩餘金

(註) 一 償還所要額ハ各債務分償還最終期迄ノ元利合計ヲ記載スルコト  
 二 收支剩餘金ハ債務ノ最終償還年度迄ノ合計ヲ記載スルコト  
 三 預金部資金以外ノ借入金ノ償還所要額ニハ農村負債整理組合法第二條ニ該當セザル負債ノ分ヲ内書スルコト

(ハ) 負債條件緩和及預金部資金内見込額調

氏名	區分	農村負債整理組合法第二條ノ負債		條件緩和ヲ爲シタル負債		預金部資金ニ依ル内見込額
		件數	金額	件數	金額	

合計						
----	--	--	--	--	--	--

- (註) 一 本書ハ今回供給稟請ヲ爲シタル資金ニ依リ負債ヲ整理セシメントスル要整理組合員ニ付調製スルコト  
 二 自作農創設維持資金、農山漁村失業救済資金、災害復舊資金、養蠶應急資金及肥料資金等政府資金ニ依ル借入金ナルコト明瞭ナルモノハ農村負債整理組合法第二條ノ負債ヨリ除外シ之ヲ摘要欄ニ記載スルコト  
 三 條件緩和後ノ金額ノ欄ニハ預金部資金ヲ内入セザル以前ノ金額ヲ記載スルコト  
 四 條件緩和ノ協定斡旋中ノ負債ハ見込ニ依リ夫々緩和ヲ爲シタル負債又ハ爲サザル負債ノ欄ニ合算記入シ内書傍書スルコト  
 五 延滞利子ハ負債金額中ニ合算スルコト  
 六 摘要欄ニハ條件緩和ヲ爲サザルモノニ付其ノ理由ヲ記載スルコト

(ニ) 土地購入ニ關スル所要資金調

(1) 田畑

氏名	所有土地		所有田畑見積金額		購入土地		田畑購入價額		所要資金	摘要
	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑		



(2) 宅地

氏名	所有宅地	見積有宅地	購入宅地	宅地購入價額	所要資金	摘要
	坪	坪	坪	圓	圓	

(註) 一 氏名ノ欄ニハ土地購入者ノ氏名ヲ記載スルコト  
 二 摘要欄ニハ土地購入先毎ニ購入價額ヲ明記スルコト

第四號様式

(何年何月何日調)

負債整理事業ヲ行フ法人ニ關スル調書

縣 郡 市町村 何々組合

- 一 設立認可年月日
- 二 負債整理事業認可年月日
- 三 負債償還積立金ノ積立狀況

前年度末現在	本年	度	積立タル額	本年度處分	現在額
	現在迄ニ積立ツヘキ額	分			

(註) 負債償還積立金ノ釀出未済額アルトキハ其ノ金額及處理方法ヲ餘白ニ記載スルコト

四 借入最高限度

昭和何年度 (自昭和何年何月至昭和何年何月)

中ニ於ケル借入最高限度 何 圓

五 一組員ニ對スル貸付最高限度

(總會決議ノ年月日 何年何月何日)

(イ) 農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則第四條ニ依ルモノ

(ロ) 其ノ他ノモノ

六 借入金ノ償還狀況調

借入先	資金名	當初借入額	借入現在額	利率	借入年月日	最終償還期日	使用目的	延滞金額
		圓	圓	分厘				
合計								元子金 圓

(註) 一本調ニハ預金部資金以外ノ借入金ニ付テモ之ヲ記載スルコト



二 現在額ニハ延滞元金ヲ含マシムルコト  
七 預金部資金ニ依ル貸付金ノ回收状況調

資金名	貸付金額	貸付人員	回收済額		延滞額		摘要
			元金	利子	元金	利子	
合計	円	人	円	円	円	円	

(註) 本調ニハ自己ノ事業ニ使用シタルモノヲ除ク以外ノ特殊ノ資金例ハ本資金、肥料資金、養蠶應急資金等ノ貸付金ニ付之ヲ記載スルコト

八 負債整理方法

- (イ) 組合員ノ經濟更生計畫ノ概要
  - (ロ) 組合員ノ負債償還計畫ノ概要
  - (ハ) 負債條件緩和及預金部資金内入見込額調
  - (ニ) 土地購入ニ關スル所要資金調
- (註) (イ)乃至(ニ)ノ四表ハ第九號ノ一様式中「九、負債整理方法」ニ依リ之ヲ調製スルコト

第五號様式

年 月 日

縣 郡 市町村

市長 氏

名

大藏大臣  
農林大臣  
地方官  
預金部資金局長  
大臣 氏 名 宛

預金部農村負債整理特別融通資金貸付報告書別紙ノ通報告候也  
預金部農村負債整理特別融通資金貸付報告書

(昭和 年 月分)

貸付先 名稱所在地	貸付年月日	貸付金額	償還方法及期限		貸付利率	元拂期日	摘要
			据置期限	償還期限			
			年 月 日	年 月 日			
合計							
大藏省預金部ヨリ借入額							
貸付残額							



- (註) 一 貸付残額ニハ大藏省預金部ヨリ借入額ト貸出額トノ差額ヲ掲グルコト
- 二 摘要欄ニハ本資金ノ貸付ガ負債整理ノ爲ナリヤ土地購入ノ爲ナリヤ明記スルコト從テ一口ノ貸付ニシテ右兩用途ヲ含ムトキハ其ノ金額ヲ夫々掲記スルコト
- 三 本報告書ハ名宛人毎ニ各別ニ調製シ且六大都市以外ノ市町村ガ大藏大臣ニ提出スルモノハ預金部資金局支局ヲ經由スルコト

參照

預金部普通地方資金融通規則

第十六條 地方公共團體又ハ水利組合第六條ノ規定ニ依ル預金部資金ノ借入申込ニ對シ資金割當ノ通知ヲ受ケタル場合ニ於テ現金ノ交付ヲ受ケントスルトキハ預金部資金交付申請書(第三號様式)ニ起債決議書寫、起債許可書寫及償還年次表ヲ添ヘ道府縣又ハ六大都市ニ在リテハ預金部資金局ニ、六大都市以外ノ市町村市町村組合、町村組合又ハ水利組合ニアリテハ預金部資金局支局ニ之ヲ提出スベシ但シ資金ノ交付ヲ受ケベキ期日ハ預金部資金交付申請書發送ノ日ヨリ二十日以上ノ餘日ヲ存スルコトヲ要ス

第十七條 地方公共團體又ハ水利組合、日本銀行(本店支店又ハ代理店ヲ含ム以下同シ)ヨリ現金ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ト引換ニ地方債證券、水利組合債證券(第四號様式)又ハ借用證書(第五號様式)ヲ日本銀行當該店ニ提出スベシ

前項ニ依リ地方公共團體又ハ水利組合ガ日本銀行代理店ニ地方債證券、水利組合債證券又ハ借用證書ヲ提出スル場合ニ於テハ之ガ送付書ヲ添附スベシ

第二十條 日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本興業銀行、産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫前條ノ規定ニ依リ貸付資金ノ交付ヲ受ケタルトキ速ニ貸付ヲ爲スベシ

第二十一條 日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本興業銀行、産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫預金部資金ノ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ債務者トノ間ニ締結スル貸借契約ニ借入金ノ預金部資金ナルコト並ニ借入金使用ノ目的ヲ明示シ且左ノ事

項ヲ定ムベシ

一 債務者ガ其ノ借入金ヲ資金供給ノ目的以外ニ使用シタルトキ又ハ借入後長期ニ互リ資金供給ノ目的ノ爲ニ使用セザルトキハ之ヲ返還スルコト

二 預金部資金局ハ債務者ニ就キ隨時調査ヲ爲シ又ハ報告ヲ徴スルコトアルベキコト

第二十二條 日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本興業銀行産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫ニ於テ其ノ交付ヲ受ケタル預金部資金中不用トナリタルモノアルトキ又ハ本資金ニ依リ貸付金ノ返済高ガ大藏省預金部ニ對スル償還豫定高ヲ超過シタルトキハ最近ノ元利金支拂期日ニ於テ該不用額又ハ超過額ニ相當スル金額ヲ償還スベシ但シ債券發行ニ依リ資金ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テハ券面額ニ滿チザル端數ハ之ヲ次期ノ計算ニ繰越スコトヲ得

第二十三條 日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本興業銀行、産業組合中央金庫ニ於テ預金部資金ノ貸付ヲ爲シタルトキハ一口毎ニ區別シテ毎月之ヲ報告スベシ

前項ノ報告書ハ第二條第一號ノ資金ニ關スルモノハ大藏大臣、内務大臣及地方長官ニ第二號ノ資金ニ關スルモノハ大藏大臣、厚生大臣及地方長官ニ、第三號乃至第七號ノ資金ニ關スルモノハ大藏大臣、農林大臣及地方長官ニ第八號乃至第十號ノ資金ニ關スルモノハ大藏大臣、商工大臣及地方長官ニ第十一號ノ資金ニ關スルモノハ大藏大臣及地方長官ニ提出スベシ

第二十五條 六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合及水利組合其ノ融通ヲ受ケタル預金部資金ノ元金ノ償還又ハ利子ノ支拂ヲ爲セントスルトキハ當該融通金ノ交付ヲ取扱ヒタル日本銀行ニ對シ預金部資金元利金拂込内譯書(第八號様式)ヲ添ヘテ送金シ預金部資金局支局ニ之ニ關スル預金部資金元利金支拂計算書(第九號様式)ヲ送付スベシ

第二十六條 地方公共團體又ハ水利組合其ノ融通ヲ受ケタル預金部資金ノ繰上償還ヲ爲セントスルトキハ豫メ之ガ事由ヲ具シ變更償還年次表ヲ添ヘ道府縣又ハ六大都市ニ在リテハ預金部資金局ノ承認ヲ、六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合又ハ水利組合ニ在リテハ預金部資金局支局ノ承認ヲ受ケベシ



前項ノ繰上償還期日ハ最近ノ元利金支拂期日トス但シ特別ノ事情アル場合又ハ全額繰上償還ノ場合ニ於テハ豫メ期日ヲ定メ承認ヲ受クベシ

六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合及水利組合預金部資金繰上償還ノ承認ヲ受ケタルトキハ變更償還年次表ニ送付書ヲ添ヘ第十七條第一項ノ日本銀行當該店ニ送付スベシ

第二十七條 日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本興業銀行、産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫ハ其ノ融通ヲ受ケタル預金部資金ニ付別ニ帳簿ヲ設ケ整理スベシ

第二十八條 道府縣、六大都市、日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行、日本興業銀行、産業組合中央金庫又ハ商工組合中央金庫ハ毎年十二月三十一日現在ヲ以テ項金部資金ノ使用狀況報告書(第十號様式)又ハ貸付狀況報告書(第十一號様式)ヲ調製シ翌年二月末日迄ニ預金部資金局支局ニ之ヲ提出スベシ

六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合又ハ水利組合ハ前項ノ報告書各二通ヲ調製シ翌年一月三十一日迄ニ預金部資金局支局ニ之ヲ提出スベシ

第三號様式

(以下様式ハ其儘適用出來ル様便宜改メ置キタリ)

預金部資金交付申請書

- 一 資金 年度 及 資金 名 農村負債整理特別融通資金
- 一 金 額 何 圓
- 一 資 金 ノ 用 途 農村負債整理事業ノ爲メ負債整理組合へ轉貸
- 一 利 率 三分八厘
- 一 資金ノ交付ヲ受クベキ年月日 昭和 年 月 日
- 一 資金ノ交付ヲ受クベキ店名 日本銀行何々店

- 一 据 置 期 限 昭和 年 月 日
- 一 償 還 期 限 昭和 年 月 日
- 一 引換提供スベキ借用證書ノ記番號 第 號

右御交付相成度別紙起債決議書寫起債許可書寫及償還年次表相添へ此段及申請候也

追而資金御交付ノ上ハ本資金ニ關シ預金部資金局ヨリ隨時調査ヲ受ケ又ハ報告ヲ徴セラルルモ何等異議無之ハ勿論本資金ハ速ニ資金供給ノ目的ノ爲ニ使用致スベク萬一右目的以外ニ之ヲ使用シ又ハ借入後長期ニ亘リ使用セザルガ如キコトアル場合ハ直ニ繰上償還ヲ命ゼラルルモ異存無之候

昭和 年 月 日  
資金交付申請者

愛媛縣 郡 市 町 長 何 某 印

預金部資金局廣島支局長 何 某 殿

(註) 資金ノ交付ヲ受クベキ日本銀行ノ店ハ

- (イ) 借受人ガ道府縣及六大都市ナルトキハ日本銀行本店トスルコト
- (ロ) 借受人ガ六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合及水利組合ナルトキハ所在地日本銀行本支店又ハ國庫事務取扱代理店トシ其ノ地ニ該當ノ店ナキトキハ最寄ノ日本銀行本支店又ハ國庫事務取扱代理店トスルコト但シ既ニ大藏省預金部ヨリ直接預金部資金ノ融通ヲ受ケ居レル場合ハ當該資金ノ取扱店トスルコト

第五號様式

第 號



借用證書

一金 圓也

右金額ヲ本日大藏省預金部ヨリ左記條件ヲ以テ借用仕候就而借入條件ヲ堅ク遵守ノ上元利金ハ期日ニ相違無之支拂可致候也  
 追而本資金ニ關シ預金部資金局ヨリ隨時調査ヲ受ケ又ハ報告ヲ徵セラルルモ何等異議無之ハ勿論本資金ハ速ニ資金供給ノ目  
 的ノ爲ニ使用致スベク萬一右目的以外ニ之ヲ使用シ又ハ借入後長期ニ亙リ使用セザルガ如キコトアル場合ハ直ニ繰上償還ヲ  
 命ゼラルルモ異存無之候尙本借用證書ハ預金部資金局ノ請求アル場合ニ於テハ何時ニテモ何等債證券(何等債券)ニ引換可  
 申候

記

- 一 資金ノ用途 負債整理事業ノ爲負債整理組合へ轉貸
- 一 利率 年三分八厘
- 一 元利金支拂方法及時期 別紙償還年次表ノ通償還スルモノトス但シ本資金ニ依ル貸付金返済高ガ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其ノ超過額モ同時ニ償還シ又本資金ノ据置期間中ニ於テ本資金ニ依ル貸付金ノ一部又ハ全部ノ返済アリタルトキハ最近ノ元利支拂期ニ於テ該返済額相當ノ償還ヲ爲スモノトス  
 借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿テザル端數利子ハ借入ノ際ニハ其ノ翌日ヨリ償還ノ際ニハ支拂當日迄日割計算ニ依リ支拂フモノトス
- 一 元利支拂ノ場所 日本銀行何々店

昭和 年 月 日

借受人 愛媛縣 郡 村長 何 某 圓

大藏大臣 氏 名宛

第八號様式

昭和 年 月 日

借受人 愛媛縣 郡 村長 氏 名 圓

日本銀行(支店又ハ代理店)御中

預金部資金元利金拂込内譯書

借入年月日	回別又ハ記號	拂込額		償還券面別枚數	摘要
		利子	元金		
計					

元利金合計 何 圓 何 錢

- 註 一 本内譯書ハ元利金支拂期日ノ異ナル毎ニ又證券ト借入金トノ區分ニ依リ各別紙ト爲シ發行又ハ借入年月日順ニ記入スルコト
- 二 摘要欄ニハ拂込月日償還債券番號其ノ他参考事項ヲ記入スルコト
- 三 借受人ガ大都市以外ノ市町村、市町村組合、市町村組合又ハ水利組合ナル場合ハ氏名ノ肩書ニ道府縣郡名ヲ記載スルコト



第九號様式

昭和 年 月 日

借受人 愛媛縣

郡

村長 氏

名 印

預金部資金局廣島支店長 氏

名 殿

預金部資金元利金支拂計算書

資金名	借入年月日	回数又 ハ記號	借入額	當 初	現在額	利率	利附 期間	支拂所 要額	支拂額	償還券 面別枚 數	摘要
計											

註一 本計算書ハ元利金支拂期日ノ異ナル毎ニ又證券ト借入金トノ区分ニ依リ各別紙ト爲シ發行又ハ借入年月日順ニ記入スルコト

二 摘要欄ニハ拂込月日償還債券番號其ノ他參考事項ヲ記入スルコト

三 借受人ガ六大都市以外ノ市町村、市町村組合、町村組合又ハ水利組合ナル場合ハ氏名ノ肩書ニ道府縣郡名ヲ記載スルコト

第十號様式省略

第十一號様式

昭和 年 月 日

借受人 愛媛縣

郡

町長 氏

名 印

預金部資金局廣島支局長 氏

名 殿

預金部資金ノ資付狀況報告

別紙ノ通及報告候也

(其ノ一)

預金部何々資金貸付狀況明細表

(昭和 年十二月三十一日現在)

貸付先	名稱	所在地	當 初	現 在	貸付金 ノ用途	資金ノ 年度別	貸 付 期 限	還 還 期 限	利率	元利金又 ハ利子支 拂期日	元利金 延滞額	備考
合計												

註一 本表ハ借受人ガ大藏省預金部ヨリ直接融通ヲ受ケタル資金ニシテ他ニ貸付ケタルモノニ付作成スルコト、但シ(以下省略)

二 本表ハ道府縣別及資金別(公共團體普通事業資金、社會事業資金又ハ各種組合普通事業資金)ニ作成シ貸付一件毎



- ニ記載スルコト
- 三 貸付高欄ノ現在額中ニハ元金延滞額ヲ含マシムルコト
- 四 元利金延滞額欄ニハ貸付一件毎ニ元利支拂延滞ノ有無並ニ其ノ金額ヲ元金ト利子トニ區分掲記スルコト
- 五 備考欄ニハ實地調査上參考トナルベキ事項等ヲ記載スルコト以下省略

(其ノ二) 預金部資金ノ借入額及貸出額對照表 (昭和 年十二月三十一日現在)

資金名	年度	區別	借入年月日	償還期限	資金借入高		資金貸出高		差引資	備考
					當初	現在	總貸出額	現在額		
		債券ノ記號又ハ回別			圓	圓	圓	圓		
合計										

註 一 本表ハ大藏省預金部ヨリ直接融通ヲ受ケタル金額ト其ノ貸出額トノ比較表ニシテ資金ノ種類及借入毎ニ記載スルコト

二 備考欄ニハ資金殘額ノ將來貸出見込其ノ他參考事項ヲ記入スルコト以下省略

三 省 略

四 貸付金ノ形式ニ依リ融通ヲ受ケタル資金ニ付テハ債券ノ記號又ハ回別欄ニ貸付金ト明記シ尙借用證書ニ番號アルモノハ其ノ番號ヲモ記入スルコト

### 負債整理組合登記取扱手續 (昭和八年七月三十一日 司法省令第二十九號)

- 第一條 負債整理組合ニ關スル登記ニ付テハ本令ニ別段ニ規程アル場合ヲ除クノ外養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續ヲ準用ス
- 第二條 負債整理組合登記簿ハ附錄第一號様式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製シ登記所ノ請求ニ依リ交付スヘシ
- 第三條 組合原簿ハ無限責任ノ組合ニ在リテハ附錄第二號様式ニ依リ、保證責任ノ組合ニ在リテハ附錄第三號様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 組合原簿ニハ強靱ナル美濃紙ヲ用フルコトヲ要ス
- 第四條 組合原簿ニハ申請人其ノ表紙ニ署名捺印シ且毎葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ申請人カ多數アルトキハ其ノ一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル
- 第五條 組合原簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ
- 第六條 行政官廳ノ認可ヲ要スル事項ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ認可書ノ到達シタル年月日ヲ記載スヘシ
- 第七條 登記又ハ組合原簿ノ記載ノ申請書ニハ總會ノ決議又ハ總組合員ノ同意ヲ要スル事項ニ付其ノ決議又ハ同意アリタルコト、農村負債整理組合法第二十四條第二項ニ於テ準用スル産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ヲモ添附スヘシ第八條農村負債整理組合法第二十條第二項ノ組合原簿ハ前ノ組合原簿ニ之ヲ編綴シ登記官吏其ノ綴目ニ契印スヘシ
- 第九條 組合原簿ノ記載ノ變更ハ其ノ變更欄ニ之ヲ記載シ變更シタル事項ヲ朱抹スヘシ
- 第十條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタル場合ニ於テ組合原簿ノ記載ノ更正ヲ爲スニハ原簿ノ表紙ノ裏面ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ登記官吏之ニ捺印スルヲ以テ足ル



第十一條 組合原簿ニハ其ノ表紙ニ登記番號並ニ受附ノ年月日及番號ヲ記載スヘシ  
 第十二條 組合原簿ノ用紙中變更欄ニ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其ノ組合原簿ニ繼續用紙ヲ編綴シ之ニ契印スヘシ  
 第十三條 登記簿ニ清算終了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

附 則

本令ハ農村負債整理組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス (昭和八年八月一日ヨリ施行)

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續 (昭和六年六月十六日司法省令第十六號  
 昭和七年九月二十八日司法省令第三十九號改正)

第一條 養蠶實行組合及農事實行組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ

第二條 養蠶實行組合登記簿及農事實行組合登記簿ハ附録第一號機式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製シ登記所ノ請求ニ因リ交付スヘシ

第三條 登記簿ニハ豫メ丁數ヲ記入スヘシ

第四條 受附帳ハ附録第二號機式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條 事變ヲ避クル爲メ登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其ノ旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

第六條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其ノ他ノ附屬書類提出ノ命令又ハ送付ノ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其ノ關係アル部分ニ限リ之ヲ送付スヘシ

第七條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滞ナク其ノ事由、年月日、滅失シタル登記簿其ノ他登記ノ回復ニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スヘシ但シ區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

地方裁判所長前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申スヘシ

第八條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類滅失ノ虞アルトキハ詳細其ノ狀況ヲ調査シ且適當ナル處理方法ヲ具シ前條ノ例ニ準ジ申報及具申ヲ爲スヘシ

第九條 登記所ニハ印鑑簿、受附帳、申請書類送達帳及謄本抄本證明書交付帳其ノ他必要ナル帳簿ヲ備フヘシ

第十條 申請書、囑託書、通知書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移送ヲ受ケタル登記簿謄本其ノ他附屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リ申請書類送達帳ニ之ヲ編綴スヘシ

第十一條 印鑑ハ附録第三號機式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十二條 印鑑簿調製ノ機式及貼付ノ方法等ハ地方裁判所長之ヲ定ムヘシ

第十三條 印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

受附帳及申請書類送達帳ハ十年間其ノ他ノ帳簿ハ三年間之ヲ保存スヘシ

前項ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ニ申報スヘシ但シ區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

第十五條 登記ノ申請人又ハ其ノ代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スヘシ

第十六條 代理人ニ依リテ申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第十七條 理事其ノ他法律ニ依リ登記申請ヲ爲スヘキ者ハ記載後遲滞ナク其ノ印鑑ヲ登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ

第十八條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其ノ他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ

年月日及番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ文字ヲ用フヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス、訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ

一三三



捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ仍讀ミ得ヘキ爲字體ヲ存スヘシ

第十九條 申請書カ數葉ニ渉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ其ノ者カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第二十條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル原本ヲ添附スヘシ

登記官吏カ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其ノ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第二十一條 登記簿若ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽又ハ登記簿ノ原本若ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

第二十二條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ閱覽セントスル登記事項又ハ書類ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ利害ノ關係ヲ疏明ズルニ足ルヘキ事由ヲ記載シ又ハ之ニ其ノ關係ヲ疏明スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第二十三條 登記簿ノ原本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ原本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記及手数料ノ金額ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ノ外其ノ請求スル部分ヲ記載スヘシ

第二十四條 登記簿ノ原本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スル場合ニ於ケル郵送料ハ郵便切手ヲ以テ納付スヘシ

第二十五條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ通テ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

第二十六條 登記ノ申請人ハ申請書ヲ提出シテ登記簿ニ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ申請書ニハ登記ノ件名ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

登記官吏ハ附錄第四號様式ニ依リ登記簿作製シ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

第二十七條 組合カ其ノ主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ移轉登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ舊所在地ニ於ケル登記簿ノ原本ニシテ一用紙ノ全部ヲ謄寫シタルモノヲ添附スヘシ

第二十八條 登記官吏カ申請又ハ嘱託ニ關スル書類ヲ受取リタルトキハ遲滞ナク總テノ事項ヲ調査スヘシ

第二十九條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ登記官吏カ第十條ニ掲ケル書類ヲ受取リタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第三十一條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其空欄ニ朱線ヲ交叉スヘシ但シ後日登記スルコトアルヘキ事項ノ爲設ケタル欄ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄内ニ餘白アルトキハ其ノ餘白ニ朱線ヲ交叉スヘシ

豫備欄又ハ變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ左側ニ縦線ヲ劃ツテ餘白ト分界スヘシ

第三十二條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス

第三十三條 登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其ノ番號ノ第二ナルコト並ニ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及其ノ繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字並ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍之ニ登記ヲ爲スヘシ















### 負債整理組合登記簿ニ關スル件

(昭和八年七月三十一日  
司法省令第三十號)

大正十四年司法省令第二十號中「生絲共同施設組合登記簿」ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

負債整理組合登記簿

附 則

本令ハ農村負債整理組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

大正十四年八月二十八日司法省令第二十號ハ相互保險會社登記簿等際本、抄本請求等ニ關スル手数料ノ件ナリ


## 第二篇 負債整理組合關係書式

### 一、認可申請書

#### 負債整理組合設立認可申請書

今般農村負債整理組合法ニ依リ保證責任大和負債整理組合設立致度候條御認可相成度別冊規約及關係書類相添へ此段申請候也

昭和十四年一月二日

愛媛縣知事

殿

右申請人

- 設立者 農 甲 野 乙 平 印
- 甲野郡乙山村畑百六拾五番地
- 設立者 農 海 波 孫 平 印
- 甲野郡乙山村畑百貳拾壹番地
- 設立者 農 甲 野 乙 三 郎 印
- 甲野郡乙山村畑百貳拾八番地
- 設立者 農 野 田 耕 作 印
- 甲野郡乙山村畑百八拾貳番地







組合長 理事 甲 野 乙 平 ㊦

愛媛縣知事 何 某 殿

注意 二篇ノ四ノ(12)ノ様式ニ依ル負債整理事業計畫書添付ノコト

負債整理資金貸付普通限度超過認可申請書

本村何々負債整理組合ハ其ノ組合員何某ニ負債整理特別融通資金何程貸付度キ申出有之適當ト認メ候條御認可相成度負債整理組合ヨリ申出書添付此段申請候也

昭和 年 月 日

郡 村長 何

愛媛縣知事 何 某 殿

某 ㊦

負債整理事業計畫變更認可申請書

(但施法第 八 條 第二十九條 第二十八條)

本組合負債整理事業計畫別紙ノ通變更ノ件昭和 年 月 日通常(又ハ臨時)總會ニ於テ決議致候條御認可相成度關係書類相添へ此段申請候也

昭和 年 月 日

何 市郡 何 村町

何責任何々負債整理組合

組合長 理事 何

某 ㊦

愛媛縣知事 何 某 殿

添附書類

一、事業計畫書 (二篇ノ四ノ(12)ノ様式ニ準ジ作成ノコト)

二、理由書

三、總會決議錄謄本 (二篇ノ四ノ(7)ノ様式ニ依ル)

(注意) 一、負債整理ヲ行フ法人ノ場合モ之ニ準スルコト

二、事業計畫書ハ從來ノ計畫ト比較對照シ得ル様舊計畫ヲ朱色傍書スルコト

負債整理組合同規約變更認可申請書 (一般ノ場合) 但施法第二十二條

本組合同規約左ノ通(又ハ別紙ノ通)變更ノ件昭和 年 月 日通常(又ハ臨時)總會ニ於テ決議致候條御認可相成度別紙關係書類相添へ此段申請候也

昭和 年 月 日

何 市郡 何 村町

何責任何々負債整理組合

組合長 理事 何

某 ㊦



愛媛縣知事 何 某殿

添附書類

一、規約變更理由書

二、總會決議錄謄本 (二篇ノ四ノ(7)ノ様式ニ依ルモノ)

三、舊規約ノ抄本 (二篇ノ四ノ(2)ヨリ當該條文ヲ拔萃セルモノ)

(注意) 一、變更セントスル規約條文ハ左記事項ト爲スカ又ハ別紙トシテ記載ノコト(以下做之)

一、組合長缺ケタルトキハ規約ニ定メタル代表理事ニ於テ手續ヲ爲スコト(以下做之)

負債整理組合規約變更認可申請書 (組織變更ノ場合) 但施法第二十七條

本組合規約左ノ通(又ハ別紙ノ通)變更ノ件昭和 年 月 日通常(又ハ臨時)總會ニ於テ決議致候條御認可相成度別紙關係書類相添ヘ此段申請候也

昭和 年 月 日

何 市 郡 何 町

何責任何々負債整理組合  
組合長 理事 何

某 印

愛媛縣知事 何 某殿

添附書類

一、規約變更理由書

二、總會決議錄謄本 (二篇ノ四ノ(7)ノ様式ニ依ルモノ)

三、總組合員ノ同意ヲ證スル書面 (別紙證明書)

證明書

昭和 年 月 日通常(臨時)總會ニ於テ組織變更ノ決議ニ賛成セサリシ組合員及總會ニ出席セサリシ組合員何名ニ對シ各別ニ昭和 年 月 日昭和七年勅令第二七六號ニ依リ昭和 年 月 日迄ニ組織變更ニ同意セサルモノハ申出ヅベシ其ノ旨申出ザル時ハ同意シタルモノト看做ス旨ノ通知ヲ爲シタリシニ期限經過後ニ於テ申出者ナシ右相違無之此段證明候也

昭和 年 月 日

何 郡 何 村 何 番地

何責任何々組合  
監事 何

某 印

負債整理組合資金借入承認申請書

本組合負債整理資金壹萬六千圓也昭和拾四年五月一日附產業組合中央金庫へ借入申込中ノ處既ニ舊盆モ迫リ候モ未ダニ貸付決定無之斯クテハ債權者へノ協定履行出來ザルヲ以テ左記ニ限り一時繼續資金ヲ借入レ支拂致度候條借入方御承認相成度此段及申請候也

昭和十四年八月二十日

甲野 郡 乙山村

保證責任大和負債整理組合







負債整理組合解散認可申請書 (但施法第二十九條 施行細則第十一條)

昭和 年 月 日 通常(又ハ臨時)總會ニ於テ解散ノ決議致候ニ付御認可相成度關係書類相添ヘ此段申請候也  
 昭和 年 月 日

何 市 郡 何 町 村  
 何 責任何々負債整理組合  
 組合長 理事 何

某 印

愛媛縣知事 何 某 殿

添 附 書 類

- 一、理由書
- 二、總會決議錄謄本 (二篇ノ四ノ(7)ノ様式ニ依ルモノ)。
- 三、財産目錄及貸借對照表 (細則第九條ニ依ルモノ)
- 四、負債整理資金特別融通ノ債務共ノ他ノ借入金ノ處理計畫書(貳通)

(注意) 一、農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人カ同法第十一條ノ事業ヲ廢止セントスル場合ハ之ニ準シテ定款又ハ規約ノ變更ヲ爲シ負債整理事業廢止認可申請書ヲ作製シテ爲スコト

登録税法施行規則第五條ノ六ノ第二號ニ該當證明願

一、不動産ノ表示 末記ノ通り

- 一、債 權 金 額 金 圓 也
- 一、抵當權設定契約 昭和 年 月 日
- 一、登記權利者 郡 村 番地
- 責任 負債整理組合
- 一、登記義務者 郡 村 番地
- 理事 氏 名
- 一、債務者表示 登記義務者ニ同ジ 氏 名

右ハ登録税法施行規則第五條ノ六ノ第二號ニ該當スルモノニ候條此ノ旨御證明相成度此段相願候也

昭和 年 月 日

郡 村 番地  
 責任 負債整理組合  
 組合長 理事 氏 名

名 印

愛媛縣知事 殿

不 動 産 表 示

- 一、郡 村 番地
- 田(畑) 段 畝 步 所有者 氏 名

(注意) 一、本書ハ二部提出ノコト

二、末尾ヘ充分餘白ヲ殘シ置ケコト(説明ナナシ得ル程度ニ)



## 二、報告、届出書式

### 出資第一回拂込済報告書

本組合第一回出資別記ノ如ク拂込完了候條此段及報告候也

昭和十四年 月 日

甲野郡乙山村

保證責任大和負債整理組合

組合長 甲野乙平

愛媛縣知事

殿

記

- 一、出資口數 三拾二口
- 二、出資金額 參百貳拾圓也
- 三、第一回出資拂込済額 參拾貳圓也

### 負債整理組合總會開催届 (細則第八條)

本組合總會ヲ左記ノ通開催致度候此段御届候也

昭和十五年一月三十日

甲野郡乙山村

保證責任大和負債整理組合

組合長 理事 甲野乙平

愛媛縣知事 何 某 殿

記

一、開會ノ日時 昭和十五年二月十日午後七時

一、場所 本會事務所

一、會議ノ目的 (總會ニ附議スヘキ事項全部列記スルコト)

(一)昭和十四年度財産目錄、貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分案及監事ノ意見書承認ノ件

(二)本年度内ニ於ケル借入金ノ最高限度決定ノ件

(三)本組合ノ一組合員ニ貸付スルコトヲ得ヘキ最高限度決定ノ件

(四)一組合員ニ對シテ爲ス負債整理特別融通資金貸付額ノ最高限度決定ノ件

(五)理事任期滿了ニ付改選ノ件

(六)規約ヲ左ノ通り變更ノ件

第十九條 通常總會ハ毎年一月之ヲ開ク

(七)事業計畫決定ノ件

(注意) 一、開期少ナク共十日日前ニ知事ニ報告ノコト但シ臨時總會ニシテ急施ヲ要スル場合ハ右期日ニ依ラサルコトヲ得

二、規約、事業計畫書ノ變更事項ハ可成具體的ニ報告スルコト



農村負債整理組合法施行規則第二十二條ニ依ル報告

昭和十五年二月十日通常總會ニ於テ左記ノ通決議致候ニ付此段及報告候也

昭和十五年二月二十日

甲 野 郡 乙 山 村  
保證責任大和負債整理組合  
組 合 長 理 事 甲 野 乙 平 印

愛媛縣知事 何 某 殿

記

一、本年度ニ於ケル借入金ノ最高限度

金貳萬八千圓

一、本組合ノ一組員ニ貸付スルコトヲ得ベキ最高限度

金參千圓也

(注意) 決議ノ日ヨリ十日以内ニ報告スルコト

負債整理組合理事(監事)變更届(解任) (但施法第二十五條)

昭和 年 月 日總會ニ於テ何々ノ事由ニ因リ左記理事(監事)解任ス

理事(監事)ノ氏名

右及御届候也

昭和 年 月 日

何 市 郡 何 村 町

何責任何々負債整理組合

組 合 長 理 事 何

愛媛縣知事 何 某 殿

(注意) 一、決議ノ日ヨリ二週間内ニ縣廳ニ到達スル様届出ツルコト

負債整理組合理事(監事)變更届(辞任、死亡) (但施法第二十五條)

昭和 年 月 日本組合理事(監事)左記ノ者辞任(死亡)ス

理事(監事)ノ氏名

右及御届候也

昭和 年 月 日

何 市 郡 何 村 町

何責任何々負債整理組合

組 合 長 理 事 何

愛媛縣知事 何 某 殿

(注意) 一、辭任(死亡)ノ日ヨリ二週間内ニ縣廳ニ到達スル様届出ツルコト

某 印



負債整理組合理事(監事)住所移轉届

昭和 年 月 日理事(監事)何某住所ヲ左ノ通り移轉ス

何市郡何村町何々何番地

右及御届候也

何市郡何村町

何責任何々負債整理組合

組合長理事何

某 ㊟

愛媛縣知事 何 某 殿

(注意) 一、住所移轉ノ日ヨリ二週間内ニ縣廳ニ到達スル様届出ツルコト

二、理事監事カ氏名ヲ變更シタル場合モ之ニ準スルコト

負債整理組合長變更届 (細則第四條)

本組合理事左記ノ者昭和十五年二月十日組合長ニ就任ス

右及御届候也

昭和十五年二月二十日

甲野郡乙山村

保證責任大和負債整理組合

理事 甲野 丙三郎 ㊟

愛媛縣知事 何 某 殿

(注意) 一、變更アリタルトキヨリ二週間内ニ縣廳ニ到達スル様届出ツルコト

一、辭任シタルトキハ「組合長ヲ辭任ス」トスルコト

一、前任者辭任シ全日後就任シタルトキハ其ノ旨事由ヲ具シ一時ニ届出ヲ爲スモ可ナリ

負債整理組合訴訟ノ當事者(又ハ判決)報告 (細則第十條)

昭和 年 月 日 日本組合ハ左記訴訟ノ當事者ト相成候條此段及報告候也

昭和 年 月 日

何市郡何村町

何責任何々負債整理組合

組合長理事何

某 ㊟

愛媛縣知事 何 某 殿

記

一、原告

一、被告

一、訴訟(又ハ判決)事項

(注意) 一、訴訟ノ當事者トナリタルトキ又ハ判決アリタルトキヨリ十日以内ニ報告ノコト

二、判決アリタルトキハ「豫而訴訟中ノ左記ノ件ニ付昭和 年 月 日判決相成候條此段及報告候也」トシテ報告ノコト



負債整理組合破産宣告請求報告 (細則第十二條)

昭和 年 月 日 左記事由ニ依リ本組合破産宣告ノ請求ヲ何々裁判所ニ提起候條此段及報告候也  
昭和 年 月 日

何 市 郡 何 村 町

何責任何々負債整理組合

組合長 理事 何

某 ㊟

愛媛縣知事 何 某 殿

請求ノ理由

何……………

負債整理組合不整事項報告

昭和 年 月 日本組合財産狀況(又ハ業務執行)ニ付不整ノ廉ヲ發見致候條左記ノ通り及報告候也

昭和 年 月 日

何 市 郡 何 村 町

何責任何々負債整理組合

監事 何

某 ㊟

愛媛縣知事 何 某 殿

記

一、何々

(注意) 一、財産狀況又ハ業務執行上ノ不整ノ廉ニ付可及的詳具スルコト

負債整理組合解散届

一、解散ノ原因 昭和 年 月 日總會ニ於テ解散ヲ決議シ全年 月 日認可相成リタルニ因ル

一、清算人ノ氏名住所

何 市 郡 何 村 町 大字何々何番地

何

某

何 市 郡 何 村 町 大字何々何番地

何

某

右及御届候也

昭和 年 月 日

何 市 郡 何 村 町

何責任何々負債整理組合

清算人 何

某 ㊟

愛媛縣知事 何 某 殿

(注意) 一、總會ノ決議ニ因ル場合ハ認可書到達ノ日ヨリ然ラサルモノハ事實發生ノ日ヨリ二週間内ニ縣廳ニ到達スル様届出ツルコト

二、原因ニハ「何年何月何日存立時期満了」「何年何月何日組合員七人未滿トナリタル爲」等記入ノコト



負債整理組合清算人選任届 (民法第七十七條)

昭和 年 月 日總會ニ於テ左記ノ者ヲ清算人ニ選任シ同日(又ハ年月日)就任ス  
清算人ノ氏名住所

何市何町何々何番地 何

右及御届候也

昭和 年 月 日

何市何町何々何番地

何責任何々負債整理組合

清算人 何

某 ㊟

愛媛縣知事 何 某 殿

(注意) 一、就任ノ日ヨリ二週間内ニ縣廳ニ到達スル様届出ツルコト

二、本届書ハ新ニ清算人ヲ選任シタル場合ニ之ヲ要スルモノニシテ解散ト同時ニ理事カ清算人ト爲ル場合ハ之ヲ要セス

負債整理組合清算人變更届(補欠選任)

昭和 年 月 日清算人何某辞任ニ付昭和 年 月 日總會ニ於テ左ノ者ヲ選任シ同日(又ハ年月日)就任ス  
清算人ノ氏名住所

何市何町何々何番地 何

某

右及御届候也

昭和 年 月 日

何市何町何々何番地

何責任何々負債整理組合

清算人 何

某 ㊟

愛媛縣知事 何 某 殿

負債整理組合清算人變更届(退任死亡)

昭和 年 月 日清算人何某辞任(死亡)ス

右及御届候也

昭和 年 月 日

何市何町何々何番地

何責任何々負債整理組合

清算人 何

某 ㊟

愛媛縣知事 何 某 殿

(注意) 一、辞任ノ日ヨリ二週間内ニ縣廳ニ到達スル様届出ツルコト



負債整理組合清算人住所移轉届

昭和 年 月 日 清算人何某住所ヲ左ノ通移轉ス

何市何町何々何番地

右及御届候也

昭和 年 月 日

何市何町何々何番地

何責任何々負債整理組合

清算人 何

某 ㊦

愛媛縣知事 何 某 殿

(注意) 一、住所移轉ノ日ヨリ二週間内ニ縣廳ニ到達スル様届出ツルコト

二、清算人カ氏名ヲ變更シタル場合モ之ニ準スルコト

三、登記申請書

負債整理組合登記上ノ通則

- 一、申請人 設立ノ件ハ理事ノ全員(非二二〇)其他ノ場合ニハ組合長タル理事(非二二一の1)(組合長ヲ缺ク場合ハ他ノ一人)其ノ資格ヲ証スル書面(理事ニ選任セル決議録)ヲ添付シテ爲ス(非二二一の2)但シ設立ノトキハ別ニ理事資格ヲ證スル書面ヲ必要トセズ、添付規約ニ定メラレタル其ノ條ヲ援用スルコト又前ニ登記申請ヲナシタル理事ヨリスルトキハ資格證明ヲ要セズ(非二二一の3)
- 二、登記所 組合事務所所在地ノ區裁判所名全出張所(非一一七)
- 二、登記期限 事實ノアリシ日ヨリ二週間内(法一七、二二〇ノ3)但シ知事認可ヲ要スル事項ハ認可書到達ノ日ヨリ二週間(民四七)
- 三、方法 申請人ノ氏名住所、組合ノ名稱、事務所所在地、登記ノ目的及ビ事由、年月日、登記所ノ表示シタル書面ニ署名捺印シテ申請人又ハ代理人出頭之ヲ爲スコト(養一五)代理人ニ依ルトキハ申請書ニ其ノ氏名住所ヲ記シ且ツ委任狀ヲ付スコト(養二〇)
- 三ノ二、申請人資格證明
- 四、書面作成注意 字畫ヲ明瞭ニシ改竄スベカラズ若シ訂正挿入又ハ削除シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ其ノ文字ノ前後ニ括弧ヲ付シ之ニ捺印シ削除セル文字ハ仍讀ミ得ル様字體ヲ存スルコト又年月日番號等ハ壹貳參拾ノ文ヲ使シ(養一八)書面數葉ニ涉ルトキハ綴目ニ申請人ノ一人契印ヲ爲スコト(養一九)
- 五、合法ニ手續ヲ了シタルコトノ證明 總會ノ決議又ハ總組合員ノ同意ヲ要スル事項ナルトキハ其ノ決議録同意書ヲ出資一口



ノ金額又ハ保證金ノ減少無限責任ヲ保證責任組織ニ變更スルモノナルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ二箇月ヲ下ラザル期限ヲ付シテ債權者ニ異議アラバ述ベキ旨ヲ規約ニ定メタル方法ニ依リ公告シ且ツ知レタル債權者各個ヘ之ヲ催告シタルコト及之レニ異議ヲ述ベタルモノアルトキハ之ヲ辨濟シ又ハ相當ノ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添付スルコト(負手七)

六、事實立證 變更ノ登記事項申請度數ニハ左表ノ通り證憑書類ヲ添付スルコト事實ヲ正證スルコト(非二二二ノ二)

登記申請ニ添付スベキ立證書類

名稱、事務所、目的、地區ノ變更

總會決議錄並其ノ謄本及知事認可指令ト其謄本

理事監事ノ變更

1、任期滿了退任 規約ト役員任期ニ關スル部分ヲ摘記セル規約抄本

2、選任(重任ヲ含ム) 總會決議錄及其ノ謄本

3、辭任 辭任届

4、解任 總會決議錄及其ノ謄本

5、死亡 戶籍抄本

原簿記載ノ變更

1、出資口數 監事出資總口數變更證明書

2、拂込ミタル出資總額 監事ノ拂込ミタル出資總證明書

3、組合員ノ氏名住所 戶籍抄本

4、組合員ノ加入 加入申込書、組合員ノ同意書(無限責任組合ハ全員保證責任組合ハ規約ニ定メタル定數以上)又ハ産業組合法第四十九條準用ニ依ル催告ヲナシタルコト及其ノ期限迄ニ異議ヲ述ベタルモノナカリシコトノ證明書

5、組合員ノ死亡 戶籍抄本

6、組合員ノ脱退 脱退届

7、添付書ノ原本還付ヲ受クル方法 右謄本ハ原本ト相違無之候也ト記載署名捺印セル謄本ヲ添付シ置クコト(養二一〇)

8、印鑑届出 理事ハ就職後遅滞ナク印鑑ヲ登記所ニ提出シ置クコト變更セル場合亦同ジ(養一七)

負債整理組合設立登記申請書

一、名 稱 保證責任大和負債整理組合

一、事 務 所 甲野郡乙山村大字丙川壹番地

一、登記ノ目的 負債整理組合設立ノ登記

一、登記ノ事由 規約ヲ作成シ昭和拾四年壹月拾日地方長官ノ認可ヲ得(昭和拾四年壹月拾貳日認可書到達)タルニ因

リ左記事項ノ登記ヲ求ム

一、登記事項

一、目 的 組合員ノ經濟更生ヲ圖ル爲隣保共助ノ精神ニ則リ組合員ヲシテ其ノ負債ノ整理ヲ爲サシムルコト

一、名 稱 保證責任大和負債整理組合

一、組 織 保證責任



一、地 區 愛媛縣甲野郡乙山村大字丙川一圓

一、事務所ノ所在地 愛媛縣甲野郡乙山村

一、(存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由)

一、設立認可ノ年月日 昭和拾四年壹月拾日

一、出資一口ノ金額 拾圓(無限責任組合ノ場合ハ除ク)

組合ノ出資八十箇年以内ニ其ノ金額ヲ拂込ムモノトス

出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付壹圓トス

一、出資拂込ノ方法 (無限責任組合ノ場合ハ除ク)

第一回以後ニ於ケル出資ノ拂込ハ總會ノ決議ヲ經テ理事之ヲ定ム

一、理事ノ氏名住所 甲野郡乙山村大字丙川百六拾五番地 甲 野 乙 平

甲野郡乙山村大字丙川百貳拾壹番地 海 野 彌 平

甲野郡乙山村大字丙川百貳拾六番地 甲 野 乙 三 郎

甲野郡乙山村大字丙川百貳拾八番地 山 野 田 耕 作

甲野郡乙山村大字丙川百八拾貳番地 山 村 林 吉

一、添付書類 規約及其謄本理事ノ資格ヲ證スル書面(但シ規約ヲ援用ス)

設立認可書及其謄本、組合原簿、委任狀、各登通

右登記申請候也

昭和拾五年壹月拾五日

申請人

甲野郡乙山村大字丙川壹番地

保證責任乙山負債整理組合

甲野郡乙山村大字丙川百六拾五番地

理 事 甲 野 乙 平

甲野郡乙山村大字丙川百貳拾壹番地

理 事 海 波 彌 平

甲野郡乙山村大字丙川百貳拾六番地

理 事 甲 野 乙 三 郎

甲野郡乙山村大字丙川百番地

右代人 佐 山 竹 平 印

甲野區裁判所乙山出張所御中

(注意) 一、知事ノ設立認可書到達ノ日ヨリ二週間以内ニ區裁判所又ハ出張所ニ登記申請スルコト

二、理事ノ肩書ノ住所ハ其ノ個人ノ住所タルコト

三、添付スベキ組合原簿ニハ其ノ末尾ニ記載事項ニ相違無キ旨ノ監事ノ證明ヲ爲スコト監事多數ナル場合ハ其ノ中ノ一名ヲ

以テ足ルコト 四、設立登記申請ノ場合ハ理事監事ノ印鑑ヲ提出スルコト新任、改印ノ場合モ亦同シ

設立認可書謄本様式

認 可 書

愛媛縣指令産第二三六一號



甲野郡乙山村  
甲野乙平  
外貳拾五名

昭和拾四年壹月貳日附申請保證責任大和負債整理組合設立ノ件認可ス  
昭和拾四年壹月拾日

愛媛縣知事 何

某

右贖本ニシテ原本ト相違無之候也

昭和拾四年壹月拾五日

甲野郡乙山村大字丙川壹番地

保證責任大和負債整理組合

甲野郡乙山村大字丙川百六拾五番地

理事 甲野乙三平

貳錢  
印紙

委任狀

甲野郡乙山村佐山竹平ニ左ノ行爲ヲ委任ス

一、保證責任大和負債整理組合設立登記ノ件

昭和十四年一月十日

甲野郡乙山村壹千貳百參拾四番地

保證責任大和負債整理組合

理事 甲野乙三平

同郡 同村 百貳拾壹番地

理事 海波彌平

同郡 同村 百貳拾六番地

理事 甲野乙三郎

印鑑ノ記載左ノ如シ

印鑑 肩

名稱

事務所

何郡何村大字何々番地

理事 何

年月日生 某

巾一寸

縱五寸

保證責任大和負債整理組合原簿

理事 甲野乙三平



組合ノ 名稱	出資ノ 總口數	拂込ミ タル出 資ノ總 額	組合員 ノ氏名 住所及 保證金 額	組合員 ノ氏名	住所及	保證金 額
保證責任大和負債整理組合	參拾貳口	參拾貳圓也	甲野郡乙山村百六拾五番地 甲野郡乙山村百貳拾壹番地 海波彌平 金五拾圓也 以下做之	更	變	更
				丁		

抵當權設定登記申請

不動産表示 別紙共同擔保目録記載ノ通り(末記ノ通り)

登記原因 昭和拾五年壹月拾日抵當權設定契約

登記目的 所有權ヲ目的トスル抵當權設定

債權額 金壹千五百八拾圓也

辨濟方法 昭和拾四年拾貳月貳拾五日迄据置同年同月貳拾六日ヨリ昭和拾九年拾貳月貳拾五日迄拾五ケ年間ニ年賦均等償還トシ其年賦金貳百八拾四圓拾四錢ハ之ヲ貳分シ毎年六月、拾貳月各貳拾五日ニ支拂フ

利息 年四分一厘

利息支拂時期 毎年六月貳拾五日 拾貳月貳拾五日

登録稅 登録稅法施行規則第五條ノ六ノ貳號ニ依リ免除

添付書類 原因證書、登記義務者ノ權利ニ關スル登記證、登録稅免除證明書

右登記相成度及申請候也

昭和拾五年壹月拾五日

甲野郡乙山村貳百九拾八番地 登記義務者 武 智 良 平 ㊟

甲野郡乙山村壹千貳百參拾四番地 保證責任大和負債整理組合 登記權利者 理事 甲 野 乙 平 ㊟



(注意) 不動産表示欄ハ其ノ不動産ノ數四箇以下ナルトキハ「末記ノ通り」トシテ申請書ノ末尾ニ記載シテ可ナリ五箇以上ナルトキ共同擔保目録トシテ別紙形式ニ依リ作成添付ス

不動産共同擔保目録

甲野郡乙山村壹千貳百參拾番地  
保證責任大和負債整理組合  
登記權利者 理事 甲 野 乙 平 ①  
甲野郡乙山村貳百九拾八番地  
登記義務者 武 智 良 平 ②

登記簿ノ冊數	登記番號	順號位	番號	擔保ノ目的タル權利ノ表示	備考
			一	一、何郡何村字何何番地 一、田 何段何畝何歩	
			二	一、何郡何村字何何番地 一、畑 何段何畝何歩	
			三	一、何郡何村字何何番地 一、田 何段何畝何歩	
			四	一、何郡何村字何何番地 一、田 何反何畝何歩	
			五	一、何郡何村字何何番地 一、田 何段何畝何歩	

負債整理組合名稱變更登記申請書

一、名稱 何責任何々負債整理組合

一、事務所 何市郡何村何番地

一、登記ノ目的 名稱變更ノ登記

一、登記ノ事由 昭和 年 月 日認可ヲ受ケ昭和 年 月 日認可書到達シタルニ因ル

一、登記事項 昭和 年 月 日名稱ヲ「何責任何負債整理組合」ト變更セリ

一、添付書類 總會決議錄、認可書及其謄本各壹通

右登記申請候也

昭和 年 月 日

申請人

何市郡何村何番地 何責任何々負債整理組合 (新名稱)

何市郡何村何番地 組合長 理事 何

某 ②

何區裁判所(何出張所)御中

(注意) 一、知事ノ規約變更認可書到達ノ日ヨリ二週間以内ニ申請スルコト

二、本書ニ添付スヘキ總會決議錄ハ原本又ハ原本ト同様ナル謄本タルコト

謄本ノ場合ハ其ノ末尾ニ「原本ト相違無キ旨」ノ理事ノ證明ヲ要ス(以下做之)